

荒川区スポーツ推進プラン

【令和 8(2026)年度～令和 12(2030)年度版】

令和8(2026)年4月

荒 川 区

はじめに

この度、荒川区では、新たな「荒川区スポーツ推進プラン」を策定いたしました。本プランは、前期プランの計画期間に進めてきた各スポーツ施策の成果を検証するとともに、新たに見えてきた課題への対応について分析を行い、これから荒川区が目指すべきスポーツの将来像をお示しするものとなっています。

スポーツについて、近年の動向を振り返ると、令和3年に開催された東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会では、多くの日本人選手が素晴らしい活躍を見せ、国民に大きな勇気を与えてくれました。また、令和7年11月には、日本で初めてとなる東京2025デフリンピック大会が開催され、日本は過去最多のメダルを獲得しただけでなく、障がいへの理解を深め、共生社会の実現に大きく寄与しました。

これらの出来事は、スポーツが持つ「健康の維持増進」、「心のリフレッシュ」、「人とのつながりの創出」、「生きがいの発見」といった多面的な価値を改めて気づかせてくれました。運動不足による心身の不調や、社会的な孤立が課題となる中で、スポーツは身体を動かすだけでなく、心を豊かにし、地域社会を活性化する大きな力を有しています。スポーツは、年齢、性別、体力レベル、障がいの有無に関わらず、誰もが参加でき、共に喜びや感動を分かち合える普遍的価値を持った存在です。

本プランでは、こうした社会状況の変化とスポーツの持つ本質的な価値を踏まえ、区民の皆様一人ひとりが、生涯にわたってスポーツを楽しみ、その恩恵を享受できる社会の実現を目指しています。具体的には、「生涯にわたってスポーツを楽しめる機会をつくる」「スポーツを通じて地域の賑わいとつながりをつくる」「誰もが身近にスポーツに取り組める環境をつくる」という3つの基本目標を掲げ、多角的な視点から区民の皆様が気軽にスポーツに親しめる環境を整備してまいります。

アメリカの医学会において、『エクササイズ・イズ・メディシン』という言葉があるとおり、スポーツにはあらゆる人を元気にする力があります。区民の皆様がスポーツを通じて、心身ともに健康で豊かな生活を送り、地域コミュニティの中でいきいきと輝けるよう、区は、本プランに基づき、区民の皆様とともにスポーツ推進に取り組んでまいります。区民の皆様、地域団体の皆様、そして関係機関の皆様の、一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

令和8年4月

荒川区長 滝口 学



目次

第1章 プラン策定にあたって.....	2
1 プランの策定と背景.....	2
(1) 区が目指すスポーツの推進.....	2
(2) スポーツを取り巻く社会状況の変化.....	2
2 プラン位置づけ・計画期間.....	3
(1) 位置付け.....	3
(2) 計画期間.....	4
第2章 荒川区のスポーツ活動の現状と課題.....	6
1 荒川区のスポーツ活動の現状.....	6
(1) 区のスポーツ活動.....	6
(2) スポーツ関連団体等.....	7
(3) 大学・研究機関等.....	9
(4) 民間スポーツ施設.....	9
2 スポーツ推進プランの取組状況.....	10
(1) 基本目標1 気軽にスポーツに親しめるようスポーツの裾野を広げる.....	10
(2) 基本目標2 生涯健康で暮らせるようスポーツで健康増進を図る.....	10
(3) 基本目標3 スポーツのレベルアップのため選手や指導員を育成する.....	11
(4) 基本目標4 地域の力を高めるため人や地域をスポーツでつなぐ.....	11
3 荒川区スポーツ意識調査の結果.....	12
(1) 一般向け調査.....	12
(2) 障がい者向け調査.....	16
(3) 小学生・中学生・高校生向け調査.....	18
4 荒川区内の主なスポーツ団体へのヒアリング.....	21
5 解決すべき課題.....	22
第3章 スポーツ推進プランの概要.....	24
1 基本理念と基本目標.....	24
(1) 基本理念.....	24
(2) 基本目標.....	24
2 達成指標一覧.....	27
(1) 基本目標1 生涯にわたってスポーツを楽しめる機会をつくる.....	27

(2) 基本目標2	スポーツを通じて地域の賑わいとつながりをつくる.....	28
(3) 基本目標3	誰もが身近にスポーツに取り組める環境をつくる.....	28
(4)	スポーツ推進プラン全体.....	29
第4章	基本目標ごとの取組.....	32
1	基本目標1 生涯にわたってスポーツを楽しめる機会をつくる.....	32
(1)	施策1 子どもたちのスポーツ活動を充実する(★重点プロジェクト)	32
(2)	施策2 働き盛り・子育て世代のスポーツ機会を増やす.....	34
(3)	施策3 スポーツで高齢者の健康増進と生きがいづくりを応援する.....	36
(4)	施策4 障がい者のスポーツ活動を推進する(★重点プロジェクト).....	37
2	基本目標2 スポーツを通じて地域の賑わいとつながりをつくる.....	39
(1)	施策1 地域のスポーツ団体を支援する(★重点プロジェクト).....	39
(2)	施策2 トップアスリートと連携する.....	40
(3)	施策3 仲間づくりを応援する(★重点プロジェクト).....	41
(4)	施策4 スポーツで交流を推進する.....	42
3	基本目標3 誰もが身近にスポーツに取り組める環境をつくる.....	44
(1)	施策1 スポーツ環境を充実する(★重点プロジェクト).....	44
(2)	施策2 障がい者のスポーツ環境を整える.....	46
(3)	施策3 スポーツ施設の利活用を促進し、スポーツ施設や事業等の情報 発信を強化する.....	47
第5章	プラン推進に向けた実施体制.....	50
1	区民・団体・事業者等との連携.....	50
(1)	スポーツ団体との連携.....	50
(2)	大学・研究機関等との連携.....	50
(3)	民間スポーツ施設との連携.....	51
2	推進体制の充実.....	51
3	プランの着実な実行.....	51

第 1 章

プラン策定にあたって

第1章 プラン策定にあたって

1 プランの策定と背景

(1) 区が目指すスポーツの推進

区は、区民一人ひとりの心身の健康と生活の質の向上、地域社会の活力等の観点から、スポーツが果たす役割を重視し、これまで、区民のスポーツ活動を推進するために施設の整備やイベントの開催、多様な団体との連携に努めてきました。

本プランは、区民のスポーツへの参加を促進し、スポーツを通じた健康寿命の延伸、地域コミュニティの活性化、そして青少年の健全な育成を目指すとともに、区民の誰もがいきいきとスポーツに親しめる区を実現し、さらに発展させていくための道筋を示すものです。

なお、本プランにおいて、スポーツとは、スポーツ基本法の理念に基づき、いわゆる競技スポーツだけではなく、レクリエーション、健康などを目的とする身体活動などを含む広義の運動を意味しています。

(2) スポーツを取り巻く社会状況の変化

前回プランを作成した平成28(2016)年度以降、スポーツに影響を与えた社会状況の変化としては、以下の点が挙げられます。

近年、気候変動の影響が顕在化し、令和2(2020)年には環境省と気象庁が、「熱中症警戒アラート」の試行運用を関東甲信越地方で開始し、その後全国に適用される等、熱中症リスクが高まっています。夏場の熱中症リスクは、特に高齢者や子どもたちの運動機会を減少させる要因となり、スポーツ施設における暑さ対策や、屋内外の活動場所のバランスを見直す必要性に迫られています。

令和2(2020)年以降のコロナ禍による様々な生活活動の制約により、スポーツ活動においてもソーシャルディスタンスの確保や感染防止のための衛生管理が必須となりました。この影響は、地域における各種スポーツ団体の活動停止、学校体育の制限、スポーツ施設の利用制限など、多岐にわたり、人々の運動機会を著しく減少させました。一方で、孤立感の解消やストレス軽減のために、適度な運動がいかに重要であるかという認識が深まり、感染リスクを考慮した上での運動機会の確保、オンラインとオフラインを融合した新たなスポーツ活動のあり方などが模索されるようになりました。

令和3(2021)年には、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が無観客で開催され、日本選手団を始めとする世界の一流選手たちの活躍は国民に大きな感動と活力を与えました。また、令和7(2025)年には、東京2025デフリンピックが開催され、日本勢のメダルラッシュに沸きました。そうした中、国は「第2期スポーツ基本計画」に基づき、スポーツを「する」「みる」「ささえる」といった多様な形で国民の生活に浸透させるための施策を推進してきました。

また、その他にもスポーツを取り巻く環境は大きく変化しています。テクノロジーの進化は、スポーツ環境にも大きな影響を与え、特にデジタル空間における新たなスポーツであるeスポーツも急速に広がりを見せています。加えてスケートボードやクライミングなどのアーバンス

ポーツ、モルックやボッチャなどのニュースポーツの社会への浸透も注目すべき点であると考えています。

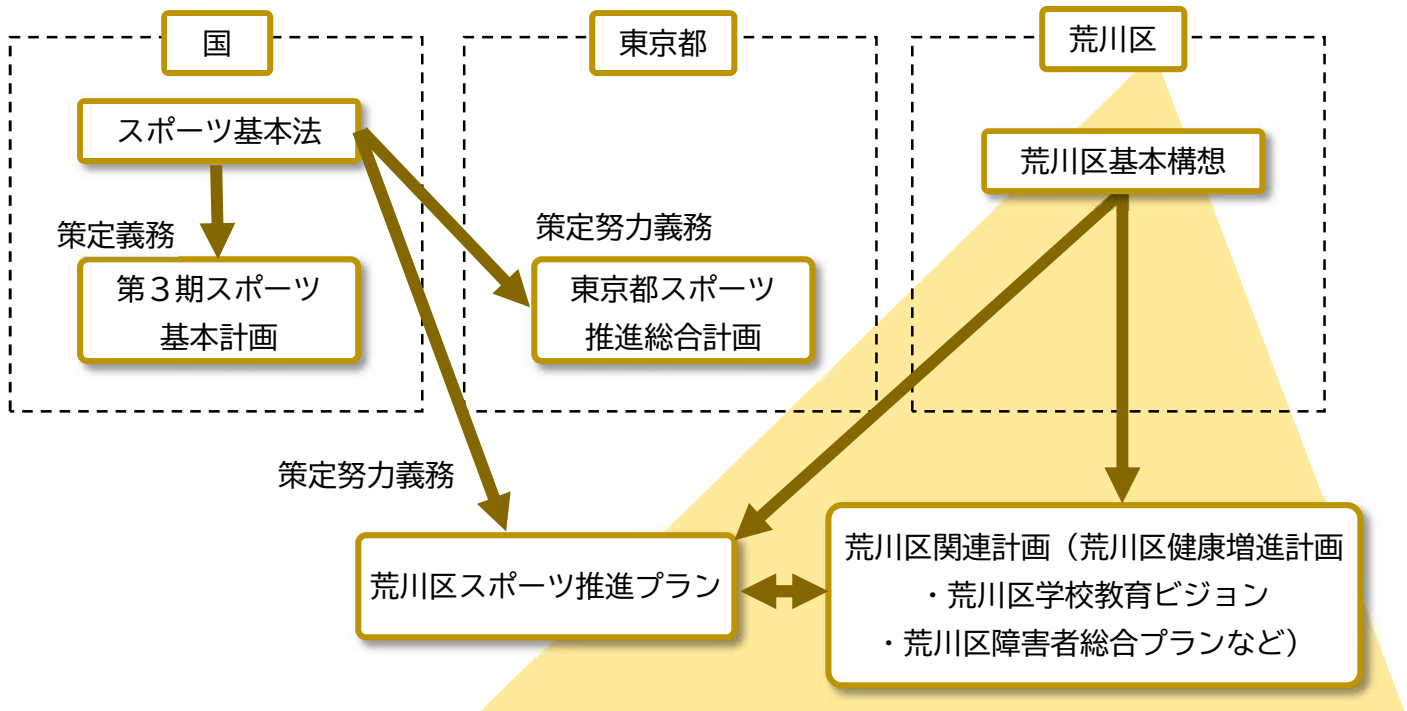
区においては、こうした社会状況の変化も踏まえ、更なるスポーツの振興に向けて新たな施策を展開していく必要があります。

2 プラン位置づけ・計画期間

(1) 位置付け

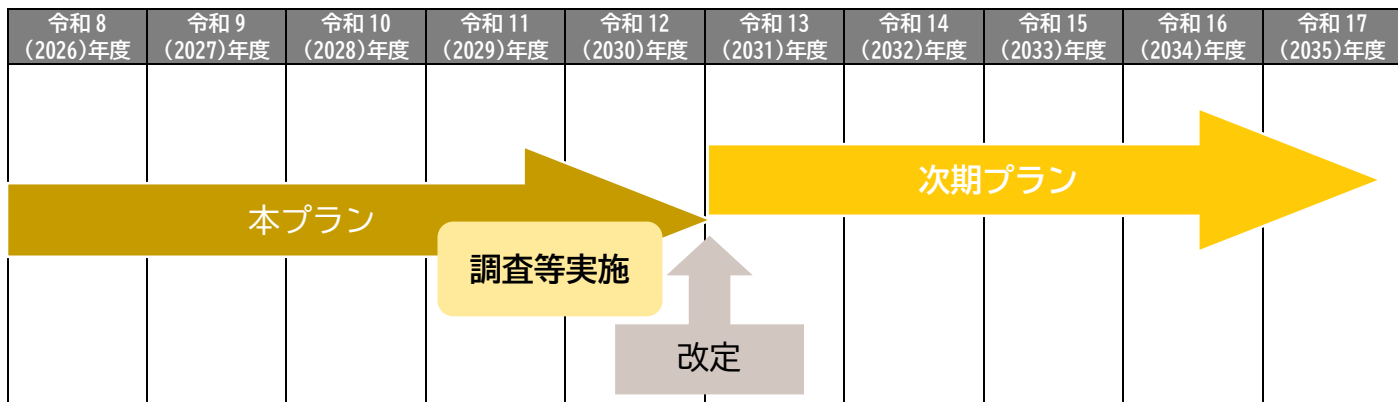
本プランは、スポーツ基本法（平成23年法律第78号）第10条第1項に定める「地方スポーツ推進計画」の性格を有し、国の「第3期スポーツ基本計画」（令和4（2022）年3月25日策定、令和4（2022）年度から令和8（2026）年度まで）や東京都の「東京都スポーツ推進総合計画」（令和7（2025）年3月策定、令和7（2025）年度から令和12（2030）年度まで）に基づき国や東京都が実施するスポーツ関連事業との役割分担を図りながら、地域の実情を踏まえ、スポーツの更なる推進に向けた方向性を示すものです。

また、スポーツに深く関わる他の計画との連携を図り、区全体でスポーツ振興を推進していきます。



(2) 計画期間

本プランの計画期間は、令和8(2026)年度から令和12(2030)年度の5か年とします。区のスポーツの中期的方向性を見据えつつ、柔軟かつ実効性の高い運用を行うとともに、社会情勢や区民ニーズの変化、施策の進捗状況などを的確に把握し、5年ごとに必要な見直しを行っていきます。



コラム

<「スポーツ」の語源>

スポーツ史という分野の研究によれば、英語の「Sport」は19～20世紀にかけて世界で一般化した言葉であり、その由来はラテン語の「deportare」(デポルターレ)という単語だとされています。

デポルターレとは、元々、「運び去る、運搬する」の意味で、転じて、「義務からの気分転換、元気の回復」、仕事や家事といった「日々の生活から離れる」気晴らしや遊び、楽しみ、休養といったものを指します。

スポーツは、人生を楽しく、健康的で生き生きとしたものにするためのものです。より楽しむために勝利を追及するもよし、マイペースで楽しむもよし、誰もが自由に身体を動かし、自由に観戦し、楽しめるものであるべきです。



(出典 スポーツ庁HP

<https://sports.go.jp/special/policy/meaning-of-sport-and-deportare.html>)

第 2 章

荒川区のスポーツ活動の 現状と課題

第2章 荒川区のスポーツ活動の現状と課題

1 荒川区のスポーツ活動の現状

(1) 区のスポーツ活動

① 区のスポーツ事業等

区では、区民スポーツ大会をはじめとするスポーツイベントを、荒川区スポーツ協会やスポーツ推進委員等の協力を得て年間を通じて開催しています。平成4（1992）年度に区制60周年を機に始まった荒川リバーサイドマラソンは令和7（2025）年度で第32回目を迎え、子どもから高齢者まで最も多い年で2500人もの方が参加する区内最大のスポーツイベントに成長しました。そのほか、子どもたちが運動の楽しさを知るきっかけづくりとなるよう、ボッチャやモルックなどのニュースポーツを中心とした体験会を実施しているほか、各スポーツ団体が開催するイベントに対する支援も行っています。

② 区のスポーツ関連施設等

i. スポーツ施設

区のスポーツ施設は、屋内スポーツ施設が2施設、屋外スポーツ施設が6施設、合わせて8施設があり、区民が気軽にスポーツに親しむ環境を提供しています。

○ 屋内スポーツ施設

昭和60（1985）年に開館した荒川総合スポーツセンターは、区民のスポーツ活動の中核となる施設であり、区民スポーツ大会などの大会会場として利用されている他、各種スポーツイベントも行われています。また、幅広いメニューのスポーツ教室も展開しており、区民に人気を博しています。

令和元（2019）年度に大規模リニューアル工事を実施し、設備の更新に合わせて、施設全体のバリアフリー化も行いました。

荒川遊園スポーツハウスは、平成5年（1993）に荒川総合スポーツセンターに次ぐ第2の屋内スポーツ施設として開館し、温水プールやトレーニングルーム等の個人利用や各種教室事業を中心に区民に親しまれてきました。

施設・設備の老朽化の解消と合わせて、高齢者のフレイル予防やパラスポーツなど障がい者のスポーツ利用の促進、子どもや子育て世代が気軽に利用できる設備の充実等を目的として、令和9（2027）年度のリニューアルオープンに向けて、令和7（2025）年度から、改修工事に着手しています。

○ 屋外スポーツ施設

区内各所に、野球場、サッカー場、庭球場、多目的広場などを備える屋外スポーツ施設が6施設あります。

これらの施設は、区民スポーツ大会などの各種大会会場として活用されているほか、近年

では、高齢者を中心にグラウンドゴルフ等での利用も増えてきています。

それぞれの施設の開設以来、必要な修繕を実施するとともに、東尾久運動場多目的広場の人工芝敷設や夜間照明設置、区民運動場多目的広場への夜間照明設置等、利用環境の更なる向上に向かって取り組んでいます。

ii. 公園施設

区の公園には、野球場や庭球場を備える公園が2施設、防球ネットを備えたボール遊びができる公園が9施設あるほか、アスレチックや複合遊具など子どもたちが自由な発想で遊びながら体を動かせる場となっています。

今後、新たに整備する公園においても、スポーツ利用も視野に入れて、検討を行っていきます。

iii. 学校施設

区内の小中学校の校庭や体育館は、教育活動に支障がない範囲において、子どもたちの遊び場のほか、地域のスポーツ活動やイベントなどで日常的に多くの方に利用されており、地域のコミュニティ拠点となっています。施設の老朽化が進んでおり、今後計画的に改修や建替えを行う予定です。

iv. ふれあい館等

乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代が交流し、区民の自主的な活動や地域コミュニティの拠点であるふれあい館等では、多目的室を備え、スポーツやダンスもできる環境が用意されています。

v. 放課後子ども教室（にこにこすくーる）

放課後の子どもたちの安全・安心な活動拠点として、地域の方々の協力を得て、実施校に在籍する全児童に対し、遊びをはじめ、勉強やスポーツ・文化活動などの交流を図る場となっています。

(2) スポーツ関連団体等

荒川区には、人と人との結び付きを大切にする温かい地域社会が息づいており、区におけるスポーツの推進においても、この地域性は欠くことのできない大きな力となっています。荒川区には様々なスポーツ関連団体があり、それぞれの団体が活発に活動することで区民のスポーツ振興に大きな役割を果たしています。

① 荒川区スポーツ協会

昭和26(1951)年の設立以来、区内の28のスポーツ競技団体（令和7(2025)年度現在）を統括するとともに、バックアップを行う区内最大のスポーツ団体です。

各加盟競技団体において区民スポーツ大会各競技の運営に当たっているほか、各団体主催の大会実施、ジュニア育成事業の展開も行っています。また、親子向けや主に子育て世代をターゲットとした独自のスポーツイベントも実施しており、区と緊密に連携しながら区のスポーツ

振興に大きな役割を果たしています。

平成28(2016)年には法人格を取得し、一般社団法人として社会的、法的にも自主自立した団体として活動を継続しており、令和7(2025)年にはスポーツ基本法の改正に基づき、名称をこれまでの荒川区体育協会から荒川区スポーツ協会に改めました。

② 荒川区スポーツ推進委員

スポーツ推進委員は、スポーツ基本法に基づき区が委嘱する非常勤職員であり、スポーツ基本法の理念に基づき区民とスポーツをつなぐコーディネーターとして活動しています。

運動の経験のない人、運動が苦手と感じている人でも気軽に参加できるニュースポーツや、障がいの有無にかかわらず共に取り組めるパラスポーツなどの体験会等のイベントを主催し、区民がスポーツへの第一歩を踏み出すために大きな役割を果たしています。

そのほかにも、スポーツひろばの運営や各種ニュースポーツの指導員としての派遣などを通じて、地域におけるスポーツ活動の普及にも尽力しています。

③ 総合型地域スポーツクラブ

総合型地域スポーツクラブは、学校等の身近な場所を利用して、地域住民自らが主体的に企画・運営し、年齢、関心、技術等それぞれの志向・レベルに応じたスポーツを通じた地域の多世代交流などの活動を行う団体です。

区内には、平成22(2010)年11月に設立した南千住スポーツクラブがあり、汐入小学校・汐入東小学校を拠点として、14種目のスポーツ教室が展開されており、近隣に住む子どもから高齢者まで約260名の会員が活動しています(令和7(2025)年10月末現在)。

現在、区において2か所目の総合型地域スポーツクラブの設立に向けて、指導者となる人材や対象とする地域等、検討が続けられています。

④ 東京都障害者スポーツ指導員協議会荒川

障がいの有無、年齢や性別、国籍等を越えて、パラスポーツを楽しみながら行う活動をしています。

区が実施する、パラスポーツのボランティアを養成するパラスポーツサポーター養成講習会や、荒川リバーサイドマラソンにおける障がい者の伴走支援、知的障がいのある方を対象にスポーツ等の各種活動を行うさくら教室にもご協力いただいています。

⑤ 荒川ころばん体操リーダー

荒川ころばん体操・せらばん体操・あらみん体操は、荒川区と首都大学東京(現東京都立大学)が共同開発した転倒予防や筋力アップのためのオリジナルの体操です。

ふれあい館等20か所の区内施設において、「荒川ころばん体操リーダー」が、ボランティアで運営しており、上記のオリジナル体操に加えて健康に役立つ情報取得や参加者同士の交流の場となっています。

⑥ 荒川区高年者クラブ連合会

区内では、64クラブ、約4,300人(令和7(2025)年4月現在)の会員が、健康で明るく過ごすために様々な活動を行っています。活動内容は会員の教養の向上、健康増進、地域の清掃

や園芸、街なか花壇などの社会奉仕活動、会員相互の親睦など様々です。また、グラウンドゴルフやパタンクなど高齢者の軽スポーツの普及とクラブ間の交流も図っています。

⑦ 地域のスポーツクラブ・サークル（社会教育関係団体）

区内には、気の合う仲間等で構成するスポーツクラブやサークルが数多く存在しており、主に学校体育館や校庭を会場として活動しています。区に社会教育関係団体として登録しているクラブ・サークルは、令和7(2025)年10月現在で17種目、413団体に上っています。

(3) 大学・研究機関等

① 大学等

区内には、東京都立大学荒川キャンパス（以下「都立大」という。）と、東京都立産業技術高等専門学校荒川キャンパスがあります。

都立大は、専門分野が福祉や医療等であり、これらの分野で連携を進めるべく、平成30(2018)年に健康づくりに関する包括連携協定を締結し、定期的に関係者会議において意見交換を行うとともに、ころばん体操等の実施会場として都立大の施設を利用したり、都立大でパラスポーツイベントを行う際は、区が後援を行ったり、相互に連携を図りながら事業を行っています。

東京都立産業技術高等専門学校荒川キャンパスは、南千住汐入の再開発エリアに位置し、体育館やグラウンド等のスポーツ施設の区民利用で連携を行っています。

② 研究機関

区内には、義足などの義肢や装具を作成し、リハビリテーションを行う、民間における国内唯一の専門組織である公益財団法人鉄道弘済会「義肢装具サポートセンター」があります。

区で実施するパラスポーツイベントである「パラスポーツフェスティバル」などを行う際には、義肢の展示や義足での歩行体験など、障がいへの理解を深める取組に協力いただくなど連携を行っています。

(4) 民間スポーツ施設

区内には、温水プールやトレーニングマシンを備えた様々なタイプの民間スポーツ施設があり、24時間営業のスポーツジムやパーソナルジム、ピラティスやヨガのスタジオなどを合わせると100近くの施設が運営されています。また空手道場やボクシングジムなどの格闘技のできる施設も多く、スケートボードやスポーツクライミングなどのアーバンスポーツができる施設もあります。

2 スポーツ推進プランの取組状況

平成28(2016)年3月に策定した荒川区スポーツ推進プランで掲げた基本目標ごとにとり組状況を振り返ります。

(1) 基本目標1 気軽にスポーツに親しめるようスポーツの裾野を広げる

誰でも参加できる場をつくり、身近なスポーツ環境を整えることで、区民が気軽にスポーツに触れ、体験する機会や場の充実を図る取組を進めました。

【主な事業】

荒川リバーサイドマラソン、パラスポーツフェスティバル、スポーツひろば、スポーツセンター・スポーツハウス事業、ふれあい館のスポーツ事業、放課後子ども総合プラン等事業 等

【取組状況等】

区や関連団体などの主催で様々なスポーツ事業を展開するとともに、スポーツセンターの大規模改修などにより、区民にスポーツに接する機会を提供し、スポーツ施設の利用環境の向上を図りました。

引き続き、区民が参加しやすいスポーツイベントを企画・運営するとともに、パラスポーツイベントへの障がいのある方の参加促進や大会形式へのレベルアップなどの新たな取組が求められています。また、老朽化した荒川遊園スポーツハウスの大規模改修により誰もが使いやすい施設にしていくとともに、地域バランスを考慮した新たな施設整備等も求められています。

(2) 基本目標2 生涯健康で暮らせるようスポーツで健康増進を図る

区民の運動習慣をサポートし、スポーツを通じて体力の維持向上を図り、子どもから高齢者まで、生涯健康で暮らせるよう健康の増進を図る取組を進めました。

【主な事業】

ころばん・せらばん・ばん座位体操、親子で体力アップ、ラジオ体操の振興、荒川区健康ポイントアプリ「あらチャレ」、No!メタボチャレンジャー、高年者クラブスポーツ事業支援 等

【取組状況等】

親子で体力アップ事業やころばん体操など、子どもから高齢者までそれぞれの属性に応じて参加できる様々な事業の実施により、生涯の運動習慣をサポートする取組を行ってきました。また、令和7(2025)年度に荒川区健康ポイントアプリ「あらチャレ」を開始し、アプリ参加の皆様、楽しみながら気軽に健康増進に取り組んでいただいています。

今後一層のスポーツ振興を図っていくため、余暇時間や体力などライフステージごとに変化する要因を考慮し、年代や障がいの有無等、それぞれスポーツに取り組む方の特性に応じた施策実施が求められています。また、ころばん体操など、特に高齢者向け事業において、高齢者の外出機会増加を図る取組が求められています。

(3) 基本目標3 スポーツのレベルアップのため選手や指導員を育成する

アスリートや指導員、ボランティア等の活動を支援・育成し、スポーツのレベルアップにつながる取組を実施しました。

【主な事業】

アスリートレベルアップ塾、スポーツ推進委員活動、パラスポーツサポーターや初級パラスポーツ指導員の養成、部活動推進、青少年スポーツ活動支援、教育委員会褒章 等

【取組状況等】

オリンピックなどの国際大会や海外プロリーグで活躍する日本人選手を目にする機会が増え、競技力の向上を目指す機運が高まるとともに、アーバンスポーツなど新たなスポーツへの注目も高まりました。区としては、特に子どもたち向けにスポーツのレベルアップにつながる取組を実施しており、今後、区民のスポーツニーズの動向も踏まえながら推進していくことが求められています。

中学校の部活動については、全国的に部活動指導員の活用や学校間で合同練習等を行う地域連携、地域クラブ活動に移行する地域移行などの新しい取組が始まっています。区でも地域移行に関してモデル事業を開始したところであり、今後のあり方について検討をしていく必要があります。

(4) 基本目標4 地域の力を高めるため人や地域をスポーツでつなぐ

地域の力を高めるため、スポーツイベントの開催や団体等との連携を図り、人や地域をスポーツでつなぐ取組を実施しました。

【主な事業】

スポーツ協会への支援、区民ハイキング、地域のスポーツイベントへの支援、友好交流都市等とのスポーツ交流事業 等

【取組状況等】

スポーツによる地域コミュニティ活性化の役割に着目し、地域スポーツ団体への支援や仲間づくり、交流事業などの取組を行いました。

少子化やライフスタイルの多様化、インターネットの普及等に伴い、区民のスポーツ活動の状況は多様化しており、スポーツ協会加盟団体に所属しないスポーツチームやサークルが多く存在しています。今後、そうした活動について区としてどう関われば区全体としてのスポーツ振興につなげていくか検討していくことが求められています。

3 荒川区スポーツ意識調査の結果

区では、本プラン策定の基礎資料とするため、区民のスポーツに関する意識や実態についてのアンケート調査「荒川区民スポーツ意識調査」を実施しました。意識調査は、以下の3種類を実施しました。

- 一般向け調査（区内在住の18歳以上から2,500名を無作為抽出）
- 障がい者向け調査（障害者手帳を持つ区内在住の18歳以上から1,000名を無作為抽出）
- 小学生・中学生・高校生向け調査（区内在住又は在学中の区立の小学校、中学校及び区内の高等学校の学生）

各アンケート結果の概要は次のとおりです。

(1) 一般向け調査

本調査では、区内在住の18歳以上から、2,500人の方を無作為に抽出してアンケートを実施し、673件（26.9%）の方から回答を得たものです。

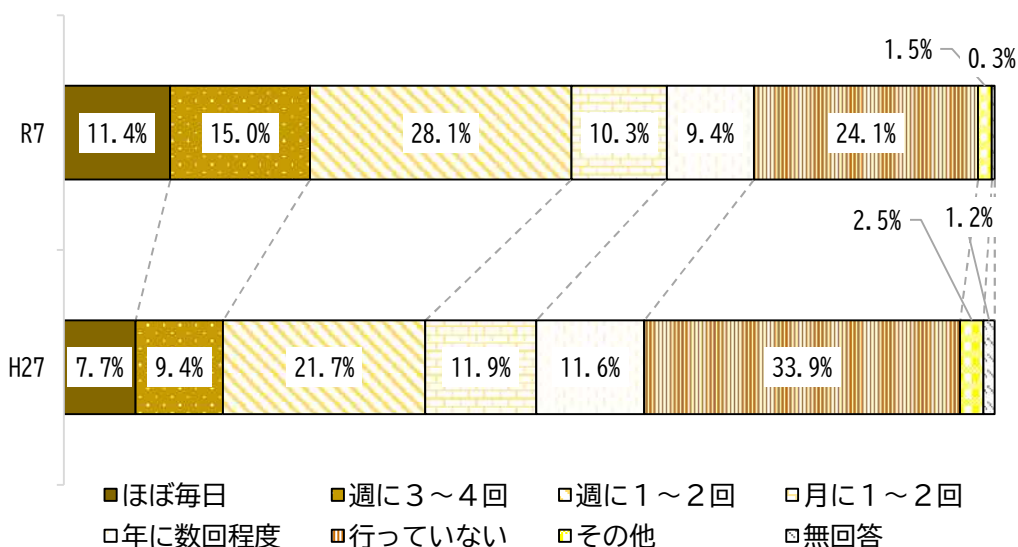
① スポーツの実施状況について（詳細は資料編2～20ページを参照ください。）

<スポーツに対する考え方>

スポーツや運動は、幸福で豊かな生活を送るために必要であると答えた方は9割を超えていました。

<スポーツ実施状況>

週1回以上スポーツを実施している割合は54.5%となっており、令和7(2025)年度までの目標値50%を上回りました（下棒グラフ参照）。



<行っているスポーツ・今後やりたいスポーツ>

「現在実施しているスポーツ」で回答割合が最も多かったのは「ウォーキング、散歩（街歩き、ペットの散歩等を含む）」（65.2%）であり、性別や年代別で見ると、男性、女性どの年代においても回答割合が最も多くなりました。一方、「今後やりたいスポーツ」で回答割合が多かったのも「ウォーキング、散歩（街歩き、ペットの散歩等を含む）」（36.0%）であり、次いで「体操（ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、ころばん体操等を含む）」（29.6%）、「水泳」（16.6%）でした。

<スポーツの実施場所>

日ごろスポーツや運動を行っている場所としては、「歩道や遊歩道」の割合が最も多く、6割弱でした。

<スポーツを行う理由・誰とスポーツを行うか>

スポーツを行う理由としては「健康・体力づくり」で約71%、次いで「運動不足の解消」で約59%、「楽しみ、気晴らし、ストレス解消」の割合で約56%となりました。また、「誰と行っているのか」という設問に対して、「一人で」行っていると回答した割合が7割弱でした。

<スポーツを行っていない理由>

スポーツや運動を「行っていない」、あるいはスポーツの実施頻度に「満足していない」理由としては、「仕事、介護、育児等で忙しく時間がない」と回答した割合が5割弱と、最も多く、特に子育て世代や働き盛り世代がスポーツや運動を行っていないことが分かりました。

<スポーツ活性化のために区が行うべき施策>

スポーツ活動をより活性化するために必要な区の施策としては、「公共スポーツ施設の整備・充実」の割合が4割弱で最も多く、次いで「子ども（小・中学生）の体力・運動能力の向上」、「高齢者のスポーツによる健康寿命の延伸」の割合が多くなりました。

② 区等のスポーツイベントの参加状況について（詳細は資料編 21～23 ページを参照ください。）

応援や観覧も含み、この1年間で区やスポーツ協会主催のスポーツイベントに「参加したことがある」と回答した方は1割弱でした。

「参加したことがある」理由で最も回答割合が多かったのは、「家族や友人とともに楽しめる」が5割弱で、次いで「イベントの内容に興味があった」、「参加費が安い（かからない）」が4割弱でした。

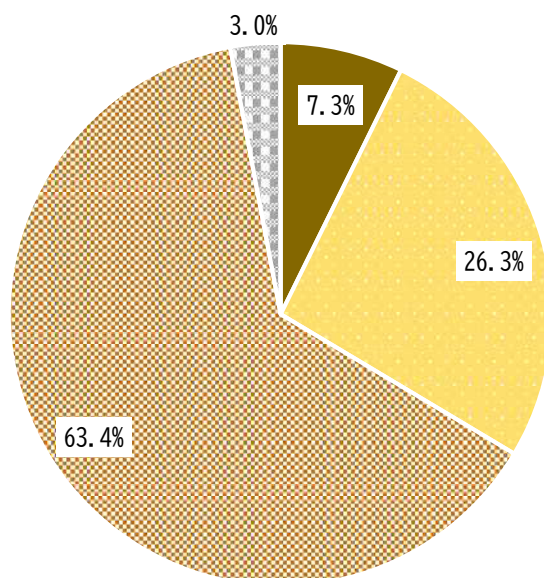
一方、「参加したことがない」理由で最も回答割合が多かったのは、「開催していることを知らなかった」で5割以上となりました。

③ スポーツを支える活動について（詳細は資料編 24～30 ページを参照ください。）

<スポーツボランティアに関する関心>

スポーツや運動の指導・審判、スポーツイベントのボランティア等のスポーツを支えるボランティアに“関心がある”（「関心があり、参加したことがある」及び「関心はあるが、参加したことがない」）を選択した方という回答者は3割程度となりました（下図グラフ参照）。

“関心がある”という回答者のなかで、参加する（または参加したい）目的として、最も回答割合が多かったのは、「自らの健康づくりや生きがいづくり」（57.5%）、次いで「地域の交流の場づくり」（41.2%）、「社会貢献」（38.9%）となりました。



- 関心があり、参加したことがある
- 関心はあるが、参加したことがない
- ✖ 関心はない（参加したことがない）
- ※ 無回答

<スポーツの担い手の認知度>

「スポーツ推進委員」について、「活動内容について知っている」の回答割合は 3.7%、「名前は聞いたことがある」の回答割合は 17.5%となりました。さらに、「参加したい（参加している）」、「話を聞いてみたい」と回答した方が2割弱でした。

「荒川区スポーツ協会」について、「活動内容について知っている」の回答割合は 5.3%、「名前は聞いたことがある」の回答割合は 17.2%となりました。

「地域スポーツクラブ」について、「活動内容について知っている」の回答割合は 9.1%、「名前は聞いたことがある」の回答割合は 22.0%となりました。

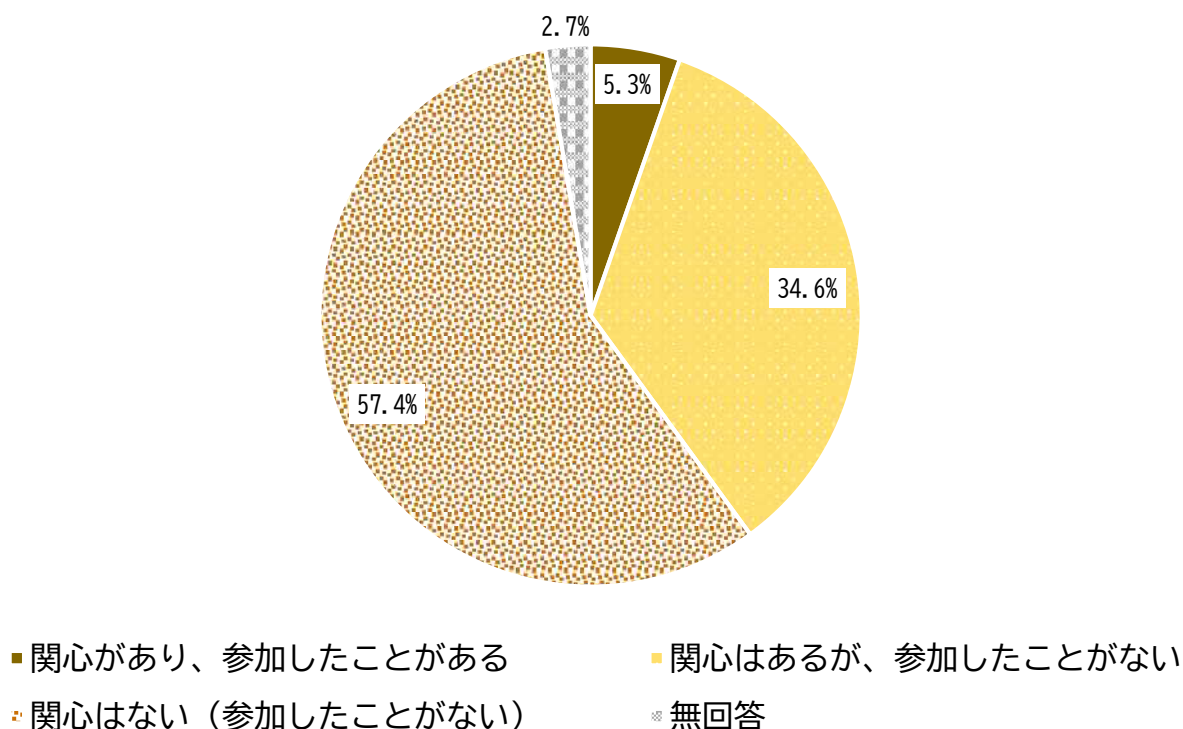
いずれのスポーツの担い手に関しても認知度は、3割前後となっていました。

④ パラスポーツについて（詳細は資料編 31～33 ページを参照ください。）

パラスポーツに関心や参加経験（応援や観覧も含む）について、「関心があり、参加したことがある」が 5.3%、「関心はあるが、参加したことがない」が 34.6%と“関心がある”は約 40%であり、令和 7 (2025)年度までの目標値である 50%を下回りました（下図グラフ参照）。

“関心がある”回答者の中で、関心のある種目のうち最も回答割合が多かったのは、「車いすテニス」(46.5%)、次いで「ボッチャ」(46.1%)、車いすバスケットボール (45.0%) であり、いずれも 5割弱となりました。

「関心はない（参加したことがない）」と回答した方の中で、パラスポーツに関心がない理由として最も多かったのは、「身近にパラスポーツに関わる人がいない（知らない）」で 4割程度となりました。



⑤ 区立スポーツ施設の利用状況等について（詳細は資料編 34～37 ページを参照ください。）

区立スポーツ施設の利用状況について、いずれかの施設を利用したことがあると回答した方のなかでは、「荒川総合スポーツセンター」が最も多く、5割程度でした。

区立スポーツ施設を利用している回答者の施設に対する満足度について、「満足している」、「まあ満足している」と回答した方は約 8割でした。

一方で、不満があると回答した方について、その内容は、「利用可能な時間帯が限られている」、「施設内の設備・備品等が劣化又は不足している」がいずれも約 45%で最も多い回答でした。

今後区立スポーツに対して望むこととして、「身近な場所への施設の増加」(41.3%) の回答割合が最も多く、次いで「良好な衛生環境の維持」(29.1%)、「より一層の利用手続き、予約方法の簡素化」(22.6%) でした。

(2) 障がい者向け調査

本調査では、障害者手帳を持つ区内在住の18歳以上から、1,000人の方を無作為に抽出してアンケートを実施し、302件(30.2%)の方から回答を得たものです。

① 障がいの状況について（詳細は資料編43～46ページを参照ください。）

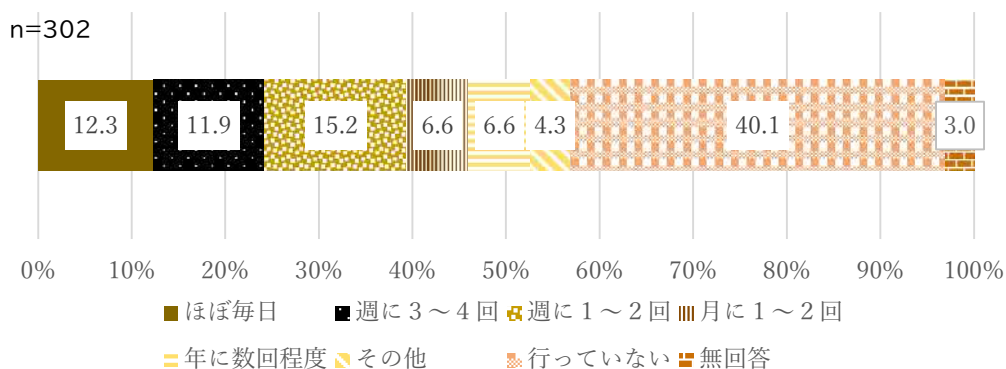
幸福で豊かな生活を送るうえで、スポーツ活動を必要であると回答している割合は9割弱、必要でないと回答している割合は1割程度でした。

持っている手帳については、「身体障害者手帳」の割合が67.5%、「精神障害者保健福祉手帳」の割合が23.2%、「愛の手帳」の割合が19.2%でした。

② スポーツの実施状況について（詳細は資料編47～70ページを参照ください。）

<スポーツの実施頻度と満足度・スポーツを行わない理由>

日ごろスポーツや運動を行っている実施頻度について、「週に1～2回」の割合が15.2%と最も高く、次いで「ほぼ毎日」の割合が12.3%、「週に3～4回」の割合が11.9%でした。また、「行っていない」と回答した方の割合が約40%でした（下棒グラフ参照）。この実施頻度について満足しているとの回答が62.2%、満足していないとの回答が25.0%となりました。スポーツや運動を「行っていない」あるいは実施頻度に「満足していない」という回答した理由を調査したところ、「体力や体調に不安がある」の割合が最も高く、36.0%でした。



<行っているスポーツ・今後やりたいスポーツ>

どのようなスポーツを行っているかについては、「ウォーキング、散歩（街歩き、ペットの散歩等を含む）」の割合が64.5%と最も高く、次いで「体操（ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、ころばん体操等を含む）」の割合が28.5%、「室内運動器具（マシンジム、バランスボール等）による運動」の割合が12.2%でした。

また、今後やってみたいスポーツを調査したところ、「ウォーキング、散歩（街歩き、ペットの散歩等を含む）」の割合が最も高く、次いで「体操（ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、ころばん体操等を含む）」の割合が20.5%、「水泳」の割合が16.9%でした。

<障がい者のスポーツの活動活性化のために重要なこと>

障がい者のスポーツ活動をより活性化するために重要なことについては、「スポーツ施設までの移動手段の確保」の割合が最も高く、3割程度となりました。

③ 区立スポーツ施設について（詳細は資料編 71～73 ページを参照ください。）

区立スポーツ施設の利用状況について、最も回答割合が多かったのは、「荒川総合スポーツセンター」で4割程度でした。また、いずれの施設も「利用したことがない」と回答した方も4割程度でした。区立スポーツ施設を利用していると回答した方の中では、7割弱が満足しているという結果になりました。

区立スポーツ施設に望むことについては、「利用手続き、予約方法の効率化、見直し」の割合が最も高く、2割程度でした。なお、区立スポーツ施設を利用するうえで最も困っていること、改善してほしいことについて、主な自由意見としては、「施設数の増加」、「施設までの移動手段の確保」、「職員・スタッフの接遇、指導力の向上」などが挙がりました。



▲荒川総合スポーツセンター



▲南千住野球場



▲区民運動場多目的広場

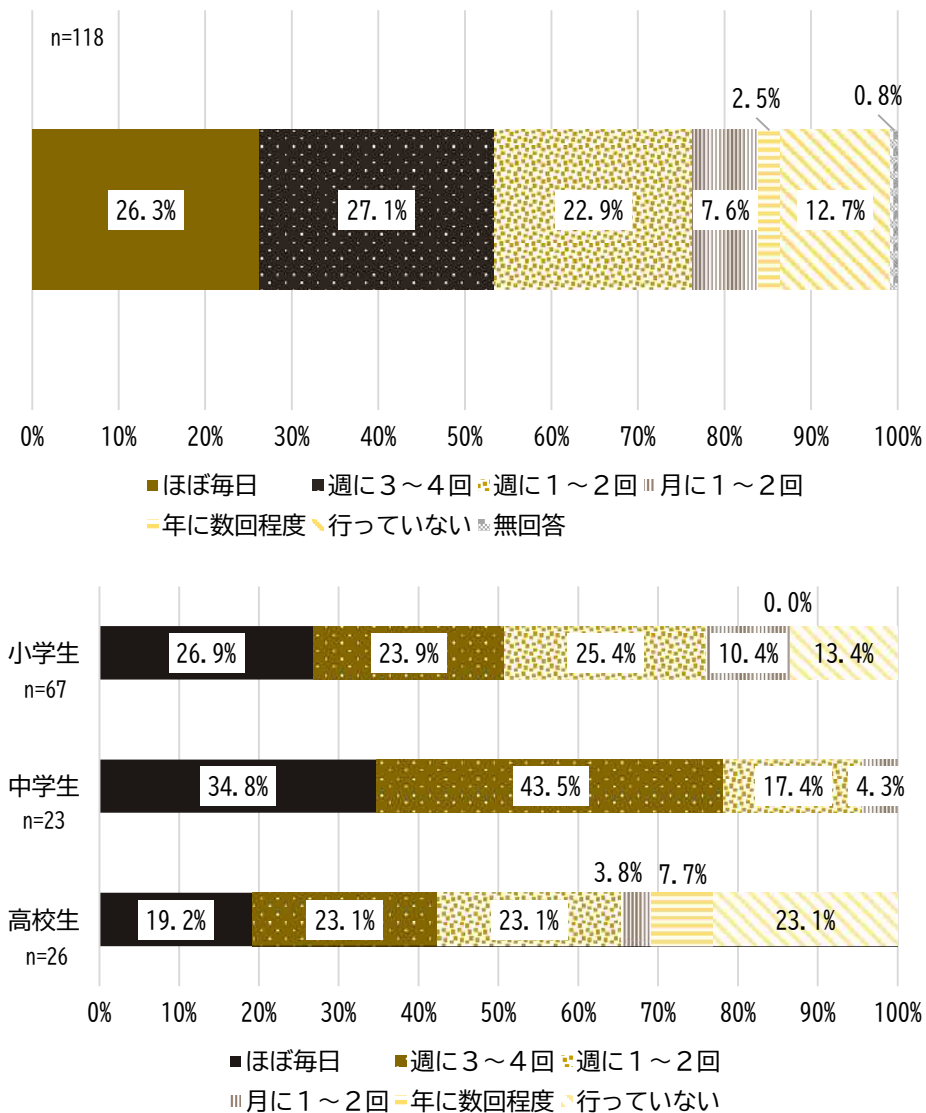
(3) 小学生・中学生・高校生向け調査

本調査は区内在住あるいは在学中の区立の小学校、中学校、区内の高等学校の学生を対象とし、各学校を通してアンケートへの回答を呼びかけ 118 件の回答を得たものです。

① スポーツの実施状況について（詳細は資料編 78～86 ページを参照ください。）

<スポーツ実施状況>

学校の体育の授業以外での、スポーツの実施状況については、「週に3～4回」と回答した方が 27.1%と最も多く、次いで「ほぼ毎日」と回答した方が 26.3%でした。学年別に見ると、中学生の中で「行っていない」と回答した方はいませんでした（下棒グラフ参照）。



<行っているスポーツ・今後やりたいスポーツ>

「行っているスポーツ」について、小学生の回答割合が最も多かったのは「おにごっこ、かくれんぼ、カンけり、鉄棒、ぶらんこ」(37.9%)、次いで「水泳」(29.3%)、「サッカー、フットサル」(20.7%)でした。

中学生の回答割合が最も多かったのは「バドミントン」(26.1%)、次いで「筋力トレーニング」(21.7%)、「サッカー、フットサル」(13.0%)でした。

高校生の回答割合が最も多かったのは「バドミントン」(25.0%)、次いで「サッカー、フットサル」、「テニス、ソフトテニス」、「バスケットボール(3on3を含む)」、「柔道、空手、テコンドー、合気道」、「自転車あそび」(いずれも15.0%)、「バレーボール」、「体操(軽い体操・ラジオ体操など)」(いずれも10.0%)でした。

「今後やりたいスポーツ」について、小学生の回答割合で最も高かったのは、「卓球」(25.4%)、次いで「バドミントン」、「ボウリング」(いずれも22.4%)、「柔道、空手、テコンドー、合気道」、「釣り」(いずれも19.4%)でした。

中学生の回答割合で最も高かったのは、「テニス、ソフトテニス」(34.8%)、次いで「バドミントン」、「eスポーツ」(いずれも26.1%)、「卓球」、「剣道、薙刀」(いずれも21.7%)でした。

高校生の回答割合で最も高かったのは、「釣り」(26.9%)、次いで「卓球」(19.2%)、「バスケットボール(3on3を含む)」、「筋力トレーニング」、「剣道、薙刀」、「弓道、アーチェリー」、「キャンプ」、「おにごっこ、かくれんぼ、カンけり、鉄棒、ぶらんこ」、「eスポーツ」(いずれも15.4%)でした。

<スポーツの実施場所>

「実施しているスポーツ」を行った場所について、最も回答割合が多かったのが、「学校の体育館・校庭」(42.7%)、次いで「広場や公園」(32.0%)、「スポーツセンターや南千住野球場などの区のスポーツ施設」(27.2%)でした。

<スポーツを行う理由・行わない理由>

「実施しているスポーツ」を行う理由について、「楽しみ」(51.5%)、次いで「健康・体力づくり」(48.5%)、「自分の技術力向上・能力の向上」(40.8%)でした。

一方、スポーツを「行っていない」と回答した方の中で最も割合が多かったのは、「特に理由はない」(33.3%)、次いで「その他」(面倒くさい、塾や受験勉強で忙しいなど)、「体力に自信がない」(いずれも26.7%)、「一緒に行く仲間がいない」(20.0%)が多くなりました。

スポーツや運動のクラブやサークルなどの所属の状況については、最も回答割合が多かったのは、「地域やクラブのサークル」(18.6%)、次いで「民間のスポーツクラブ」(11.0%)、「学校のサークル」(10.2%)が多くなりました。

② 区のスポーツ施設について (詳細は資料編 87~90 ページを参照ください。)

区立スポーツ施設の利用状況について、いずれかの施設を利用したことがあると回答した方のなかで、最も回答割合が多かったのは、「荒川総合スポーツセンター」(65.3%)でした。

区立スポーツ施設を利用していると回答した方の中では、9割程度が満足をしているとの回答でした。

荒川区にないスポーツ施設で、「あったらいいなと思うスポーツ施設」に関しては、小学生で最も回答割合が高いのは「ボウリング場」、「その他」（いずれも 26.9%）、次いで「スケートボード場」、「ドローンを飛ばすことができる施設」（いずれも 23.9%）、「ダイビングプール」、「壁打ちができる場所」（いずれも 22.4%）でした。

中学生で最も回答割合が高いのは「eスポーツができる施設」、「ボウリング場」（いずれも 26.1%）、次いで「クライミングのできる壁」、「400mの陸上トラック&フィールド」、「アーチェリー場」（いずれも 21.7%）、「バッティングセンター」、「壁打ちができる場所」、「その他」（いずれも 17.4%）でした。

高校生で最も回答割合が高いのは「eスポーツができる施設」（30.8%）、次いで「アーチェリー場」、「その他」（いずれも 15.4%）、「クライミングのできる壁」、「400mの陸上トラック&フィールド」、「ドローンを飛ばすことができる施設」、「壁打ちができる場所」、「ボウリング場」（いずれも 11.5%）でした。



▲区民陸上競技会（舎人公園陸上競技場）

4 荒川区内の主なスポーツ団体へのヒアリング

本プランの策定にあたり、荒川区スポーツ協会、荒川区スポーツ推進委員、総合型地域スポーツクラブ、東京都障害者スポーツ指導員協議会荒川等のスポーツ関連団体にも、区民のスポーツ活動を支える担い手として、ヒアリングを実施しました。

その結果、各団体の活動をけん引する役員等の高齢化に伴う将来的な担い手の確保や、実施事業等への区民の興味・関心の向上について、各団体が共通して課題として捉えていることがわかりました。



▲スポーツ推進委員

5 解決すべき課題

本章「2 スポーツ推進プランの取組状況」、「3 荒川区スポーツ意識調査の結果」を踏まえ、本区の今後のスポーツの推進に向けて、優先的に取り組むべき重要課題として大きく以下の3点に整理します。

課題1：スポーツへの参加機会の拡大と多様なニーズへの対応

区民全体のスポーツ実施率は一定向上しているものの、子育て世代や働き盛り世代など忙しく時間がない方や、障がいのある方など、それぞれのスポーツに取り組む主体に応じて運動機会を提供し、さらにスポーツを通じて健康増進を図るにあたっては、まだ改善の余地があります。また、スポーツイベント等の情報発信力の強化と、パラスポーツへの物理的・精神的バリアの解消等の取組が必要です。

課題2：地域コミュニティにおけるスポーツの活用とスポーツを支える人材の育成

スポーツは、地域活性化を促進する有力なツールとなりますが、地域活動の担い手の高齢化や、スポーツ団体・地域スポーツクラブの認知度の低さといった課題が見られます。特に子どもたちや障がいのある方のスポーツ活動には、それらを支えるスポーツボランティアの存在が必要不可欠であり、スポーツを通じて人々のつながりを深め、地域の活力を高めるためには、新たな担い手の確保と育成、そして活動支援が不可欠です。

課題3：スポーツ環境の充実と利便性の向上

区立スポーツ施設に対して、老朽化解消やより身近な場所への施設整備、障がい者の利用環境向上、そして誰もがスポーツ施設を利用しやすくするための利用方法の改善などが求められています。また、多様化するスポーツニーズへの対応や多忙でスポーツ施設を利用できない方へのスポーツ環境の提供も課題となっています。

本プランでは、荒川区のスポーツを将来にわたって発展させていくために、これらの課題解決に向けた方策を検討し、戦略的に各施策を実施します。



第 3 章

スポーツ推進プランの概要

第3章 スポーツ推進プランの概要

1 基本理念と基本目標

(1) 基本理念

スポーツへのアプローチ方法としては、「する」・「みる」・「支える」といった方法があり、荒川区ではこの3点をアプローチの視点としてスポーツ施策に取り組んできました。

本スポーツ推進プランの策定にあたっては、この3つのアプローチ方法に加えて、全ての区民が、様々な形でスポーツに関わり、その恩恵を享受できる社会を目指します。区民がスポーツを通じて、個々に心身ともに健康で充実した人生を送るとともに、人と人がつながり、また人と地域がつながることで、荒川区全体が活性化し、その先に荒川区の明るい未来が創出されるよう、本プランの基本理念を次のとおり定めます。

基本理念

すべての区民が 身近な地域でスポーツに親しみ
スポーツで 人が 地域が つながり
荒川区の 明るい未来を 創る

(2) 基本目標

今期のプランにおいては、前章の課題を踏まえ、基本理念の実現に向けて達成すべき3つの基本目標を下記のとおり設定します。これらの目標は、区民のスポーツニーズの多様化に対応するとともに、スポーツが持つ多面的な価値を最大限に引き出すことを目指します。

基本目標1 生涯にわたってスポーツを楽しめる機会をつくる

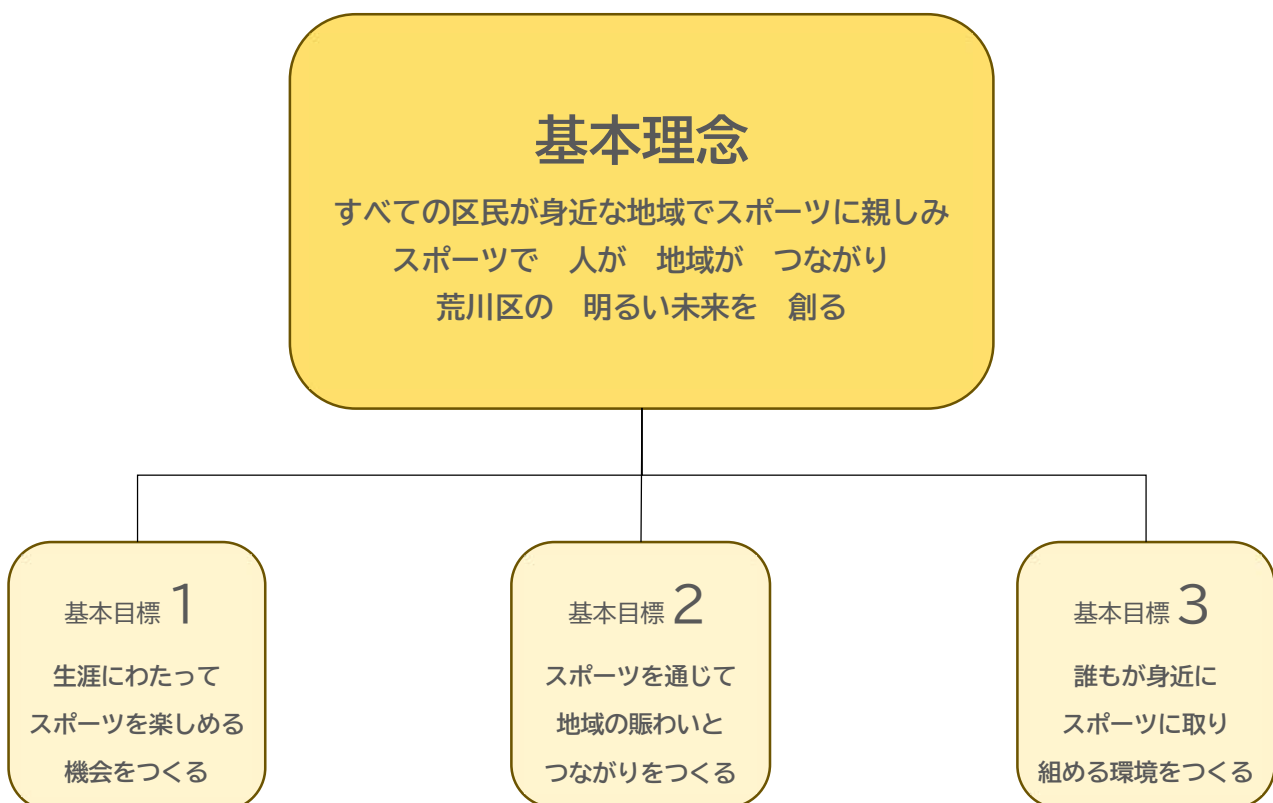
子どもから高齢者まで、障がいの有無等にかかわらず、誰もが自分に合ったスポーツに親しむことができ、様々なスポーツニーズに対応したスポーツ活動の機会と場の充実を図ります。区民にスポーツのある生活を提供し、生涯にわたる運動習慣の定着を促進します。

基本目標2 スポーツを通じて地域の賑わいとつながりをつくる

スポーツを「する」人、スポーツ大会を「みる」人、ボランティアなどでスポーツを「支える」人、そして、様々な形でスポーツを「応援」する人、こうした多様な人々が集まることで、その場所に新たな賑わいが生まれます。スポーツを通じて区民同士の新たなつながりを生み出し、地域の賑わいを創出できるよう、団体支援や仲間づくり支援などの施策に取り組みます。

基本目標3 誰もが身近にスポーツに取り組める環境をつくる

誰もが身近な場所で気軽にスポーツに取り組めるよう、既存の施設のバリアフリー化や施設・設備の充実を図るとともに、スポーツ施設の地域バランスを考慮した新規施設の整備にも取り組みます。また、アーバンスポーツやeスポーツなど、近年多様化するスポーツニーズの動向を注視し、適切なスポーツ環境を提供できるよう対応していきます。



<荒川区スポーツ推進プラン施策体系> ★…重点プロジェクト

基本目標1 生涯にわたってスポーツを楽しめる機会をつくる

施策1 子ども達のスポーツ活動を充実する ★

スポーツに触れる・スポーツを楽しむ
学校におけるスポーツ活動を充実する
運動能力を伸ばす
チャレンジを応援する

施策2 働き盛り・子育て世代のスポーツ機会を増やす

運動をするきっかけをつくる
健康を考える
スポーツで生活満足度を高める

施策3 スポーツで高齢者の健康増進といきがいづくりを応援する

運動習慣の定着を支援する
楽しみながら体を動かす
フレイルを予防する

施策4 障がい者のスポーツ活動を推進する ★

パラスポーツへの距離を縮める
障がいへの理解を深める
スポーツを通じてつながる
運動習慣の定着と運動機能の向上を支援する

基本目標2 スポーツを通じて地域の賑わいとつながりをつくる

施策1 地域のスポーツ団体を支援する ★

活動環境の整備と認知度の向上を図る

施策2 トップアスリートと連携する

アスリートにより競技力向上を図る
アスリートへの応援等を通じてまちの賑わいを創出する

施策3 仲間づくりを応援する ★

集う場・機会を提供する
クラブやサークルの活動を支援する

施策4 スポーツで交流を推進する

日常の交流の場を設ける
競技を通して交流する
国内・国際交流を促進する
事業者のスポーツ活動を推進する

基本目標3 誰もが身近にスポーツに取り組める環境をつくる

施策1 スポーツ環境を充実する ★

スポーツ施設を整備する
その他のスポーツ環境を整備する

施策2 障がい者のスポーツ環境を整える

スポーツ施設の利用環境を向上する

施策3 スポーツ施設の利活用を促進し、スポーツ施設や事業等の情報発信を強化する

スポーツ施設の稼働率を上げる
酷暑下におけるスポーツ施設利用の適正化を図る
スポーツに関する情報発信を強化する

2 達成指標一覧

スポーツ推進プランに基づく取組の進捗状況を管理するため、基本目標ごとに達成度を確認するための指標を設定します。なお、現状値は令和7(2025)年度現在の実績値、目標値は令和12(2030)年度の目標値になります。

(1) 基本目標1 生涯にわたってスポーツを楽しめる機会をつくる

【指標】 スポーツ実施率（全施策）

スポーツ実施率に関しては、基本目標1の各施策で対象とする属性ごとの進捗状況を管理するために、属性別に指標を設定します。

指標		現状値	目標値
子どものスポーツ実施率（週1回以上スポーツをしている）		76.3%	80%
小中学生		81.1%	85%
高校生		65.4%	75%
大人のスポーツ実施率（週1回以上スポーツをしている）		54.5%	70%
子育て世代（中学生以下の子どもがいる世帯）		53.9%	70%
働き盛り（25～64歳）		50.7%	70%
高齢者（前期）（65歳～74歳）		54.7%	70%
高齢者（後期）（74歳～）		68.1%	70%
障がい者のスポーツ実施率（週1回以上スポーツをしている）		39.4%	50%

【指標】 パラスポーツへの関心（施策3）

※関連：基本目標3—施策2 障がい者のスポーツ環境を整える

障がいのある方のスポーツ活動を推進するとともに、障がいの有無にかかわらず、パラスポーツを通じた障がいへの理解を促進します。

指標	現状値	目標値
大人のパラスポーツへの関心度	39.9%	80%

¹ 属性は、厚生労働省が作成した「健康日本21（第一次）」の年齢区分を参考に、今回実施した各種調査の結果を年齢層でクロス集計を行い抽出しています。

(2) 基本目標2 スポーツを通じて地域の賑わいとつながりをつくる

【指標】 スポーツボランティアに関する関心（施策1）

区のスポーツ活動推進のけん引役であるスポーツ推進委員やスポーツ協会をはじめとするスポーツボランティアへの関心を高め、持続可能な推進体制の確立を目指します。

指標	現状値	目標値
スポーツボランティアに関する関心	33.6%	50%

【指標】 クラブやサークルへの所属状況（施策3）

スポーツを通じて、人と人がつながり、人と地域がつながることで「元気なまち・あらかわ」の実現にもつなげていきます。

指標	現状値	目標値
大人のスポーツや運動のクラブやサークルなどに所属している割合	19.8%	25%
障がい者のスポーツや運動のクラブやサークルなどに所属している割合	11.0%	15%
子どものクラブやサークルなどに所属している割合	44.1%	50%

(3) 基本目標3 誰もが身近にスポーツに取り組める環境をつくる

【指標】 スポーツ施設の整備状況（施策1）

区民のスポーツ活動の基盤として、区民一人ひとりの身近な場所にスポーツ施設のある環境を整えるとともに、安全で快適に利用できるよう内容の充実を図ります。

指標	現状	目標
あらかわ遊園スポーツハウスの大規模改修	改修中	整備完了（令和9(2027)年度）
南千住野球場、荒川遊園運動場の照明LED化	計画中	整備完了（令和9(2027)年度）
東尾久運動場多目的広場のレベルアップ	計画中	整備完了（令和10(2028)年度）
三河島北アリーナの整備	計画中	整備完了（令和12(2030)年度）

【指標】区立施設の利用状況（施策3）

区民共通の財産であるスポーツ施設が有効に活用され、区民のスポーツ活動の場として機能するよう、ハード・ソフト両面からレベルアップを図ります。

指標	現状値	目標値
大人の区立スポーツ施設を利用したことがある割合	59.3%	65%
障がい者の区立スポーツ施設を利用したことがある割合	49.3%	55%
子どもの区立スポーツ施設を利用したことがある割合	72.9%	80%

（4）スポーツ推進プラン全体

【指標】区等主催のスポーツイベントへの参加割合

様々な方を対象に実施している区やスポーツ協会主催のスポーツイベントについて、情報発信を強化し、区民の皆様幅広く周知するとともに、スポーツイベントが区民のスポーツ習慣定着のきっかけとなるよう、参加しやすく、楽しいイベントを開催していきます。

指標	現状値	目標値
区やスポーツ協会主催のスポーツイベントへの参加割合	8.8%	15%



▲東京2025デフリンピック
パブリックビューイング▶





▲ラジオ体操中央大会



▲あらかわ秋のスポーツイベント



▲あらスポフェスタ



▲あらボッチャ

第 4 章

基本目標ごとの取組

第4章 基本目標ごとの取組

1 基本目標1 生涯にわたってスポーツを楽しめる機会をつくる

(1) 施策1 子どもたちのスポーツ活動を充実する（★重点プロジェクト）

子どもの頃からスポーツに触れ、親しむことができる環境を整備し、生涯を通じたスポーツ習慣を身に付ける第一歩となる取組を実施していきます。子どもたちが多くの時間を過ごす幼稚園や保育園、学校でのスポーツ活動の充実や、「もっと運動やスポーツがしたい」と思う子どもたちの運動能力向上、全国大会や国際大会などへのチャレンジ精神を持ってスポーツに取り組む子どもたちの応援など、幅広く子どもたちのスポーツ活動の充実を図ります。

<主な取組>

取組	内容
●スポーツに触れる・スポーツを楽しむ	
ニュースポーツ・パラスポーツの促進	誰もが気軽に取り組めるボッチャ等のパラスポーツやモルック等のニュースポーツの体験会等により、スポーツの楽しさを再認識してもらう機会を提供します。
放課後子ども総合プラン（にこにこすくーる）	学校施設などで児童の安全な放課後の居場所を作るとともに、地域の参加・協力を得て、遊び、スポーツ、文化活動等の様々なプログラムを実施します。
幼稚園や保育園での運動遊びの実施	子どもたちの心身の成長や社会性の発達のために、幼稚園や保育園において楽しみながら身体を動かせる運動遊びの機会を設けます。
親子で体力アップ	スポーツ協会による、親子で楽しみながら身体を動かせる運動会形式のスポーツイベントを実施します。
区施設での子どもの遊び場の提供	ふれあい館やひろば館、文化施設やスポーツ施設などにおいて、猛暑日でも子どもたちが安心・安全に遊べる場所を提供します。
●学校におけるスポーツ活動を充実する	
部活動地域展開の推進	将来的な部活動の地域展開に向けて、令和7(2025)年度にモデル校1校で開始した地域連携モデル事業について、検証を行いながら対象校や種目等の拡大を図ります。
小学校地区連合運動会、中学校連合体育大会	区内4地区ごとに小学6年生を対象に地区別連合運動会を実施するとともに、各中学校で選抜した選手による連合体育大会（陸上競技大会）を実施します。
体育授業のレベルアップ	体育・スポーツをテーマとする研究指定校事業において、学習指導等のあり方について調査研究が行い、体育授業のレベルアップを図ります。

取組	内容
●運動能力を伸ばす	
スポーツ施設における子ども向け教室	スポーツセンター、スポーツハウス、新設予定の三河島北アリーナにおいて、多彩なメニューの子ども向けスポーツ教室を展開します。
子どもスポーツパワーアップ	スポーツを通じて子どもたちが豊かな心を育み、レベルの高い指導を受けることのできる事業を実施する団体等を支援します。
鉄人レース・イン・汐入	南千住スポーツクラブが主催する小学生対象のアクアスロン(水泳とランニング) 大会の実施を支援します。
●チャレンジを応援する	
アスリートによるレベルアップ塾	トップアスリートの指導により、レベルアップを図るとともに、アスリートを目指す子どもたちのモチベーションを醸成します。
スポーツ協会によるジュニア育成事業	スポーツ協会の各競技団体による子どもたちの競技力の向上を目的とした練習会や大会等を実施します。
わんぱく相撲荒川区大会	東京青年会議所荒川区委員会等で構成する実行委員会が実施する小学生等の相撲大会の開催を支援します。
スポーツ活動支援(全国大会・国際大会等出場)	全国大会や国際大会へ出場する個人又は団体に対し、交通費、宿泊費等の必要経費を助成します。
スポーツ活動への教育委員会褒賞	スポーツ大会等で優秀な成績を収めた児童、生徒等に対し、今後の一層の励みとなるよう、教育委員会が褒賞します。

(2) 施策2 働き盛り・子育て世代のスポーツ機会を増やす

仕事や子育てに多忙でなかなか運動をする機会を設けることができない働き盛り世代や子育て世代について、運動をするきっかけをつくり、まずは体を動かしてもらう取組や、自身の健康を振り返り、改善につなげてもらう機会の提供、生活の中にスポーツを位置づけ、生活満足度の向上を実感してもらう取組などを総合的に実施していきます。

<主な取組>

取組	内容
●運動をするきっかけをつくる	
あらかわ秋のスポーツイベント	各種スポーツ教室や体力テストの実施等により、スポーツと触れ合う機会を提供するとともに、区内スポーツ施設を無料開放し、気軽にスポーツに参加できる場を提供します。
区民ウォーキング	区近郊の名所などを巡る、幅広い年齢層が参加できるウォーキングイベントを実施します。
託児付スポーツイベントの実施	スポーツ協会主催のストレッチやヨガ、ピラティスなどが体験できる「たまには運動しませんか」など、子育て世代をターゲットにした託児付のスポーツイベントを実施します。
ひとりでも参加しやすいスポーツイベントの実施	单身独居の大人が、気兼ねなくスポーツに親しめるよう、ひとりでも参加しやすいスポーツイベントを企画していきます。
●健康を考える	
健康づくり支援事業（あらかわNo！メタボチャレンジャー事業）	無理なく継続できる運動習慣の獲得に向けて、参加する仲間と助け合いながら、健康に関する講座と実技を組み合わせたプログラムを実施します。
糖尿病対策推進事業	糖尿病の予防を目的とした情報発信や、講演会を開催するとともに、医療機関と連携した糖尿病栄養相談を実施します。
健康づくり支援事業（健康ポイントアプリ）	ウォーキングの歩数や様々な健康行動に応じてポイントを付与する健康ポイントアプリを運営します。健康無関心層の行動変容を促します。
健康経営事業所の顕彰（健康づくり推進事業所表彰）	従業員の運動機会増進の取組を含む健康管理の維持・増進のための取組を実施している中小企業等に対し、顕彰することにより、事業所のイメージ向上、人材確保・定着につなげる取組を実施していきます。

取組	内容
●スポーツで生活満足度を高める	
荒川リバーサイドマラソン	親子で参加できるふれあいの部や、障がいのある方の伴走支援など、働き盛り・子育て世代も含め誰もが参加しやすい温かみのある大会を実施します。
区民スポーツ大会	スポーツ協会加盟競技団体の運営で、様々な競技大会が開催されています。区民のスポーツ活動の成果を発揮する場であるとともに、区民相互の交流を場ともなっています。
スポーツ活動支援（国際大会出場）＜再掲＞	スポーツの国際大会に参加する個人又はスポーツ団体に対し、交通費、宿泊費等の必要経費を助成します。
スポクラ EKIDEN in しおいり	南千住スポーツクラブが主催する都立汐入公園を会場とした駅伝大会の実施を支援します。

コラム

<生活活動>

厚生労働省が、身体活動・運動分野の取組をさらに推進するために策定した「健康づくりのための身体活動・運動ガイド 2023」によると、定量的な推奨事項だけでなく、「個人差を踏まえ、強度や量を調整し、可能なものから取り組む」といった定性的な推奨事項を含むものとし、身体活動の中に、日常生活における家事・労働・通勤・通学などに伴う活動を「生活活動」として位置づけている。

（出典：厚生労働省ホームページ <https://www.mhlw.go.jp/content/001194020.pdf>）

● 家事による消費カロリーと歩数換算（目安）

（体重 60 kgの人が、10 分間行った場合）

家事の内容	消費カロリー	歩数換算
アイロンがけ	19 kcal	600 歩
洗濯物を干す	21 kcal	667 歩
立って食事の支度をする	21 kcal	667 歩
こどもと座りながら遊ぶ	23 kcal	733 歩
植物への水やり	26 kcal	833 歩
立ってペットと遊ぶ	29 kcal	933 歩
掃除機をかける	35 kcal	1,100 歩
風呂掃除	37 kcal	1,167 歩



（出典：東京都保健医療局ホームページ

<https://www.hokeniryu1.metro.tokyo.lg.jp/kensui/undou/katsudou.html>）

(3) 施策3 スポーツで高齢者の健康増進と生きがいづくりを応援する

高齢者が無理なく運動やスポーツに取り組むことで、健康増進を図るとともに、外出や人と交流する機会を増やし、日々の生活の充実につなげます。日常的な運動習慣の定着や、楽しみながら体を動かせるような事業の実施、要介護状態へとつながるフレイルを予防するための取組などを推進します。

<主な取組>

取組	内容
●運動習慣の定着を支援する	
ラジオ体操の振興	中央大会の実施や町会・PTA等のリーダーを対象に指導者養成講習会を開催し、区民のラジオ体操の振興を図ります。
スポーツ施設の個人利用支援	日常的に気軽に運動に取り組めるよう、スポーツセンターやスポーツハウスのプール、トレーニングルーム等の個人利用料について区内在住・在勤・在学の65歳以上の方を対象に免除します。
スポーツ施設におけるシニア向け教室	スポーツセンター、スポーツハウスなどで、運動不足解消や身体の機能改善、フレイル予防を図る教室を実施します。
●楽しみながら体を動かす	
高齢者クラブにおけるスポーツ活動支援	グラウンドゴルフやパタンクなどの高齢者クラブにおけるスポーツ活動を支援します。
区民ウォーキング<再掲>	区近郊の名所などを巡る、幅広い年齢層が参加できるウォーキングイベントを実施します。
スポーツ協会によるシニア向け練習会等の実施	スポーツ協会の競技団体によるシニアのスポーツ参加を目的とした練習会や大会等を実施します。
eスポーツの活用	スポーツ施設などにおいて、従来のスポーツだけでなく、eスポーツを行える環境を整備し、運動機能維持や認知症予防につながるような教室・イベントを実施します。
スポーツ活動等への区功労者表彰	スポーツ活動を含め、区の振興・発展に特に功労があった方々に対して、区として感謝と敬意を表します。
●フレイルを予防する	
荒川区健康づくり体操（ころばん、せらばん、あらみん体操）	フレイル予防（身体・精神心理・社会的の3フレイル）を目的に荒川ころばん体操会場を運営していきます。体操リーダー養成講座を開催するなど持続可能な運営を支援します。
荒川ばん座位体操	下半身が不自由な方でも取り組める「荒川ばん座位体操」を高齢者施設等でも普及していきます。
ふれあい絆・活サロンの支援	「ふれあい絆・活サロン」は、高齢者や地域住民が気軽に通える交流の場であり、運動や脳トレなど様々なプログラムが提供されており、閉じこもり予防、介護予防等の支援を行います。

(4) 施策4 障がい者のスポーツ活動を推進する(★重点プロジェクト)

障がいのある方が自主的かつ積極的にスポーツに取り組むことができ、スポーツを通じて社会との関わりが深まるよう、共生社会の実現を目指します。障がいのある方もない方も共に楽しめるパラスポーツをより身近なものにする取組、パラスポーツを通じた障がいへの理解促進、障がい者のスポーツでの活躍の場の創出、障がい者の運動習慣の定着による運動機能の向上などを推進します。

<主な取組>

取組	内容
●パラスポーツへの距離を縮める	
パラスポーツフェスティバル	区民にパラスポーツの認知度を高め、その魅力を実感してもらえるよう、パラスポーツの体験・紹介や展示等のイベントを行います。
ニュースポーツ・パラスポーツの促進<再掲>	ボッチャ等のパラスポーツやモルック等のニュースポーツの体験会等を通じて、障がいのない方でも楽しめるパラスポーツへの理解を深めます。
パラスポーツ教室	「あらかわ秋のスポーツイベント」の一環としてボッチャ、車いすバスケ、5人制サッカーなどの教室を実施します。
●障がいへの理解を深める	
パラスポーツサポーター・初級パラスポーツ指導員の養成	区独自の認証制度「パラスポーツサポーター」は、パラスポーツや障がいについての講習会やパラスポーツの実技体験を行い、受講後はボランティアとして活躍いただきます。 また、次のステップとして、文京区・台東区・北区と合同で、公的資格である初級パラスポーツ指導員資格取得のための講習会も実施します。
障害者福祉会館における交流講座等	障がいのある方とない方との交流講座やスポーツ活動により相互交流を促進し、理解を深めます。
パラリンピック・デフリンピック等の機運醸成	パラリンピックやデフリンピック、アジア大会などの国際大会開催に際して、荒川区ゆかりの選手を応援するなど機運を醸成し、障がいのある方への理解促進を図ります。
●スポーツを通じてつながる	
フットサル交流大会「あらかわ杯」	知的障がい児・者を対象に、普段の練習の成果を発揮する場として、フットサル交流大会を実施します。
荒川リバーサイドマラソン<再掲>	障がいのある方でも参加できるよう、必要がある方には伴走支援を実施します。
「ハートフル運動会」支援	様々な障がいのある方が運動に取り組み、交流する場として、区心身障害児者福祉連合会主催の障害者大運動会「ハートフル運動会」の運営を支援します。

取組	内容
<p>●スポーツを通じてつながる（続き）</p> <p>パラスポーツに参加しやすい機会の拡充</p>	<p>「あらボッチャ」などパラスポーツの大会や練習会・交流会等の継続的实施や、パラスポーツ主催団体の大会開催への支援を行うとともに、区内のパラスポーツを実施する団体等のネットワーク強化などを通して、より障がい者に寄り添いながらパラスポーツに取組みやすい環境の構築に努めてまいります。</p>
<p>●運動習慣の定着と運動機能の向上を支援する</p>	
<p>スポーツ施設の利用支援</p>	<p>スポーツセンターやスポーツハウスのプール、トレーニングルーム等の個人利用料について各障がい者手帳保持者と介助者1名を対象に免除するとともに、障がい者の属する団体がパラスポーツで屋内スポーツ施設を利用する場合、区内団体料金の半額を減額します。</p>
<p>スポーツ施設における障がい者向け教室</p>	<p>スポーツセンター、スポーツハウスなどで、知的障がい、身体障がいを問わず、障がい者向け体操教室を実施します。</p>
<p>荒川ばん座位体操 <再掲></p>	<p>自発的に手足を動かすことができない方も、介助者と一緒に行える「荒川ばん座位体操」をアクロスあらかわやふれあい館等で実施します。</p>
<p>eスポーツの活用</p>	<p>スポーツ施設などにおいて、従来のスポーツだけでなく、eスポーツを行える環境を整備し、運動機能に制約がある方も体を動かし、また運動機能維持につながるような教室・イベントを実施します。</p>

コラム

<障害者スポーツとパラスポーツ>

日本障がい者スポーツ協会（現日本パラスポーツ協会）が、令和3（2021）年に発表した「2030年ビジョン」において、従来「障害者スポーツ」としていた表記を「パラスポーツ」に変更を行った。

協会の説明によると、この変更は『障がいのある人もない人も共に実践して楽しめるスポーツとして発展していく可能性を秘めているスポーツ』という障がい者スポーツの将来性等について、『パラスポーツ』という表現を通じてこれまで以上に理解・浸透を図っていくことを目指したものである」としている。

（出典：令和3（2021）年3月16日 日本障がい者スポーツ協会（JPSA）「2030年ビジョン」より）



2 基本目標2 スポーツを通じて地域の賑わいとつながりをつくる

(1) 施策1 地域のスポーツ団体を支援する(★重点プロジェクト)

競技種目を横断的に統括し、区全体のスポーツ振興を推進する荒川区スポーツ協会や、区民とスポーツとを繋ぐコーディネーターとして区民の生涯スポーツ推進のけん引役であるスポーツ推進委員をはじめ、荒川区のスポーツ活動にとって必要不可欠な地域のスポーツ団体を支援していきます。

<主な取組>

取組	内容
●活動環境の整備と認知度の向上を図る	
スポーツ協会活動支援	荒川区スポーツ協会の運営について区が支援し、区の安定的なスポーツ振興を図ります。また、荒川区スポーツ協会と連携して、スポーツ指導者の養成・発掘に関する周知活動などに協力していきます。
スポーツ推進委員活動	委員がより活動しやすい環境整備を図るとともに、活動から得られる達成感など委員の魅力について区報や Youtube などの媒体を活用しながらPRを強化し、新たな人材確保につなげていきます。
総合型地域スポーツクラブ設立支援	区内で2番目のクラブ設立に向けた、調査・研究・試行等のための活動を支援します。



▲区民水泳大会



▲あらしポチャレンジ

(2) 施策2 トップアスリートと連携する

各競技で活躍する現役アスリートや、第一線を退いた元アスリートは高度な技術力を有しているとともに、高い知名度と影響力を有していることから、子どもたちをはじめとして質の高い指導を受けることや、スポーツイベント等への集客が見込めます。また、人気の高いスポーツの公式試合や大会等を誘致し、多くの区民がスポーツを応援をすることにより、まちの賑わいにつなげることも期待でき、今後、様々な連携を図っていきます。

<主な取組>

取組	内容
●アスリートの指導により競技力向上を図る	
アスリートによるレベルアップ塾<再掲>	トップアスリートの指導により、レベルアップを図るとともに、アスリートを目指す子どもたちのモチベーションを醸成します。
スポーツ施設におけるアスリート招聘イベント、教室等の実施	各スポーツ施設において、アスリートを招聘し、生の声を聴くことができるイベントやアスリートから直接指導を受けられる教室などを実施します。
●アスリートへの応援等を通じてまちの賑わいを創出する	
荒川区ゆかりのアスリートとの連携	区内在住、出身以外にも、これまで縁のあった方を荒川区ゆかりのアスリートとして、スポーツ指導やトークショー、試合の観戦機会創出など様々、連携した取組を実施していきます。
学生大会等への会場提供	新設する三河島北アリーナなどにおいて、公式試合や大会等に会場として貸与し、高いレベルのプレーを区民に身近に体験してもらう機会を提供していきます。



▲アスリートによるレベルアップ塾

(3) 施策3 仲間づくりを応援する（★重点プロジェクト）

スポーツが有する人と人をつなげ、人と地域をつなげる力を最大限発揮し、地域全体を活性化するため、基盤となる仲間づくりのきっかけとなる場や機会を提供するとともに、区民のスポーツクラブ・サークルの立ち上げや、立ち上げ後の活動の支援を行います。

<主な取組>

取組	内容
●集う場・機会を提供する	
スポーツひろば	平日夜間の学校体育館を主な会場として、身近な場所で区民がいろいろなスポーツに自由に参加できる場を提供します。スポーツを通じたコミュニティの拠点となっています。
「ハートフル運動会」支援<再掲>	様々な障がいのある方が運動に取り組み、交流する場として、区心身障害児者福祉連合会主催の障害者大運動会「ハートフル運動会」の運営を支援します。
●クラブやサークルの活動を支援する	
社会教育関係団体登録制度	区民の自主的なスポーツクラブやサークルについて、社会教育関係団体として登録することで、施設使用料減額などの優遇措置があります。令和7(2025)年10月現在で400を超える登録があります。
サークル活動の相談・支援	サークル活動に関する相談体制を構築するとともに、スポーツの仲間を見つけない方を既存のサークルへつなげるなどの支援を行い、地域での仲間づくりを応援します。 また、スポーツ協会加盟の案内を行うなど、スポーツ協会の体制強化にもつなげていきます。



▲スポーツひろば

(4) 施策4 スポーツで交流を推進する

スポーツ活動を通じて、区内だけでなく、友好交流都市をはじめとする他の都市を含め、多様な主体や場面、切り口で交流を図っていきます。また、区内事業者についてもスポーツ活動のパートナーとして積極的な取組を推進していきます。

<主な取組>

取組	内容
●日常の交流の場を設ける	
スポーツひろば<再掲>	平日夜間の学校体育館を主な会場として、身近な場所で区民がいろいろなスポーツに自由に参加できる場を提供します。スポーツを通じたコミュニティの拠点となっています。
区民ハイキング	実行委員会が主催するハイキング(春・夏・秋)の運営を支援し、自然に親しみながら、区民の心身の健康増進を図るとともに、参加者同士の交流の場としていきます。
スポーツ推進委員活動<再掲>	スポーツ推進委員の活動を通じて、委員同士の団結や、事業への参加者との交流を図ります。
ふれあい館のスポーツ事業	乳幼児向けから高齢者向けまで、様々なスポーツ事業を通じて、あらゆる世代の交流を図ります。
●競技を通して交流する	
区民スポーツ大会<再掲>	スポーツ協会加盟競技団体の運営で、様々な競技大会が開催されています。区民のスポーツ活動の成果を発揮する場であるとともに、区民相互の交流の場ともなっています。
都民スポーツ大会等選手団派遣	代表選手派遣を支援するとともに、区代表選手団の結団式を開催し、区代表選手としての意識、団結力の向上を図ります。
城北五区親善大会	区の代表選手による親善試合を各区持ち回りで開催し、城北地区(北、荒川、板橋、豊島、練馬)のスポーツの振興と各区の親善、また、競技力の向上を図ります。
●国内・国際交流を促進する	
交流都市とのスポーツ交流事業	友好都市と荒川区のスポーツ団体との交流試合等を行い、スポーツを通じた交流を深めるとともに、荒川区のスポーツ団体の競技力の向上を図ります。
海外都市交流事業	スポーツや産業・観光・芸術文化などの広範な分野にわたる交流を深め、海外都市に対する区民の関心を高めるとともに、日本や荒川区の魅力を海外に伝え、相互理解を深めます。

取組	内容
<p>●事業者のスポーツへの取組を推進する</p> <p>公衆浴場需要喚起対策補助事業（少年スポーツ大会応援事業）</p>	<p>東京都公衆浴場業生活衛生同業組合荒川支部が少年スポーツ大会等の参加者へ入浴券を配付する事業に対し、補助金を交付することにより、公衆浴場事業の振興及びスポーツによる交流を推進します。</p>
<p>スポーツ事業への協賛・ボランティア協力</p>	<p>荒川リバーサイドマラソンをはじめとする各種スポーツイベント等に対し、協賛やボランティアとしての協力を依頼し、区やスポーツ団体とともに事業者も一体となりスポーツを推進していきます。</p>
<p>健康経営に取り組む事業所の顕彰（再掲）</p>	<p>従業員の運動機会増進の取組を含む健康管理の維持・増進のための取組を実施している中小企業等に対し、顕彰することにより、事業所のイメージ向上、人材確保・定着に繋げる取組を実施していきます。</p>



▲荒川リバーサイドマラソン

3 基本目標3 誰もが身近にスポーツに取り組める環境をつくる

(1) 施策1 スポーツ環境を充実する(★重点プロジェクト)

区のスポーツ振興を図る上で、区民が身近な場所でスポーツに取り組める環境の整備が重要であり、スポーツ意識調査の結果からもスポーツ施設の整備を求める声が多く挙がっています。区内の地域バランスを考慮した施設整備を進めるとともに、利用環境の向上を図っていきます。また、例えば公園など、スポーツ施設以外でもスポーツのできる環境の整備にも努めていきます。

<主な取組>

取組	内容
●スポーツ施設を整備する	
あらかわ遊園スポーツハウスの改修	老朽化した施設・設備を刷新するとともに、利用者動線の大幅な改善や大型エレベーターの新設などバリアフリー向上を図り、子ども、子育て世代、高齢者、障がいのある方も含めて、あらゆる区民の方が利用しやすいスポーツ施設として整備します。
三河島北アリーナの整備	区中央部にあるJR三河島駅前の再開発区域内に多目的で利用できるアリーナを整備し、より多くの区民がスポーツに親しみやすい環境を整えます。また、クライミングウォールを設けるなどアーバンスポーツが実施できる環境も整備します。
東尾久運動場多目的広場のレベルアップ	利用環境の向上等を目的として、全面人工芝を敷設するとともに、スタンドベンチへの日除けの設置や夜間照明の新設を内容とする大幅なレベルアップ改修を実施していきます。
屋外スポーツ施設への夜間照明設備の整備	利用環境の向上と夏場の熱中症リスクの低減、省エネを目的として、区民運動場に新たに照明設備を設置する他、南千住野球場や荒川遊園運動場、荒川自然公園テニスコートについても今後、新たなLEDランプへの交換を行い、照明機能の向上と環境負荷の低減を図ります。

取組	内容
●その他のスポーツ環境を整備する	
放課後子ども総合プラン （にこにこすくーる） <再掲>	学校施設などで児童の安全な放課後の居場所を作るとともに、地域の参加・協力を得て、遊び、スポーツ、文化活動等の様々なプログラムを実施します。
ふれあい館の運営	乳幼児から高齢者まで、あらゆる世代が交流し、区民の自主的な活動や地域コミュニティの拠点であり、スポーツ活動のできる多目的室も備えた「ふれあい館」でスポーツ関連の事業を実施していきます。
スポーツや運動もできる公園の整備	スポーツ利用も視野に入れて公園を整備するとともに、ボール遊び場やフィットネス遊具の設置等、施設の新設や改修等の整備を行い、朝夕でも運動できる環境を提供します。
学校の施設貸し出し（校庭、体育館）	教育活動に支障がない範囲において、校庭のほか体育館なども、地域のスポーツ活動やイベントなどで活用します。 さらに、今後の学校建替えを見据え、地域の皆様がより利用しやすい仕組みづくりや施設整備を検討していきます。
健康づくり普及啓発・環境整備事業（あらかわウォーキングマップ）	区内おすすめのコースを、距離・歩数・時間・消費カロリー、健康情報と合わせて紹介する「荒川ウォーキングマップ」を作成し、区民の安全で快適なウォーキング環境を整備します。
歩行者中心の道路整備	老朽化した道路等の改修及び道路の無電柱化を推進したり、車道と歩道の段差を少なくしたりすることで、安全で快適な歩行環境を確保します。



▲無電柱化を実施した道路（千住間道）



▲フィットネス遊具設置（西尾久四丁目公園）

(2) 施策2 障がい者のスポーツ環境を整える

スポーツ施設におけるハード面、ソフト面のバリアを取り払い、障がい者が気兼ねなくスポーツを楽しめる環境を整える必要があります。そのためには、ハード面の整備を図るとともに、ソフト面を組み合わせた取組が非常に重要です。障がい者がスポーツに継続的に親しむことができるよう、推進していきます。

<主な取組>

取組	内容
●スポーツ施設の利用環境を向上する	
スポーツセンターの障がい者利用環境の整備	令和元(2019)年度の大規模改修によりハード面でバリアフリーを向上するとともに、利用者により沿ったサービスを心掛けるなどソフト面でも継続的な取組を行った結果、令和5(2023)年に東京都及び東京都障害者スポーツ協会発行の「障害者のスポーツ施設利用促進マニュアル」に事例として紹介されました。 現在、東京北卓球バレー同好会の定期的な活動場所となっている他、令和8(2026)年2月の東京都パラスポーツ次世代選手発掘プログラム競技体験会場として選定されるなど、障がい者の方が使いやすい施設として広く認知されてきています。 今後も利用者のご意見を参考にしながら、ハード・ソフトの両面からさらなるブラッシュアップに努めていきます。
あらかわ遊園スポーツハウスの改修 <再掲>	老朽化した施設・設備を刷新するとともに、バリアフリー向上を図り、子ども、子育て世代、高齢者、障がいのある方も含めて、あらゆる区民の方が利用しやすいスポーツ施設として整備します。 具体的には、大型エレベーター新設、段差解消、車いす利用者のプールへの入水を補助する入水ユニットや介助者の方とともに入室できる個室の更衣室の新設、バリアフリートイレの増設、車いすでも安全なバスケットゴールの設置など、様々な配慮を行っています。 改修後のソフト面についても、スポーツセンターにおける運営を参考としながら、障がいのある方でも利用しやすい運営を行います。

(3) 施策3 スポーツ施設の利活用を促進し、スポーツ施設や事業等の情報発信を強化する

面積の小さい荒川区において、現状のスポーツ施設は非常に貴重な存在です。持てる資源を最大限有効活用し、施設の稼働率を高めていく工夫が必要です。また、近年、夏場の酷暑傾向が一層進行しており、酷暑下における屋外スポーツ施設の使用のあり方や屋内スポーツ施設の活用方法について検討していきます。またスポーツ施設の稼働率を高めるとともに、スポーツ事業等の情報発信を強化し、区民のスポーツ実施率向上に寄与します。

<主な取組>

取組	内容
●スポーツ施設の稼働率を上げる	
屋外スポーツ施設利用対象者の拡大	屋外スポーツ施設は、土日・祝日について大会等でほぼ100パーセント稼働であるのに対し、平日の稼働率が低い状況です。こうした状況を改善するため、利用を区民（在住、在勤、在学）に限っている（西新井橋野球場では区民の大人に限っている）現状を変更し、平日に限り区外の方にも利用いただくとともに、各屋外スポーツ施設の利用状況を踏まえ、予約なしで自由に利用できる曜日や時間帯の設定を検討していきます。
スポーツ以外でのスポーツ施設の活用<再掲>	新設する三河島北アリーナでは、三河島駅前の立地を生かして、通常のスポーツ利用の他、集客力のある各種興行や見本市などの誘致を計画しており、まちの賑わいの創出にも寄与します。また、近年、ドローンの操作練習や競技会等での利用やテレビ番組のロケーションとしての利用に関する問い合わせも増えており、三河島北アリーナの新設を機にスポーツ施設の新たな活用方法を検討していきます。
スポーツ施設の予約・申し込み方法の簡素化	施設予約システムの更改において、事前手続き等について、可能な限りオンラインで対応できるよう改善を図っていきます。
●酷暑下におけるスポーツ施設利用の適正化を図る	
酷暑下におけるスポーツ施設の利用	夏場の酷暑傾向により、令和7(2025)年のスポーツ基本法改正でもスポーツ事故防止措置として気候変動への留意を国や地方自治体に義務付けています。スポーツ協会は、各加盟団体に熱中症対策物品の配付や貸出を実施しており、区としてもこれら貸出品の保管等に協力しているほか、各団体への注意喚起に努めています。また、熱中症特別警戒アラートが発令された際、屋外スポーツ施設の利用を一律禁止していますが、国や他自治体の動きを参考にしながら、区民の安全・安心に配慮した対応を行っていきます。一方、酷暑により屋外スポーツ施設の利用が縮小することにより、区民、特に子どもたちのスポーツ機会が減少することに備え、屋内スポーツ施設の活用方法についても改めて検討していきます。

●スポーツに関する情報発信を強化する

ターゲットに応じた情報
発信力の強化

区民のスポーツ活動を推進していくためには、区民が容易に入手することができ、分かりやすく、かつ、的確な情報の発信が必要不可欠です。スポーツイベントの開催情報や、クラブ・サークル活動に関する情報、施設の利用情報など、区民がスポーツに興味・関心を持ち、行動に移していただけるよう、ターゲットに応じて、様々な手段を活用したりするなど、必要な相手にしっかりと情報が届く発信力強化の方法を検討していきます。

地域で活動するスポーツ
団体の情報発信

スポーツを実施する人だけでなく、スポーツの担い手であるボランティアなどの従事者数を増やしていくために、活動から得られる達成感などボランティアの魅力について区報や Youtube などの媒体を活用しながらPRを強化し、地域で活動するスポーツ団体の情報発信を行っていきます。

荒川区ゆかりのアスリートとの連携（再掲）

区内在住、出身以外にも、これまで縁のあった方を荒川区ゆかりのアスリートなど情報発信力の協力をいただき、区民のスポーツへの関心を高めます。



▲健康アプリ（あらチャレ）

第 5 章 プラン推進に向けた 実施体制

第5章 プラン推進に向けた実施体制

本プランを実効性のあるものとするためには、区の関係部署が連携するだけでなく、プランを推進するための体制を構築するとともに、区民、スポーツ団体、教育機関、民間事業者などと連携することが不可欠です。これまで以上に、こうした多様な主体との連携を強化しながら、区民の皆様のスポーツへの参加を促進し、スポーツを通じた健康寿命の延伸、地域コミュニティの活性化、そして青少年の健全な育成を目指すとともに、区民の誰もがいきいきとスポーツに親しめる荒川区を実現していきます。

1 区民・団体・事業者等との連携

荒川区におけるスポーツの推進は、区だけで行うものではなく、区民の一人ひとりの主体的な参加と、地域で活動する様々な団体や事業者の協力があって初めて実現します。各主体がそれぞれの強みを生かし、相互に連携することで、より効果的かつ持続可能なスポーツ振興を図ります。

(1) スポーツ団体との連携

区民のスポーツ活動を支える中心的な役割を担っている荒川区スポーツ協会及び各加盟競技団体、スポーツ推進委員などが持つ専門的な知見や指導力、地域に根差したネットワークなどを最大限発揮できるよう、なお一層連携を強化し、協力関係を発展させていきます。

具体的には、区とスポーツ団体間で意見交換等を密にして目指すべき方向性を共有するとともに、それぞれの将来にわたる持続可能な運営体制の確立に向け、区としての支援のあり方を検討していきます。

また、社会教育関係団体は、令和7(2025)年10月現在で400を超える団体の登録があり、これ以外にもスポーツ協会に組織化されていないスポーツ種目に取り組む団体や、スポーツ協会に組織化されたスポーツ種目であってもスポーツ協会に加盟していない団体が多く存在しています。今後は区のスポーツ振興に向けて、これらの団体とどのように協力関係を構築していけるかが大きな課題であると考えます。

(2) 大学・研究機関等との連携

都立大学や都立産業技術高等専門学校といった大学等や、公益財団法人鉄道弘済会「義肢装具サポートセンター」のような専門研究機関が持つ学術的知見、研究成果、専門的な施設・人材は、区のスポーツ推進に大きな可能性をもたらします。

現在も保有施設の区民利用や事業実施などについて協力・連携しているところです。今後は、例えば学生のスポーツ推進委員への委嘱やイベント運営へのボランティア参画などの人的交流も含め、さらなる連携の強化を図っていくことが期待されます。

(3) 民間スポーツ施設との連携

第3章でも触れたように、区内には、スケートボードやスポーツクライミングなどのアーバンスポーツができる施設や24時間運営のスポーツジムやパーソナルジムなど、現状、区立スポーツ施設では対応できていないサービスを提供しており、仕事などで時間的な制約のある方や、新しい区民のスポーツニーズに応える重要な役割を担っています。これらの民間施設との連携を強化することで、区全体のスポーツ活動を一層活性化させることが可能と考えられます。

今後は、民間スポーツ施設との情報交換の場を設け、区民の民間スポーツ施設の利用状況やニーズを把握し、官民それぞれの役割分担を明確にして、お互いに相乗効果を発揮する取組を検討していきます。

2 推進体制の充実

本プランを効果的に推進するためには、区における体制強化と、各部署間の連携が不可欠です。スポーツ所管課だけでなく、健康、福祉、教育、子育て、産業経済、都市整備など、スポーツに関わる各部署が横断的に連携し、戦略的にスポーツ施策を推進します。

また、本プランの進捗管理を行うため、今回プラン策定にご尽力いただいた、荒川区スポーツ推進プラン策定委員会の委員も含めて新たな会議体を設置し、定期的に報告を行い、ご意見を頂戴しながら各施策の推進に努めていきます。

3 プランの着実な実行

本プランの目標達成に向けて、具体的な施策を着実に実行していくことが重要です。そのために、5年毎に本プランを見直し、改定プランを策定するといったPDCA(Plan-Do-Check-Action)サイクルを実施します。第5章で設定した基本目標ごとの達成指標を中心に施策の実施状況を点検・評価し、改善につなげるプロセスを徹底します。



荒川区スポーツ推進プラン

<資料編>

I 荒川区民スポーツ意識調査（一般）	1
<調査の概要>	1
1 調査の目的	1
2 調査対象	1
3 調査期間	1
4 調査方法	1
5 回収状況	1
6 調査結果の表示方法	1
<調査結果>	2
1. スポーツに対する考え方について	2
2. スポーツの実施状況について	3
3. 区等のスポーツイベントの参加状況について	21
4. スポーツを支える活動について	24
5. パラスポーツについて	31
6. 区立スポーツ施設について	34
7. 区立スポーツ水泳授業での活用について	38
8. あなたご自身について	39
II 荒川区民スポーツ意識調査（障がい者）	42
<調査の概要>	42
1 調査の目的	42
2 調査対象	42
3 調査期間	42
4 調査方法	42
5 回収状況	42
6 調査結果の表示方法	42
<調査結果>	43
1 スポーツに対する考え方について	43
2 障がいの状況について	44

3	スポーツの実施状況について	47
4	区立スポーツ施設について	71
5	あなたご自身について	74
Ⅲ	荒川区民スポーツ意識調査（小学生・中学生・高校生）	76
	<調査の概要>	76
1	調査の目的	76
2	調査対象	76
3	調査期間	76
4	調査方法	76
5	回答状況	76
6	調査結果の表示方法	76
	<調査結果>	77
1.	あなたご自身について	77
2.	スポーツの実施状況について	78
3.	区のスポーツ施設について	87
4.	自由意見	90
Ⅳ	荒川区スポーツ推進プラン策定委員会設置要綱	91
Ⅴ	荒川区スポーツ推進プラン策定委員会委員名簿	93
Ⅵ	検討経過	94

I 荒川区民スポーツ意識調査（一般）

<調査の概要>

1 調査の目的

区民のスポーツや運動に関する意識、スポーツ活動の実態、区スポーツ施策に関する意見や要望を伺い、令和7年度に策定する「荒川区スポーツ推進プラン」の参考資料とすることを目的としています。

2 調査対象

区内在住の18歳以上から、2,500名を無作為抽出

3 調査期間

令和7年3月3日～令和7年3月21日

4 調査方法

郵送による配布・回収もしくはWEBによる回答

5 回収状況

配布数	回収数	回収率
2,500件	673件	26.9%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。

<調査結果>

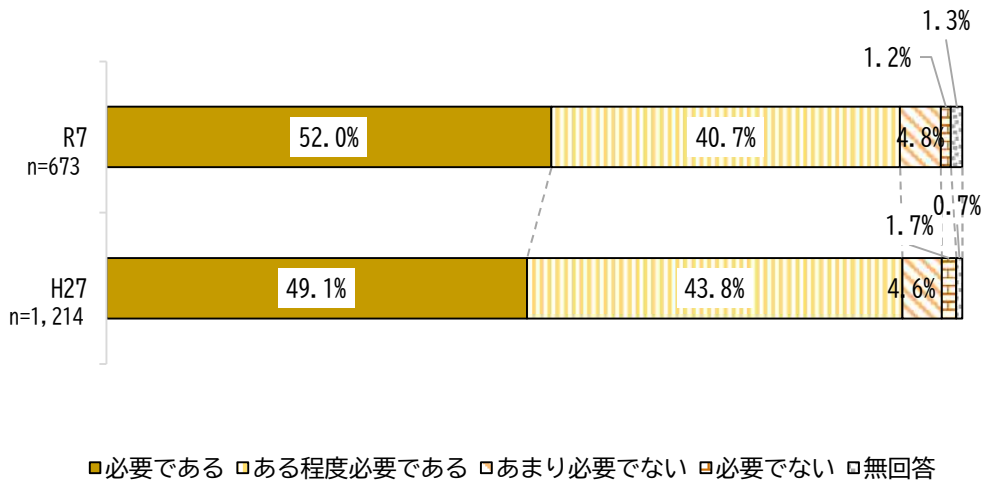
1. スポーツに対する考え方について

問1 あなたは、幸福で豊かな生活を送るうえで、スポーツ活動（実施だけでなく、観戦、支援、スポーツイベント参加・開催を含むスポーツ活動全般）をどのようにお考えですか。（〇は1つ）

グラフ中の「R7」は本調査の結果、「H27」は10年前に行った前回調査の結果となります（以降、同様）。また、「n」とは当該設問の回答者数を表しています（以降、同様）。

本調査では、「必要である」「ある程度必要である」を合わせた“必要である”の割合が92.7%であり、前回の調査（92.9%）と0.2ポイントの差がありました。

また、本調査では、「あまり必要でない」「必要でない」を合わせた“必要でない”の割合が6.0%であり、前回の調査（6.3%）と0.3ポイントの差がありました。

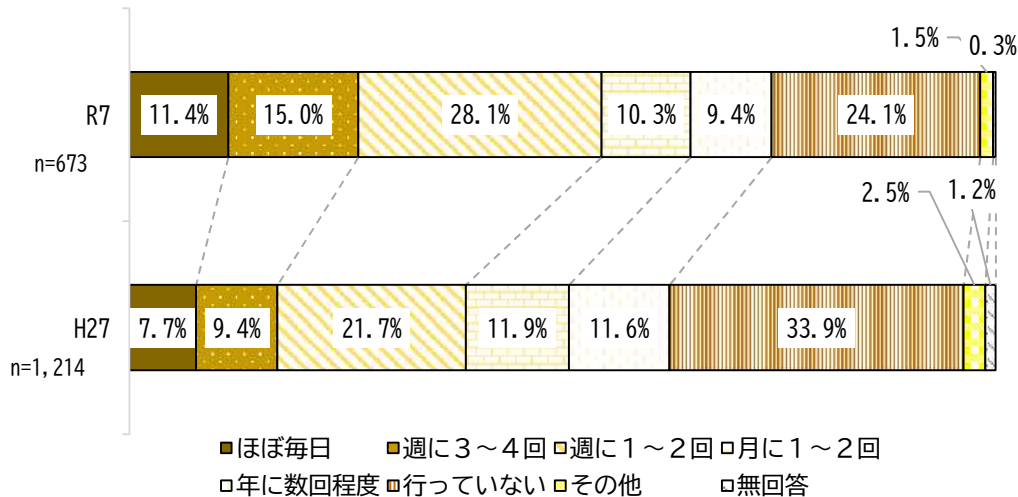


2. スポーツの実施状況について

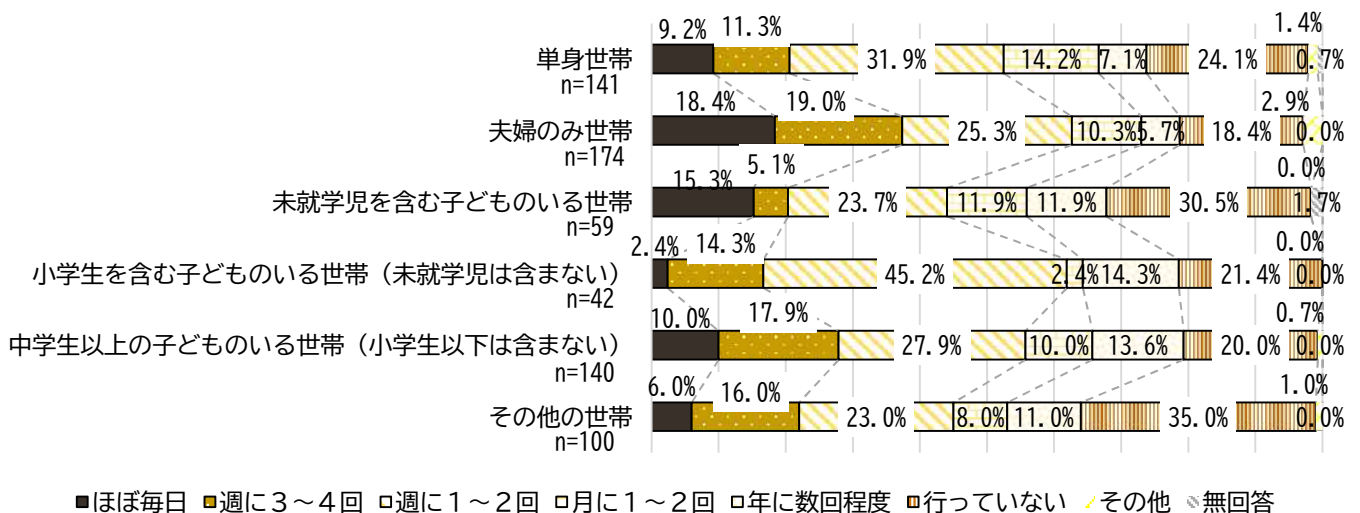
問2 あなたは、日ごろ、スポーツや運動をどのくらい行っていますか。(〇は1つ)

本調査では「ほぼ毎日」「週に3～4回」「週に1～2回」「月に1～2回」「年に数回程度」を合わせた“行っている”の割合が74.2%であり、前回調査での“行っている”の割合(62.3%)から11.9ポイント増えていました。その中でも、本調査での「週に1～2回」の割合(28.1%)は、前回調査でのその割合(21.7%)よりも6.4ポイント増えていました。

それに対して、本調査での「行っていない」の割合(24.1%)は、前回調査のその割合(33.9%)よりも9.8ポイント減っていました。

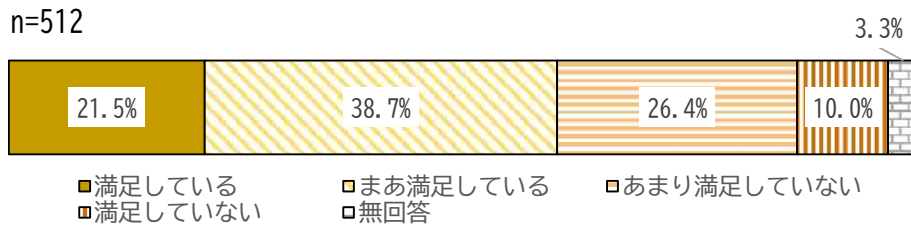


本調査において、世帯別では、「夫婦のみの世帯」、「小学生を含む子どものいる世帯(未就学児は含まない)」、「中学生以上の子どものいる世帯(小学生以下は含まない)」の“行っている”の割合が、それぞれ78.7%、78.6%、79.3%となっており、他の世帯よりも割合が高くなりました。

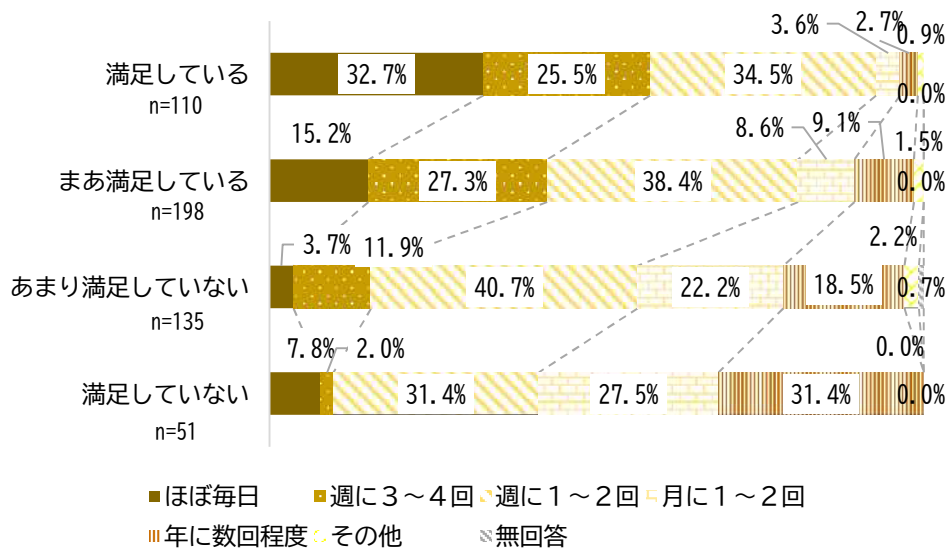


問3 【問2で「ほぼ毎日」「週に3～4回」「週に1～2回」「月に1～2回」「年に数回程度」「その他」のいずれかに回答した方にお聞きします。
あなたは、スポーツや運動を実施する頻度（問2で回答した頻度）について満足していますか。（○は1つ）

「満足している」「まあ満足している」を合わせた“満足している”の割合が60.2%、「あまり満足していない」「満足していない」を合わせた“満足していない”の割合が36.4%となりました。



本調査においては、スポーツ実施頻度の満足度が高い回答者ほど、スポーツ実施頻度がより高い傾向にありました。



問4 【問2で「ほぼ毎日」「週に3～4回」「週に1～2回」「月に1～2回」「年に数回程度」「その他」のいずれかに回答した方にお聞きします。】
主にどのような運動を行っていますか。(〇は3つまで)

本調査の回答割合について、最も多かったのは「ウォーキング、散歩（街歩き、ペットの散歩等を含む）」（65.2%）、次いで「体操（ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、ころばん体操等を含む）」（29.1%）、「室内運動器具（マシンジム、バランスボール等）による運動」（16.6%）となりました。

選択肢	回答
ウォーキング、散歩（街歩き、ペットの散歩等を含む）	65.2%
体操（ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、ころばん体操等を含む）	29.1%
室内運動器具（マシンジム、バランスボール等）による運動	16.6%
ランニング（ジョギング、マラソン、トレイルランニング等を含む）	11.1%
水泳	7.6%
ゴルフ	6.8%
サイクリング（ロードバイク、マウンテンバイク等を含む）	5.9%
登山、ハイキング、キャンプ	5.7%
その他	5.3%
ダンス（ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、ヒップホップ、ブレイキン等を含む）	4.7%
スキー、スノーボード	3.3%
テニス、ソフトテニス	2.5%
バドミントン	1.8%
柔道、剣道、空手、合気道などの武道	1.8%
フットサル	1.6%
卓球	1.6%
釣り	1.2%
野球、ソフトボール	1.2%
ゲートボール、グラウンドゴルフ	1.0%
サッカー	1.0%
バレーボール	1.0%
バスケットボール	1.0%
ボクシング、レスリングなどの格闘技	1.0%
ボート、ヨット、スキューバダイビング、カヌー、サーフィン、ウインドサーフィン等	0.8%
ボウリング	0.8%
各種ニュースポーツ（モルック、スナッグゴルフ、ビーチボール、キンボール等を含む）	0.8%
ポッチャ	0.6%
各種陸上競技	0.2%
各種アーバンスポーツ（スケートボード、スポーツクライミング、BMX等を含む）	0.2%
ハングライダー、パラグライダー、スカイダイビング	0.0%
ラグビー	0.0%
弓道、アーチェリー	0.0%
各種パラスポーツ（ブラインドサッカー、車いすテニス、車いすバスケットボール、車いすラグビー、シッティングバレーボール、ゴールボール、サウンドテーブルテニス、卓球バレー等を含む）	0.0%
無回答	1.4%

※回答者数 n=512

【男性年齢別：現在実施しているスポーツ】（選択肢の番号順に掲載）

いずれの年齢でも「ウォーキング、散歩（街歩き、ペットの散歩等を含む）」の回答割合が最も多くなりました。 ※回答割合が高いほど、網掛けの色を濃くしています（問9でも同様）。

選択肢	24歳以下	25～29歳	30～34歳	35～39歳
1. ウォーキング、散歩（街歩き、ペットの散歩等を含む）	57.1%	57.1%	50.0%	60.0%
2. ランニング（ジョギング、マラソン、トレイルランニング等を含む）	28.6%	28.6%	20.0%	26.7%
3. 各種陸上競技	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4. 体操（ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、こぼん体操等を含む）	0.0%	0.0%	0.0%	26.7%
5. 室内運動器具（マシン事務、バランスボール等）による運動	28.6%	0.0%	20.0%	26.7%
6. 水泳	0.0%	0.0%	10.0%	6.7%
7. ボート、ヨット、スキューバダイビング、カヌー、サーフィン、ウィンドサーフィン等	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%
8. ゴルフ	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%
9. スキー、スノーボード	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%
10. 登山、ハイキング、キャンプ	0.0%	14.3%	0.0%	0.0%
11. ハングライダー、パラグライダー、スカイダイビング	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
12. 釣り	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
13. ボウリング	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%
14. ゲートボール、グラウンド・ゴルフ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
15. サイクリング（ロードバイク、マウンテンバイク等を含む）	14.3%	0.0%	0.0%	6.7%
16. ダンス（ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、ヒップホップ、ブレイキン等を含む）	14.3%	0.0%	0.0%	20.0%
17. 各種アーバンスポーツ（スケートボード、スポーツライミング、BMX等を含む）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18. 野球、ソフトボール	14.3%	0.0%	0.0%	6.7%
19. サッカー	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20. フットサル	0.0%	0.0%	0.0%	13.3%
21. ラグビー	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%
22. テニス、ソフトテニス	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%
23. 卓球	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
24. バレーボール	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
25. バスケットボール	14.3%	0.0%	10.0%	0.0%
26. バドミントン	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%
27. 柔道、剣道、空手、合気道などの武道	14.3%	0.0%	10.0%	6.7%
28. 弓道	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
29. ボクシング、レスリングなどの格闘技	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30. 各種ニュースポーツ（モルック、スナックゴルフ、ビーチボール、キンボール等を含む）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
31. ボッチャ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
32. 各種パラスポーツ（ブラインドサッカー、車いすテニス、車いすバスケットボール、車いすラグビー、シットイングバレーボール、ゴールボール、サウンドテーブルテニス、卓球バレー等を含む）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
33. その他	14.3%	28.6%	10.0%	6.7%
各年代回答者数	7	7	10	15

選択肢	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳
1. ウォーキング、散歩（街歩き、ペットの散歩等を含む）	50.0%	51.9%	50.0%	77.3%
2. ランニング（ジョギング、マラソン、トレイルランニング等を含む）	33.3%	22.2%	16.7%	13.6%
3. 各種陸上競技	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4. 体操（ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、こぼん体操等を含む）	27.8%	7.4%	16.7%	18.2%
5. 室内運動器具（マシン事務、バランスボール等）による運動	33.3%	11.1%	22.2%	4.5%
6. 水泳	5.6%	0.0%	16.7%	13.6%
7. ボート、ヨット、スキューバダイビング、カヌー、サーフィン、ウィンドサーフィン等	0.0%	3.7%	0.0%	0.0%
8. ゴルフ	5.6%	3.7%	5.6%	13.6%
9. スキー、スノーボード	5.6%	3.7%	11.1%	0.0%
10. 登山、ハイキング、キャンプ	11.1%	0.0%	11.1%	9.1%
11. ハングライダー、パラグライダー、スカイダイビング	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%
12. 釣り	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
13. ボウリング	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%
14. ゲートボール、グラウンド・ゴルフ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
15. サイクリング（ロードバイク、マウンテンバイク等を含む）	0.0%	7.4%	11.1%	4.5%
16. ダンス（ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、ヒップホップ、ブレイキン等を含む）	5.6%	11.1%	0.0%	4.5%
17. 各種アーバンスポーツ（スケートボード、スポーツライミング、BMX等を含む）	5.6%	0.0%	5.6%	0.0%
18. 野球、ソフトボール	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
19. サッカー	0.0%	3.7%	0.0%	4.5%
20. フットサル	5.6%	11.1%	0.0%	0.0%
21. ラグビー	0.0%	3.7%	0.0%	0.0%
22. テニス、ソフトテニス	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
23. 卓球	0.0%	7.4%	0.0%	0.0%
24. バレーボール	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
25. バスケットボール	0.0%	0.0%	5.6%	0.0%
26. バドミントン	5.6%	0.0%	0.0%	0.0%
27. 柔道、剣道、空手、合気道などの武道	5.6%	14.8%	5.6%	4.5%
28. 弓道	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
29. ボクシング、レスリングなどの格闘技	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30. 各種ニュースポーツ（モルック、スナックゴルフ、ビーチボール、キンボール等を含む）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
31. ボッチャ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
32. 各種パラスポーツ（ブラインドサッカー、車いすテニス、車いすバスケットボール、車いすラグビー、シットイングバレーボール、ゴールボール、サウンドテーブルテニス、卓球バレー等を含む）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
33. その他	5.6%	3.7%	0.0%	4.5%
各年代回答者数	18	27	18	22

次頁へ続く

選択肢	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80歳以上
1. ウォーキング、散歩（街歩き、ペットの散歩等を含む）	68.4%	72.7%	73.3%	81.3%	80.0%
2. ランニング（ジョギング、マラソン、トレイルランニング等を含む）	15.8%	0.0%	0.0%	3.1%	8.0%
3. 各種陸上競技	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4. 体操（ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、ころばん体操等を含む）	21.1%	27.3%	0.0%	15.6%	16.0%
5. 室内運動器具（マシン事務、バランスボール等）による運動	5.3%	18.2%	13.3%	15.6%	12.0%
6. 水泳	10.5%	9.1%	0.0%	9.4%	4.0%
7. ボート、ヨット、スキューバダイビング、カヌー、サーフィン、ウィンドサーフィン等	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
8. ゴルフ	5.3%	27.3%	13.3%	12.5%	4.0%
9. スキー、スノーボード	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%
10. 登山、ハイキング、キャンプ	0.0%	0.0%	0.0%	9.4%	8.0%
11. ハングライダー、パラグライダー、スカイダイビング	0.0%	0.0%	13.3%	0.0%	0.0%
12. 釣り	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
13. ボウリング	0.0%	0.0%	13.3%	3.1%	4.0%
14. ゲートボール、グラウンド・ゴルフ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
15. サイクリング（ロードバイク、マウンテンバイク等を含む）	5.3%	9.1%	0.0%	6.3%	0.0%
16. ダンス（ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、ヒップホップ、ブレイキン等を含む）	5.3%	9.1%	13.3%	3.1%	0.0%
17. 各種アーバンスポーツ（スケートボード、スポーツライミング、BMX等を含む）	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%	0.0%
18. 野球、ソフトボール	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
19. サッカー	10.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20. フットサル	10.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
21. ラグビー	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
22. テニス、ソフトテニス	0.0%	0.0%	13.3%	3.1%	0.0%
23. 卓球	0.0%	0.0%	6.7%	6.3%	0.0%
24. バレーボール	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%	0.0%
25. バスケットボール	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
26. バドミントン	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%	0.0%
27. 柔道、剣道、空手、合気道などの武道	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
28. 弓道	0.0%	0.0%	0.0%	3.1%	0.0%
29. ボクシング、レスリングなどの格闘技	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30. 各種ニュースポーツ（モルック、スナックゴルフ、ビーチボール、キンボール等を含む）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
31. ポッチャ	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
32. 各種パラスポーツ（ブラインドサッカー、車いすテニス、車いすバスケットボール、車いすラグビー、シットイングバレーボール、ゴールボール、サウンドテーブルテニス、卓球バレー等を含む）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
33. その他	5.3%	0.0%	0.0%	12.5%	0.0%
各年代回答者数	19	11	15	32	25

【女性年齢別：現在実施しているスポーツ】（選択肢の番号順に掲載）

いずれの年齢でも「ウォーキング、散歩（街歩き、ペットの散歩等を含む）」の回答割合が最も多くなりました。 ※回答割合が高いほど、網掛けの色が濃くなっています（問9でも同様）。

選択肢	24歳以下	25～29歳	30～34歳	35～39歳
1. ウォーキング、散歩（街歩き、ペットの散歩等を含む）	85.7%	78.6%	78.9%	61.1%
2. ランニング（ジョギング、マラソン、トレイルランニング等を含む）	14.3%	21.4%	10.5%	5.6%
3. 各種陸上競技	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%
4. 体操（ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、こぼん体操等を含む）	14.3%	21.4%	26.3%	33.3%
5. 室内運動器具（マシン事務、バランスボール等）による運動	21.4%	28.6%	21.1%	22.2%
6. 水泳	7.1%	7.1%	5.3%	5.6%
7. ボート、ヨット、スキューバダイビング、カヌー、サーフィン、ウィンドサーフィン等	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
8. ゴルフ	7.1%	0.0%	15.8%	0.0%
9. スキー、スノーボード	0.0%	7.1%	5.3%	0.0%
10. 登山、ハイキング、キャンプ	0.0%	0.0%	15.8%	11.1%
11. ハングライダー、パラグライダー、スカイダイビング	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
12. 釣り	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
13. ボウリング	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
14. ゲートボール、グラウンド・ゴルフ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
15. サイクリング（ロードバイク、マウンテンバイク等を含む）	7.1%	0.0%	0.0%	16.7%
16. ダンス（ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、ヒップホップ、ブレイキン等を含む）	0.0%	14.3%	5.3%	5.6%
17. 各種アーバンスポーツ（スケートボード、スポーツクライミング、BMX等を含む）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18. 野球、ソフトボール	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
19. サッカー	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%
20. フットサル	0.0%	0.0%	5.3%	5.6%
21. ラグビー	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
22. テニス、ソフトテニス	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
23. 卓球	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%
24. バレーボール	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
25. バasketボール	7.1%	0.0%	0.0%	0.0%
26. バドミントン	7.1%	0.0%	5.3%	0.0%
27. 柔道、剣道、空手、合気道などの武道	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
28. 弓道	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
29. ボクシング、レスリングなどの格闘技	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30. 各種ニュースポーツ（モルック、スナックゴルフ、ビーチボール、キンボール等を含む）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
31. ボッチャ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
32. 各種パラスポーツ（ブラインドサッカー、車いすテニス、車いすバスケットボール、車いすラグビー、シットイングバレーボール、ゴールボール、サウンドテーブルテニス、卓球バレー等を含む）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
33. その他	7.1%	7.1%	5.3%	0.0%
各年代回答者数	14	14	19	18

選択肢	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳
1. ウォーキング、散歩（街歩き、ペットの散歩等を含む）	50.0%	57.1%	53.6%	61.1%
2. ランニング（ジョギング、マラソン、トレイルランニング等を含む）	17.9%	14.3%	10.7%	5.6%
3. 各種陸上競技	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4. 体操（ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、こぼん体操等を含む）	42.9%	28.6%	25.0%	38.9%
5. 室内運動器具（マシン事務、バランスボール等）による運動	17.9%	14.3%	25.0%	22.2%
6. 水泳	7.1%	0.0%	3.6%	5.6%
7. ボート、ヨット、スキューバダイビング、カヌー、サーフィン、ウィンドサーフィン等	0.0%	4.8%	0.0%	5.6%
8. ゴルフ	3.6%	4.8%	7.1%	5.6%
9. スキー、スノーボード	10.7%	4.8%	7.1%	0.0%
10. 登山、ハイキング、キャンプ	10.7%	0.0%	10.7%	5.6%
11. ハングライダー、パラグライダー、スカイダイビング	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
12. 釣り	3.6%	0.0%	0.0%	5.6%
13. ボウリング	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
14. ゲートボール、グラウンド・ゴルフ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
15. サイクリング（ロードバイク、マウンテンバイク等を含む）	7.1%	9.5%	3.6%	11.1%
16. ダンス（ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、ヒップホップ、ブレイキン等を含む）	3.6%	0.0%	10.7%	0.0%
17. 各種アーバンスポーツ（スケートボード、スポーツクライミング、BMX等を含む）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18. 野球、ソフトボール	0.0%	4.8%	0.0%	5.6%
19. サッカー	3.6%	4.8%	0.0%	0.0%
20. フットサル	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%
21. ラグビー	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
22. テニス、ソフトテニス	7.1%	9.5%	3.6%	5.6%
23. 卓球	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%
24. バレーボール	0.0%	4.8%	10.7%	0.0%
25. バasketボール	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%
26. バドミントン	3.6%	4.8%	0.0%	0.0%
27. 柔道、剣道、空手、合気道などの武道	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%
28. 弓道	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
29. ボクシング、レスリングなどの格闘技	0.0%	4.8%	7.1%	0.0%
30. 各種ニュースポーツ（モルック、スナックゴルフ、ビーチボール、キンボール等を含む）	0.0%	0.0%	3.6%	0.0%
31. ボッチャ	0.0%	0.0%	3.6%	0.0%
32. 各種パラスポーツ（ブラインドサッカー、車いすテニス、車いすバスケットボール、車いすラグビー、シットイングバレーボール、ゴールボール、サウンドテーブルテニス、卓球バレー等を含む）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
33. その他	7.1%	0.0%	0.0%	11.1%
各年代回答者数	28	21	28	18

次頁へ続く

選択肢	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80歳以上
1. ウォーキング、散歩（街歩き、ペットの散歩等を含む）	65.0%	57.9%	70.6%	68.2%	64.5%
2. ランニング（ジョギング、マラソン、トレイルランニング等を含む）	5.0%	0.0%	0.0%	9.1%	0.0%
3. 各種陸上競技	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4. 体操（ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、こぼん体操等を含む）	35.0%	47.4%	70.6%	45.5%	61.3%
5. 室内運動器具（マシン事務、バランスボール等）による運動	20.0%	15.8%	11.8%	9.1%	9.7%
6. 水泳	5.0%	15.8%	17.6%	18.2%	6.5%
7. ボート、ヨット、スキューバダイビング、カヌー、サーフィン、ウィンドサーフィン等	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
8. ゴルフ	10.0%	10.5%	5.9%	0.0%	0.0%
9. スキー、スノーボード	10.0%	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%
10. 登山、ハイキング、キャンプ	0.0%	15.8%	0.0%	0.0%	3.2%
11. ハングライダー、パラグライダー、スカイダイビング	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
12. 釣り	0.0%	0.0%	11.8%	0.0%	0.0%
13. ボウリング	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
14. ゲートボール、グラウンド・ゴルフ	0.0%	0.0%	5.9%	9.1%	6.5%
15. サイクリング（ロードバイク、マウンテンバイク等を含む）	15.0%	5.3%	11.8%	4.5%	0.0%
16. ダンス（ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、ヒップホップ、ブレイキン等を含む）	5.0%	10.5%	5.9%	4.5%	9.7%
17. 各種アーバンスポーツ（スケートボード、スポーツライミング、BMX等を含む）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18. 野球、ソフトボール	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
19. サッカー	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20. フットサル	5.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
21. ラグビー	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
22. テニス、ソフトテニス	0.0%	0.0%	5.9%	4.5%	0.0%
23. 卓球	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%
24. バレーボール	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
25. バスケットボール	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%
26. バドミントン	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
27. 柔道、剣道、空手、合気道などの武道	0.0%	0.0%	0.0%	4.5%	0.0%
28. 弓道	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
29. ボクシング、レスリングなどの格闘技	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30. 各種ニュースポーツ（モルック、スナックゴルフ、ビーチボール、キンボール等を含む）	5.0%	5.3%	5.9%	0.0%	0.0%
31. ボッチャ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
32. 各種バラスポーツ（ブラインドサッカー、車いすテニス、車いすバスケットボール、車いすラグビー、シットイングバレーボール、ゴールボール、サウンドテーブルテニス、卓球バレー等を含む）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
33. その他	5.0%	0.0%	0.0%	4.5%	3.2%
各年代回答者数	20	19	17	22	31

問9 あなたが今後行ってみたいスポーツや運動はありますか。(〇は3つまで)

問4の「現在実施しているスポーツ」に対して、「今後やってみたいスポーツ」の設問となります。そのため、本報告書では問5の前に問9について結果を述べます。

回答割合について、最も多かったのは「ウォーキング、散歩(街歩き、ペットの散歩等を含む)」(36.0%)、次いで「体操(ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、ころばん体操等を含む)」(29.6%)、「水泳」(16.6%)となりました。なかでも「水泳」は、問4の現在実施しているスポーツとしての回答割合は7.6%であり、割合の数を比較すると、9.0ポイント増えていました。

選択肢	割合
ウォーキング、散歩(街歩き、ペットの散歩等を含む)	36.0%
体操(ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、ころばん体操等を含む)	29.6%
水泳	16.6%
室内運動器具(マシンジム、バランスボール等)による運動	15.3%
登山、ハイキング、キャンプ	12.6%
ランニング(ジョギング、マラソン、トレイルランニング等を含む)	11.0%
ダンス(ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、ヒップホップ、プレイキン等を含む)	8.3%
釣り	7.4%
ゴルフ	5.8%
ボウリング	5.6%
サイクリング(ロードバイク、マウンテンバイク等を含む)	5.5%
スキー、スノーボード	4.6%
卓球	4.0%
バドミントン	3.9%
ボート、ヨット、スキューバダイビング、カヌー、サーフィン、ウインドサーフィン等	3.7%
柔道、剣道、空手、合気道などの武道	3.6%
その他	3.4%
テニス、ソフトテニス	3.3%
弓道、アーチェリー	3.0%
バスケットボール	2.7%
ハングライダー、パラグライダー、スカイダイビング	2.2%
バレーボール	1.9%
野球、ソフトボール	1.8%
各種ニュースポーツ(モルック、スナッグゴルフ、ビーチボール、キンボール等を含む)	1.8%
ボクシング、レスリングなどの格闘技	1.6%
ゲートボール、グラウンドゴルフ	1.5%
ポッチャ	1.5%
フットサル	0.9%
各種アーバンスポーツ(スケートボード、スポーツクライミング、BMX等を含む)	0.7%
サッカー	0.7%
各種陸上競技	0.3%
ラグビー	0.3%
各種パラスポーツ(ブラインドサッカー、車いすテニス、車いすバスケットボール、車いすラグビー、シッティングバレーボール、ゴールボール、サウンドテーブルテニス、卓球バレー等を含む)	0.1%
無回答	6.5%

※回答者数 n=673

【男性年齢別：今後やりたいスポーツ】（選択肢の番号順に掲載）

問4の「現在実施しているスポーツ」では、いずれの年齢でも「ウォーキング、散歩（街歩き、ペットの散歩等を含む）」の回答割合が最も多かったのに対して、問9の「今後やりたいスポーツ」では、年齢によって、回答割合が最も多いスポーツが異なっていました。女性年齢別のデータでも同様のことがいえます。

選択肢	24歳以下	25～29歳	30～34歳	35～39歳
1. ウォーキング、散歩（街歩き、ペットの散歩等を含む）	12.5%	0.0%	10.0%	5.6%
2. ランニング（ジョギング、マラソン、トレイルランニング等を含む）	25.0%	22.2%	10.0%	11.1%
3. 各種陸上競技	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%
4. 体操（ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、こぼん体操等を含む）	0.0%	11.1%	0.0%	11.1%
5. 室内運動器具（マシン事務、バランスボール等）による運動	12.5%	22.2%	0.0%	27.8%
6. 水泳	12.5%	0.0%	30.0%	16.7%
7. ボート、ヨット、スキューバダイビング、カヌー、サーフィン、ウィンドサーフィン等	0.0%	0.0%	10.0%	11.1%
8. ゴルフ	12.5%	0.0%	0.0%	11.1%
9. スキー、スノーボード	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%
10. 登山、ハイキング、キャンプ	12.5%	11.1%	10.0%	27.8%
11. ハングライダー、パラグライダー、スカイダイビング	0.0%	11.1%	20.0%	5.6%
12. 釣り	0.0%	22.2%	10.0%	11.1%
13. ボウリング	12.5%	0.0%	0.0%	11.1%
14. ゲートボール、グラウンド・ゴルフ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
15. サイクリング（ロードバイク、マウンテンバイク等を含む）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
16. ダンス（ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、ヒップホップ、ブレイキン等を含む）	0.0%	11.1%	10.0%	5.6%
17. 各種アーバンスポーツ（スケートボード、スポーツクライミング、BMX等を含む）	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%
18. 野球、ソフトボール	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%
19. サッカー	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%
20. フットサル	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
21. ラグビー	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
22. テニス、ソフトテニス	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%
23. 卓球	0.0%	0.0%	0.0%	5.6%
24. バレーボール	12.5%	0.0%	0.0%	5.6%
25. バスケットボール	12.5%	0.0%	0.0%	22.2%
26. バドミントン	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
27. 柔道、剣道、空手、合気道などの武道	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%
28. 弓道	12.5%	11.1%	0.0%	0.0%
29. ボクシング、レスリングなどの格闘技	12.5%	0.0%	0.0%	11.1%
30. 各種ニュースポーツ（モルック、スナックゴルフ、ビーチボール、キンボール等を含む）	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%
31. ポッチャ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
32. 各種バラスポーツ（ブラインドサッカー、車いすテニス、車いすバスケットボール、車いすラグビー、シットイングバレーボール、ゴールボール、サウンドテーブルテニス、卓球バレー等を含む）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
33. その他	12.5%	11.1%	0.0%	0.0%
無回答	12.5%	11.1%	10.0%	0.0%
各年代回答者数	8	9	10	18

選択肢	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳
1. ウォーキング、散歩（街歩き、ペットの散歩等を含む）	18.2%	23.5%	45.8%	33.3%
2. ランニング（ジョギング、マラソン、トレイルランニング等を含む）	22.7%	8.8%	41.7%	26.7%
3. 各種陸上競技	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4. 体操（ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、こぼん体操等を含む）	4.5%	2.9%	16.7%	26.7%
5. 室内運動器具（マシン事務、バランスボール等）による運動	9.1%	8.8%	16.7%	10.0%
6. 水泳	40.9%	29.4%	8.3%	23.3%
7. ボート、ヨット、スキューバダイビング、カヌー、サーフィン、ウィンドサーフィン等	4.5%	5.9%	0.0%	6.7%
8. ゴルフ	4.5%	5.9%	8.3%	6.7%
9. スキー、スノーボード	4.5%	8.8%	8.3%	3.3%
10. 登山、ハイキング、キャンプ	9.1%	11.8%	20.8%	16.7%
11. ハングライダー、パラグライダー、スカイダイビング	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%
12. 釣り	9.1%	20.6%	12.5%	13.3%
13. ボウリング	9.1%	5.9%	0.0%	0.0%
14. ゲートボール、グラウンド・ゴルフ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
15. サイクリング（ロードバイク、マウンテンバイク等を含む）	4.5%	8.8%	4.2%	6.7%
16. ダンス（ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、ヒップホップ、ブレイキン等を含む）	9.1%	0.0%	0.0%	0.0%
17. 各種アーバンスポーツ（スケートボード、スポーツクライミング、BMX等を含む）	4.5%	0.0%	0.0%	0.0%
18. 野球、ソフトボール	9.1%	5.9%	4.2%	3.3%
19. サッカー	4.5%	2.9%	0.0%	0.0%
20. フットサル	4.5%	8.8%	0.0%	0.0%
21. ラグビー	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%
22. テニス、ソフトテニス	4.5%	8.8%	4.2%	3.3%
23. 卓球	9.1%	2.9%	0.0%	3.3%
24. バレーボール	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
25. バスケットボール	4.5%	5.9%	0.0%	0.0%
26. バドミントン	4.5%	5.9%	0.0%	0.0%
27. 柔道、剣道、空手、合気道などの武道	9.1%	0.0%	4.2%	10.0%
28. 弓道	4.5%	5.9%	0.0%	3.3%
29. ボクシング、レスリングなどの格闘技	4.5%	2.9%	0.0%	3.3%
30. 各種ニュースポーツ（モルック、スナックゴルフ、ビーチボール、キンボール等を含む）	0.0%	8.8%	4.2%	3.3%
31. ポッチャ	4.5%	0.0%	0.0%	3.3%
32. 各種バラスポーツ（ブラインドサッカー、車いすテニス、車いすバスケットボール、車いすラグビー、シットイングバレーボール、ゴールボール、サウンドテーブルテニス、卓球バレー等を含む）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
33. その他	9.1%	5.9%	0.0%	6.7%
無回答	0.0%	0.0%	8.3%	3.3%
各年代回答者数	22	34	24	30

選択肢	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上
1. ウォーキング、散歩（街歩き、ペットの散歩等を含む）	34.6%	31.3%	57.9%	63.2%	63.3%
2. ランニング（ジョギング、マラソン、トレイルランニング等を含む）	26.9%	18.8%	15.8%	2.6%	6.7%
3. 各種陸上競技	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4. 体操（ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、こぼん体操等を含む）	19.2%	12.5%	26.3%	13.2%	16.7%
5. 室内運動器具（マシン事務、バランスボール等）による運動	23.1%	25.0%	10.5%	10.5%	13.3%
6. 水泳	26.9%	6.3%	15.8%	15.8%	3.3%
7. ボート、ヨット、スキューバダイビング、カヌー、サーフィン、ウィンドサーフィン等	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
8. ゴルフ	0.0%	0.0%	5.3%	10.5%	6.7%
9. スキー、スノーボード	3.8%	0.0%	5.3%	2.6%	0.0%
10. 登山、ハイキング、キャンプ	19.2%	18.8%	0.0%	5.3%	16.7%
11. ハングライダー、パラグライダー、スカイダイビング	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
12. 釣り	23.1%	12.5%	5.3%	2.6%	10.0%
13. ボウリング	0.0%	18.8%	0.0%	10.5%	6.7%
14. ゲートボール、グラウンド・ゴルフ	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	0.0%
15. サイクリング（ロードバイク、マウンテンバイク等を含む）	3.8%	25.0%	10.5%	5.3%	0.0%
16. ダンス（ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、ヒップホップ、ブレイキン等を含む）	3.8%	0.0%	5.3%	2.6%	3.3%
17. 各種アーバンスポーツ（スケートボード、スポーツライミング、BMX等を含む）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18. 野球、ソフトボール	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%
19. サッカー	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20. フットサル	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
21. ラグビー	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
22. テニス、ソフトテニス	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
23. 卓球	3.8%	12.5%	0.0%	10.5%	0.0%
24. バレーボール	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
25. バスケットボール	7.7%	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%
26. バドミントン	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	0.0%
27. 柔道、剣道、空手、合気道などの武道	11.5%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%
28. 弓道	0.0%	0.0%	5.3%	2.6%	3.3%
29. ボクシング、レスリングなどの格闘技	3.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30. 各種ユースポーツ（モルック、スナックゴルフ、ビーチボール、キンボール等を含む）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
31. ボッチャ	0.0%	0.0%	0.0%	2.6%	3.3%
32. 各種バラスポーツ（ブラインドサッカー、車いすテニス、車いすバスケットボール、車いすラグビー、シッティングバレーボール、ゴールボール、サウンドテーブルテニス、卓球バレー等を含む）	0.0%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%
33. その他	0.0%	6.3%	5.3%	2.6%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	10.5%	10.5%	13.3%
各年代回答者数	26	16	19	38	30

【女性年齢別：今後やりたいスポーツ】（選択肢の番号順に掲載）

選択肢	24歳以下	25～29歳	30～34歳	35～39歳
1. ウォーキング、散歩（街歩き、ペットの散歩等を含む）	31.6%	11.8%	16.7%	24.0%
2. ランニング（ジョギング、マラソン、トレイルランニング等を含む）	26.3%	5.9%	25.0%	8.0%
3. 各種陸上競技	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4. 体操（ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、こぼん体操等を含む）	31.6%	35.3%	29.2%	52.0%
5. 室内運動器具（マシン事務、バランスボール等）による運動	15.8%	0.0%	16.7%	12.0%
6. 水泳	5.3%	35.3%	25.0%	24.0%
7. ボート、ヨット、スキューバダイビング、カヌー、サーフィン、ウィンドサーフィン等	10.5%	11.8%	12.5%	4.0%
8. ゴルフ	5.3%	0.0%	8.3%	12.0%
9. スキー、スノーボード	5.3%	0.0%	16.7%	12.0%
10. 登山、ハイキング、キャンプ	10.5%	17.6%	8.3%	16.0%
11. ハングライダー、パラグライダー、スカイダイビング	5.3%	0.0%	0.0%	0.0%
12. 釣り	10.5%	11.8%	0.0%	0.0%
13. ボウリング	0.0%	0.0%	8.3%	4.0%
14. ゲートボール、グラウンド・ゴルフ	0.0%	0.0%	0.0%	4.0%
15. サイクリング（ロードバイク、マウンテンバイク等を含む）	10.5%	5.9%	4.2%	4.0%
16. ダンス（ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、ヒップホップ、ブレイキン等を含む）	10.5%	5.9%	12.5%	24.0%
17. 各種アーバンスポーツ（スケートボード、スポーツライミング、BMX等を含む）	0.0%	0.0%	0.0%	4.0%
18. 野球、ソフトボール	0.0%	11.8%	0.0%	0.0%
19. サッカー	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20. フットサル	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
21. ラグビー	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%
22. テニス、ソフトテニス	10.5%	0.0%	4.2%	4.0%
23. 卓球	5.3%	0.0%	0.0%	4.0%
24. バレーボール	5.3%	0.0%	4.2%	4.0%
25. バスケットボール	5.3%	11.8%	0.0%	8.0%
26. バドミントン	10.5%	11.8%	12.5%	4.0%
27. 柔道、剣道、空手、合気道などの武道	0.0%	0.0%	4.2%	4.0%
28. 弓道	10.5%	5.9%	12.5%	4.0%
29. ボクシング、レスリングなどの格闘技	0.0%	0.0%	8.3%	0.0%
30. 各種ニュースポーツ（モルック、スナックゴルフ、ビーチボール、キンボール等を含む）	0.0%	5.9%	4.2%	0.0%
31. ポッチャ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
32. 各種パラスポーツ（ブラインドサッカー、車いすテニス、車いすバスケットボール、車いすラグビー、シットイングバレーボール、ゴールボール、サウンドテーブルテニス、卓球バレー等を含む）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
33. その他	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	4.2%	0.0%
各年代回答者数	19	17	24	25

選択肢	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳
1. ウォーキング、散歩（街歩き、ペットの散歩等を含む）	25.0%	47.2%	24.3%	25.0%
2. ランニング（ジョギング、マラソン、トレイルランニング等を含む）	11.1%	5.6%	5.4%	8.3%
3. 各種陸上競技	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4. 体操（ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、こぼん体操等を含む）	52.8%	52.8%	48.6%	50.0%
5. 室内運動器具（マシン事務、バランスボール等）による運動	16.7%	36.1%	21.6%	16.7%
6. 水泳	13.9%	16.7%	16.2%	25.0%
7. ボート、ヨット、スキューバダイビング、カヌー、サーフィン、ウィンドサーフィン等	2.8%	0.0%	2.7%	4.2%
8. ゴルフ	8.3%	5.6%	2.7%	4.2%
9. スキー、スノーボード	8.3%	0.0%	10.8%	0.0%
10. 登山、ハイキング、キャンプ	25.0%	16.7%	16.2%	4.2%
11. ハングライダー、パラグライダー、スカイダイビング	2.8%	5.6%	5.4%	4.2%
12. 釣り	5.6%	2.8%	2.7%	4.2%
13. ボウリング	5.6%	8.3%	5.4%	8.3%
14. ゲートボール、グラウンド・ゴルフ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
15. サイクリング（ロードバイク、マウンテンバイク等を含む）	5.6%	13.9%	0.0%	8.3%
16. ダンス（ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、ヒップホップ、ブレイキン等を含む）	13.9%	13.9%	16.2%	12.5%
17. 各種アーバンスポーツ（スケートボード、スポーツライミング、BMX等を含む）	2.8%	0.0%	2.7%	0.0%
18. 野球、ソフトボール	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
19. サッカー	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20. フットサル	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
21. ラグビー	2.8%	0.0%	2.7%	0.0%
22. テニス、ソフトテニス	5.6%	8.3%	2.7%	0.0%
23. 卓球	2.8%	2.8%	2.7%	4.2%
24. バレーボール	2.8%	8.3%	0.0%	0.0%
25. バスケットボール	2.8%	2.8%	2.7%	0.0%
26. バドミントン	13.9%	2.8%	5.4%	4.2%
27. 柔道、剣道、空手、合気道などの武道	2.8%	0.0%	5.4%	0.0%
28. 弓道	2.8%	2.8%	2.7%	4.2%
29. ボクシング、レスリングなどの格闘技	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30. 各種ニュースポーツ（モルック、スナックゴルフ、ビーチボール、キンボール等を含む）	2.8%	2.8%	0.0%	0.0%
31. ポッチャ	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
32. 各種パラスポーツ（ブラインドサッカー、車いすテニス、車いすバスケットボール、車いすラグビー、シットイングバレーボール、ゴールボール、サウンドテーブルテニス、卓球バレー等を含む）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
33. その他	0.0%	2.8%	0.0%	4.2%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%
各年代回答者数	36	36	37	24

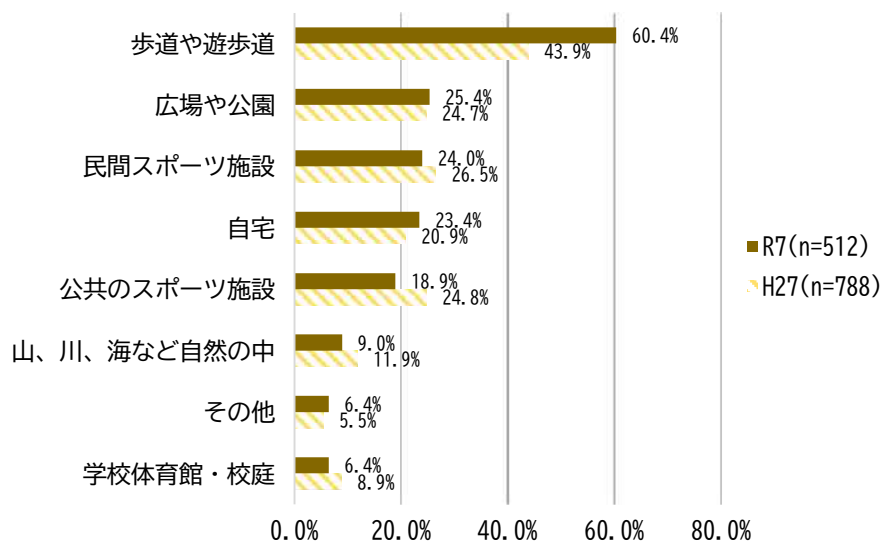
次頁へ続く

選択肢	60～64歳	65～69歳	70～74歳	75～79歳	80歳以上
1. ウォーキング、散歩（街歩き、ペットの散歩等を含む）	57.1%	47.6%	44.8%	45.2%	45.0%
2. ランニング（ジョギング、マラソン、トレイルランニング等を含む）	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%
3. 各種陸上競技	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
4. 体操（ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、こぼん体操等を含む）	42.9%	52.4%	34.5%	35.5%	30.0%
5. 室内運動器具（マシン事務、バランスボール等）による運動	14.3%	23.8%	17.2%	9.7%	7.5%
6. 水泳	10.7%	4.8%	17.2%	16.1%	5.0%
7. ボート、ヨット、スキューバダイビング、カヌー、サーフィン、ウィンドサーフィン等	3.6%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%
8. ゴルフ	7.1%	9.5%	6.9%	3.2%	2.5%
9. スキー、スノーボード	7.1%	4.8%	0.0%	6.5%	0.0%
10. 登山、ハイキング、キャンプ	10.7%	9.5%	0.0%	9.7%	2.5%
11. ハングライダー、パラグライダー、スカイダイビング	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%
12. 釣り	3.6%	0.0%	3.4%	6.5%	2.5%
13. ボウリング	0.0%	4.8%	10.3%	6.5%	5.0%
14. ゲートボール、グラウンド・ゴルフ	0.0%	4.8%	0.0%	9.7%	10.0%
15. サイクリング（ロードバイク、マウンテンバイク等を含む）	0.0%	9.5%	0.0%	3.2%	2.5%
16. ダンス（ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、ヒップホップ、プレイキン等を含む）	14.3%	9.5%	13.8%	6.5%	5.0%
17. 各種アーバンスポーツ（スケートボード、スポーツクライミング、BMX等を含む）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
18. 野球、ソフトボール	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
19. サッカー	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
20. フットサル	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
21. ラグビー	0.0%	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%
22. テニス、ソフトテニス	0.0%	4.8%	3.4%	0.0%	0.0%
23. 卓球	0.0%	19.0%	0.0%	6.5%	5.0%
24. バレーボール	3.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
25. バスケットボール	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	0.0%
26. バドミントン	0.0%	4.8%	3.4%	0.0%	0.0%
27. 柔道、剣道、空手、合気道などの武道	7.1%	4.8%	3.4%	0.0%	0.0%
28. 弓道	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
29. ボクシング、レスリングなどの格闘技	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
30. 各種ニュースポーツ（モルック、スナックゴルフ、ビーチボール、キンボール等を含む）	0.0%	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%
31. ポッチャ	0.0%	0.0%	3.4%	3.2%	5.0%
32. 各種バラスポーツ（ブラインドサッカー、車いすテニス、車いすバスケットボール、車いすラグビー、シットイングバレーボール、ゴールボール、サウンドテーブルテニス、卓球バレー等を含む）	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
33. その他	3.6%	4.8%	6.9%	6.5%	5.0%
無回答	10.7%	0.0%	6.9%	12.9%	22.5%
各年代回答者数	28	21	29	31	40

問5 【問2で「ほぼ毎日」「週に3～4回」「週に1～2回」「月に1～2回」「年に数回程度」「その他」のいずれかに回答した方にお聞きします。】
 スポーツや運動（問4で回答したスポーツや運動）を行った場所どこですか。（〇は3つまで）

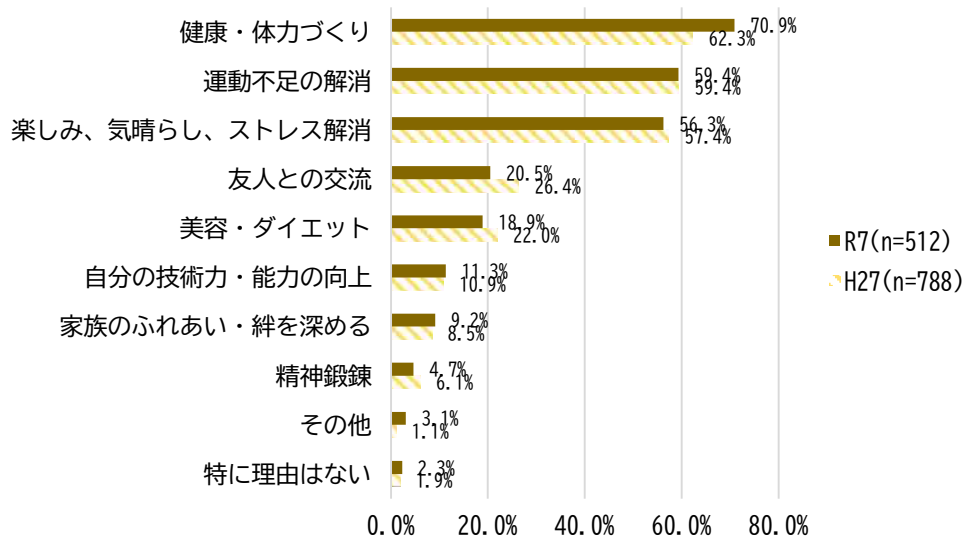
本調査では、「歩道や遊歩道」（60.4%）の割合が最も多く、次いで「広場や公園」（25.4%）、「民間スポーツ施設」の割合が多くなりました。そのなかでも、「歩道や遊歩道」の割合は、前回調査（43.9%）と比べて16.5ポイント増えました。

※前回調査の「公共のスポーツ施設」の割合（24.8%）は、「公共の屋内スポーツ施設」の割合（17.6%）と「公共の屋外スポーツ施設」の割合（7.2%）との合計になります。



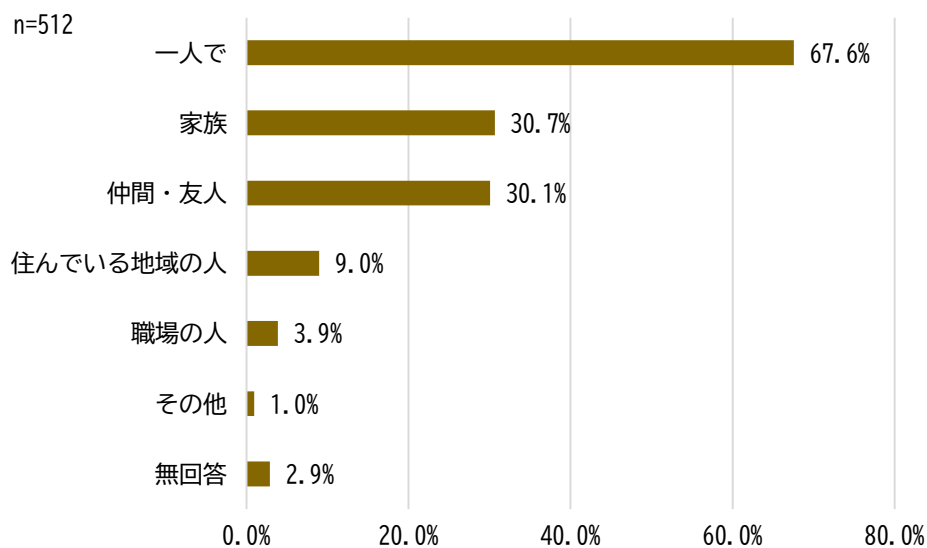
問6 【問2で「ほぼ毎日」「週に3～4回」「週に1～2回」「月に1～2回」「年に数回程度」「その他」のいずれかに回答した方にお聞きします。】スポーツや運動を行ったのはどのような理由からですか。(〇はいくつでも)

本調査では、「健康・体力づくり」(70.9%)の割合が最も多く、次いで「運動不足の解消」(59.4%)、「楽しみ、気晴らし、ストレス解消」の割合(56.3%)が多くなりました。そのなかでも、「健康・体力づくり」の割合は、前回調査(62.3%)と比べて8.6ポイント増えました。



問7 【問2で「ほぼ毎日」「週に3～4回」「週に1～2回」「月に1～2回」「年に数回程度」「その他」のいずれかに回答した方にお聞きします。】スポーツや運動を誰と行いましたか。(〇はいくつでも)

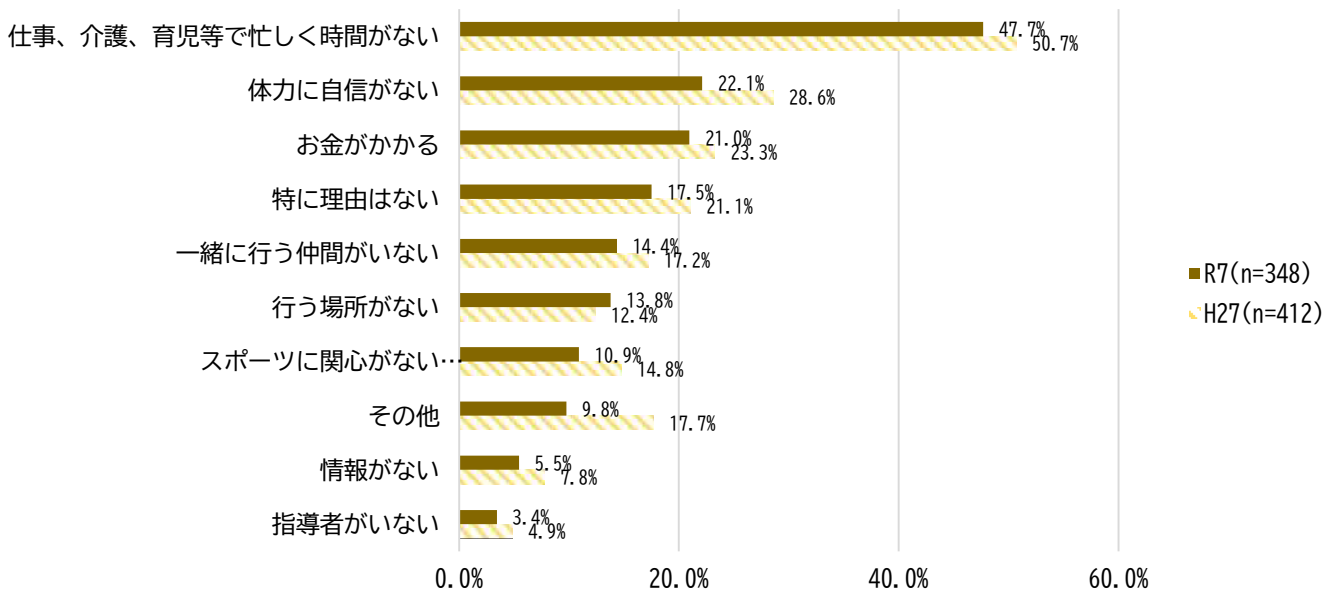
本調査では、「一人で」(67.6%)の割合が最も多く、次いで「家族」(30.7%)、「仲間・友人」の割合(30.1%)が多くなりました。



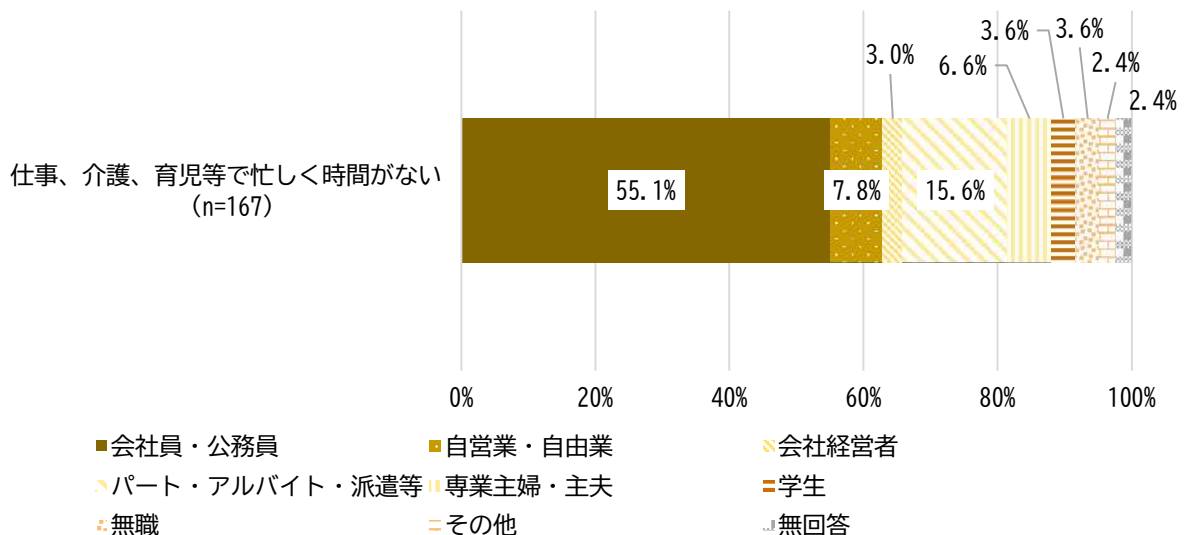
問8 【問2で「行っていない」に回答した方及び問3で「あまり満足していない」、「満足していない」のいずれかに回答した方にお聞きします。スポーツや運動を行わない、もしくは実施の頻度に満足できていないのはどのような理由からですか。(〇はいくつでも)

本調査では、「仕事、介護、育児等で忙しく時間がない」(47.7%)の割合が最も多く、次いで「体力に自信がない」(22.1%)、「お金がかかる」の割合(21.0%)が多くなりました。また、これらの3つの項目について、ポイントの差はありますが、前回調査と割合の多さの順位は変わっていませんでした。

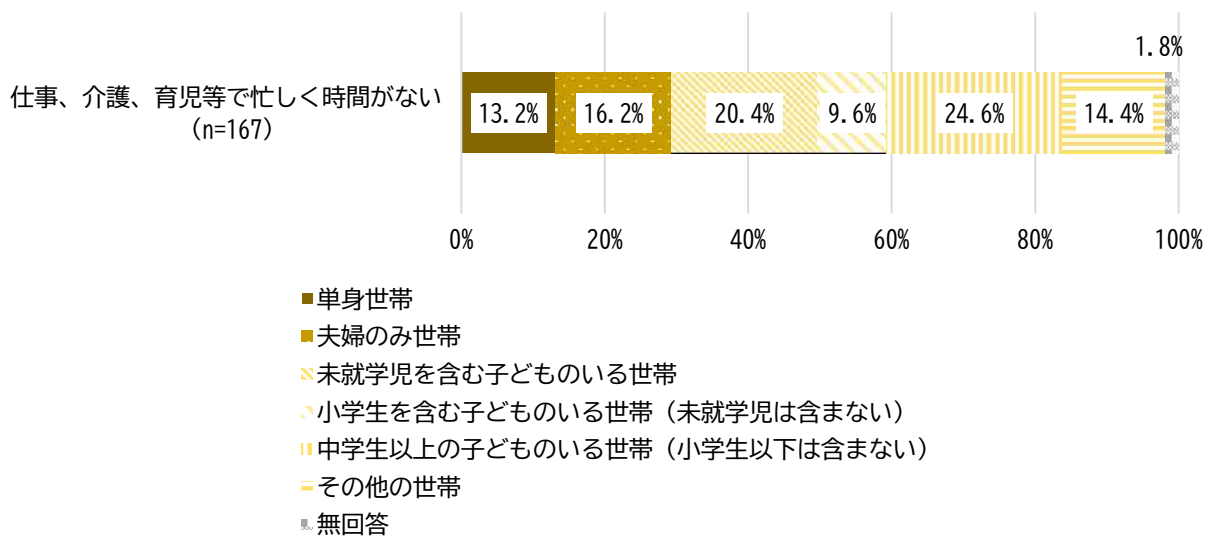
※前回調査ではスポーツや運動を「行っていない」と回答した方のみにお聞きしていました。



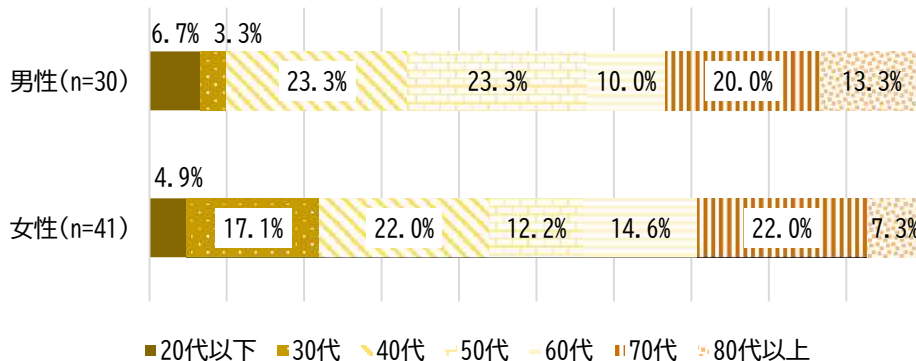
問8における「仕事、介護、育児等で忙しく時間がない」の回答者の職業(問3 9参照)は、「会社員・公務員」(55.1%)の割合が最も多く、次いで「パート・アルバイト・派遣等」(15.6%)、「自営業・自由業」の割合(7.8%)が多くなりました。



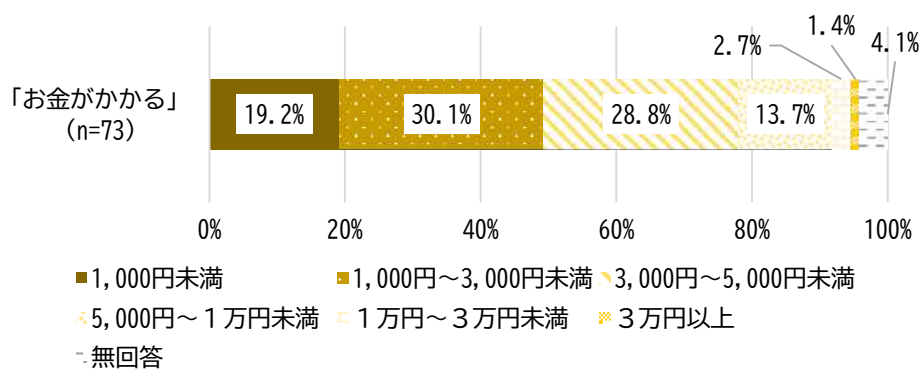
問8における「仕事、介護、育児等で忙しく時間がない」の回答者の世帯構成（問40参照）としては、「中学生以上の子どもがいる世帯（小学生以下は含まない）（24.6%）の割合が最も多く、次いで「未就学児を含む子どものいる世帯」（20.4%）、「夫婦のみ世帯」の割合（16.2%）が多くなりました。



問8における「体力に自信がない」と回答した方のうち、男性では、40代（23.3%）と50代（23.3%）が最も多く、次いで70代（20.0%）、80代以上（13.3%）となり、女性では、40代（22.0%）と70代（22.0%）が最も多く、次いで30代（17.1%）、60代（14.6%）となりました。



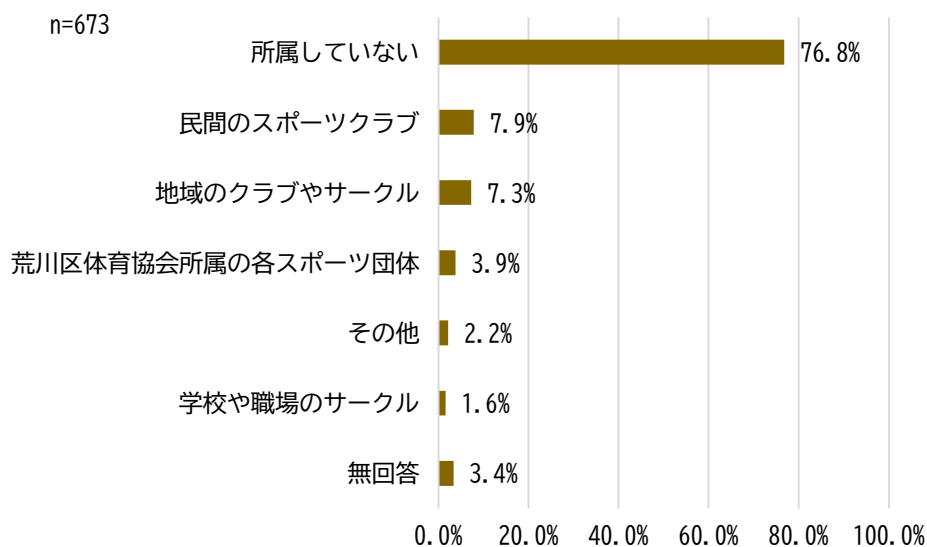
問8において「お金がかかる」と回答した方のスポーツや運動にかけても良いと思う1カ月の費用（問41参照）としては、「1,000円～3,000円未満」（30.1%）の割合が最も多く、次いで「3,000円～5,000円未満」（28.8%）、「1,000円未満」の割合（19.2%）が多くなりました。



問10 あなたは、現在スポーツや運動のクラブやサークルなどに所属していますか。(〇はいくつでも)

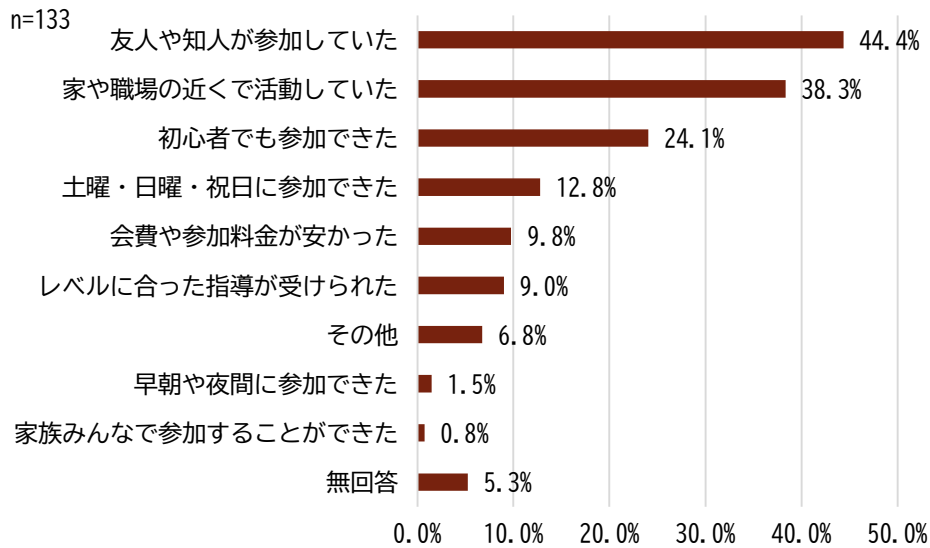
スポーツや運動のクラブやサークルなどに所属している回答者の中では、「民間のスポーツクラブ」(7.9%)の割合が最も多く、次いで「地域のクラブやサークル」(7.3%)、「荒川区体育協会所属の各スポーツ団体」の割合(3.9%)が多くなりました。

※現在、「荒川区体育協会」は「荒川区スポーツ協会」に名称が変わっています(以降同様)。



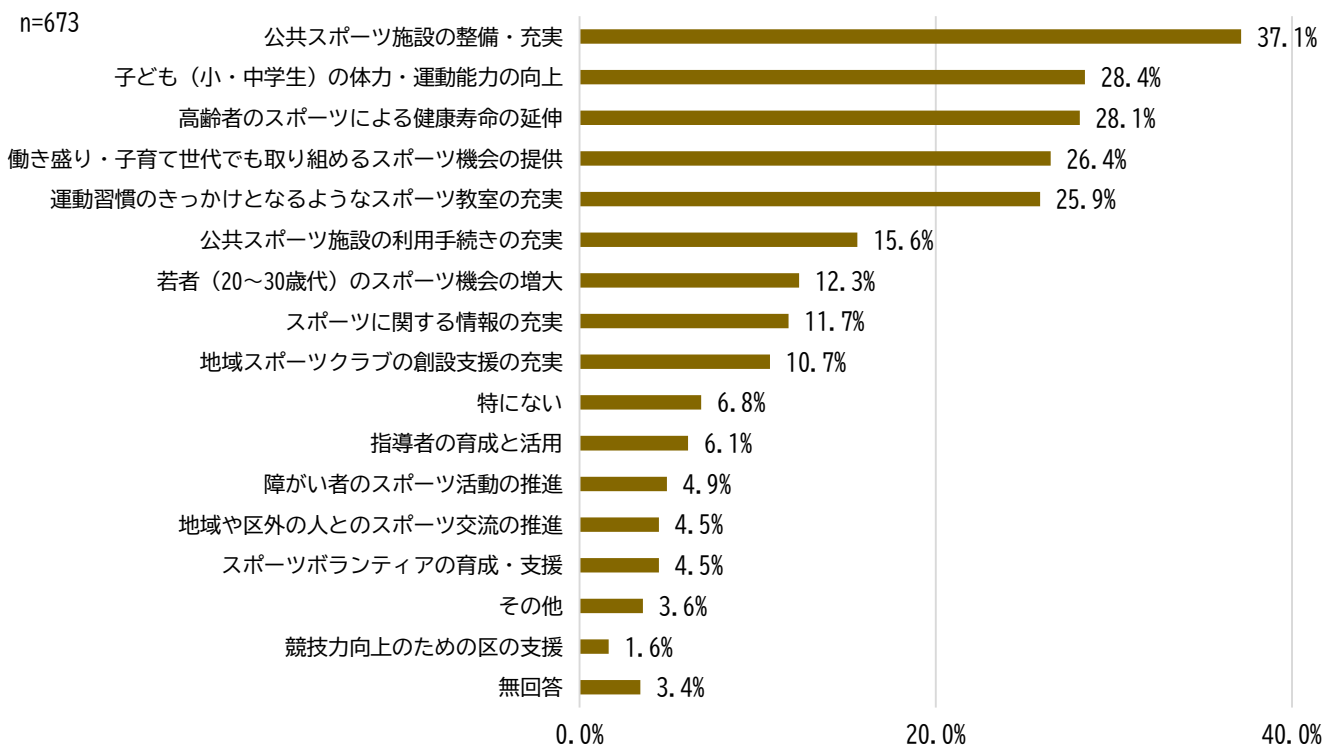
問11 【問10で「民間のスポーツクラブ」、「地域のクラブやサークル」、「学校や職場サークル」、「荒川区体育協会所属の各スポーツ団体」、「その他」のいずれかに回答した方にお聞きします。】スポーツや運動のクラブやサークル(問10で回答したクラブやサークルに所属したきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)

本調査では、「友人や知人が参加していた」(44.4%)の割合が最も多く、次いで「家や職場の近くで活動していた」(38.3%)、「初心者でも参加できた」の割合(24.1%)が多くなりました。



問12 あなたは、スポーツ活動がより活性化するには、区がどのような施策を行う必要があると考えますか。(〇は3つまで)

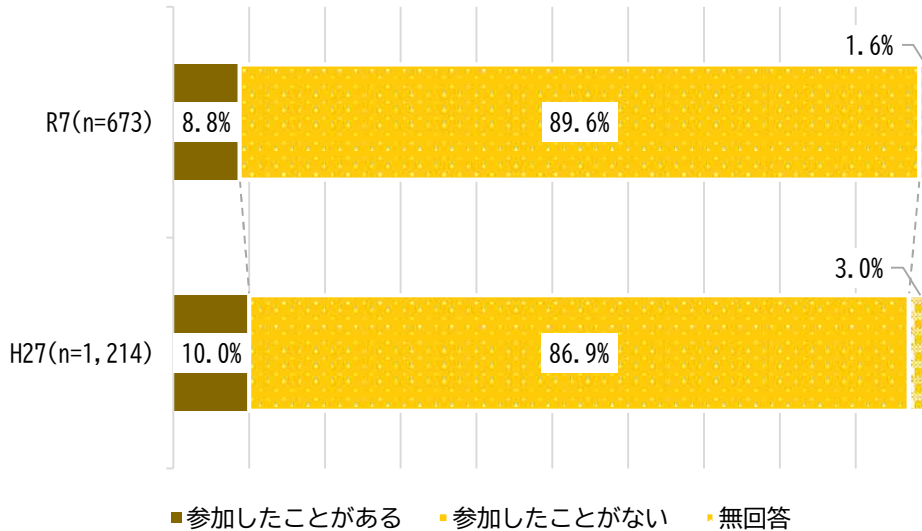
本調査では、「公共スポーツ施設の整備・充実」(37.1%)の割合が最も多く、次いで「子ども(小・中学生)の体力・運動能力の向上」(28.4%)、「高齢者のスポーツによる健康寿命の延伸」の割合(28.1%)が多くなりました。



3. 区等のスポーツイベントの参加状況について

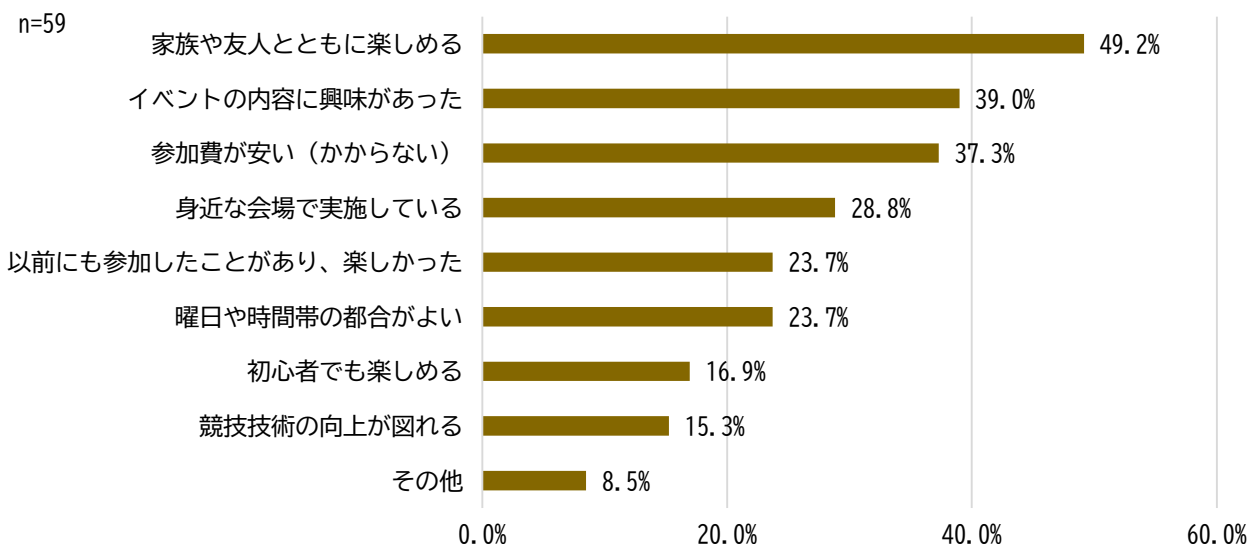
問13 あなたは、この1年間で区や体育協会主催のスポーツイベントに参加したことがありますか。参加には応援や観覧も含みます。(〇は1つ)

本調査では「参加したことがある」の回答者の割合が8.8%で、前回調査(10.0%)よりも1.2ポイント減っていました。また、本調査での「参加したことがない」の回答者の割合が89.6%で、前回調査(86.9%)よりも2.7ポイント増えています。



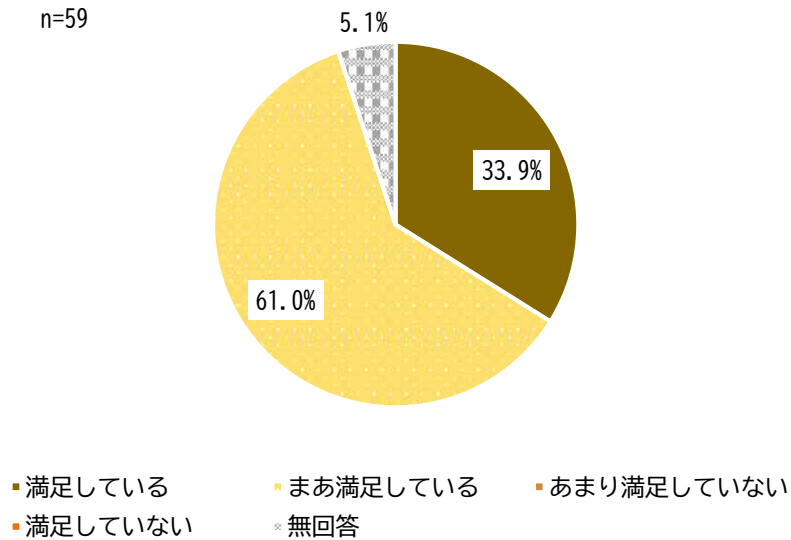
問14 【問13で「参加したことがある」に回答した方にお聞きします。】区や体育協会主催のスポーツイベントに参加したのはどのような理由からですか。(〇はいくつでも)

本調査では「家族や友人とともに楽しめる」(49.2%)と回答した割合が最も多く、次いで「イベントの内容に興味があった」(39.0%)、「参加費が安い(かからない)」(37.3%)となりました。



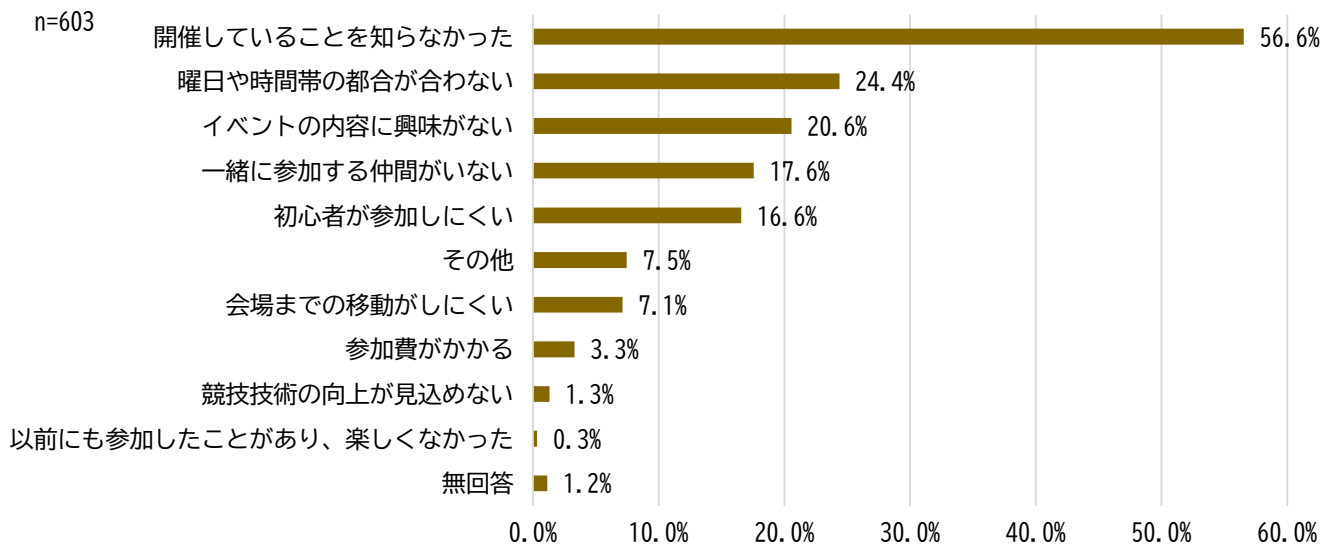
問15 【問13で「参加したことがある」に回答した方にお聞きします。】参加した区や体育協会主催のスポーツイベントについて、満足していますか。(〇は1つ)

本調査では、「あまり満足していない」、「満足していない」と回答した方はいませんでした。「満足している」「まあ満足している」を合わせた“満足している”の合計の割合が94.9%、それ以外は「無回答」でした。



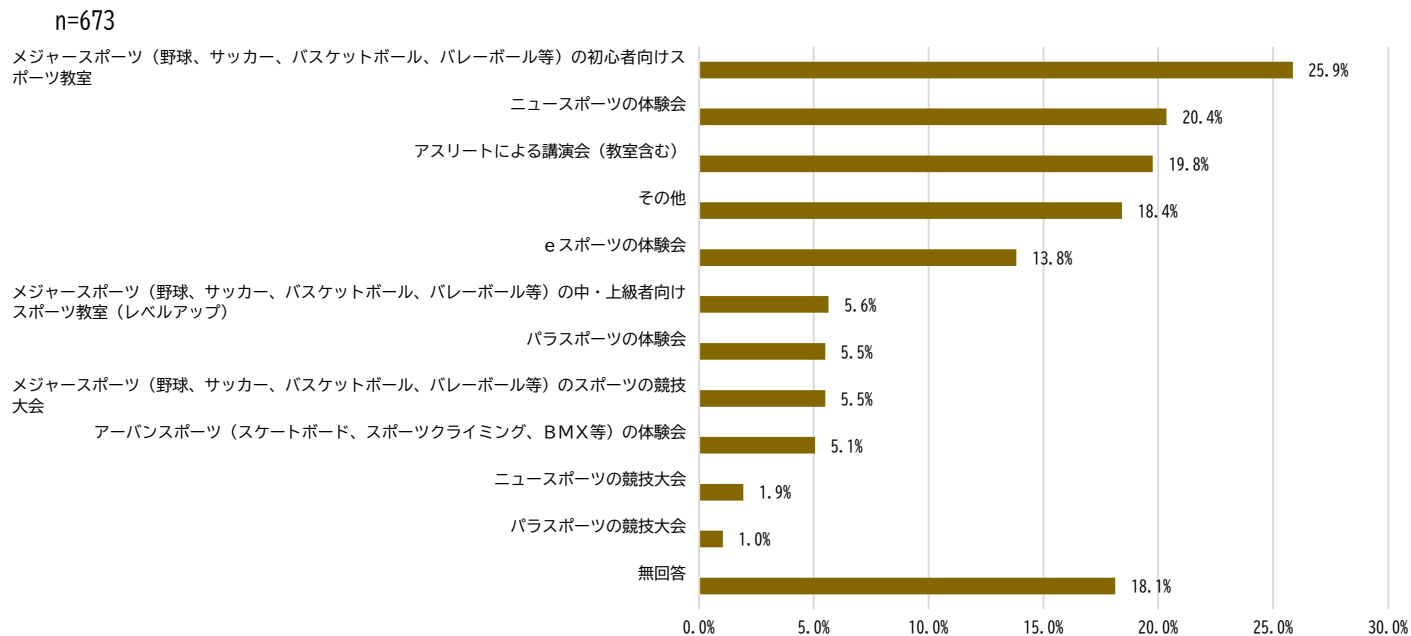
問16 【問13で「参加したことがない」に回答した方にお聞きします。区や体育協会主催のスポーツイベントに参加しなかったのはどのような理由からですか。(〇はいくつでも)

本調査では、「開催していることを知らなかった」(56.6%)と回答した割合が最も多く、次いで「曜日や時間帯の都合が合わない」(24.4%)、「イベントの内容に興味がない」(20.6%)でした。



問 17 あなたは、今後どのようなスポーツイベントに参加したいですか。

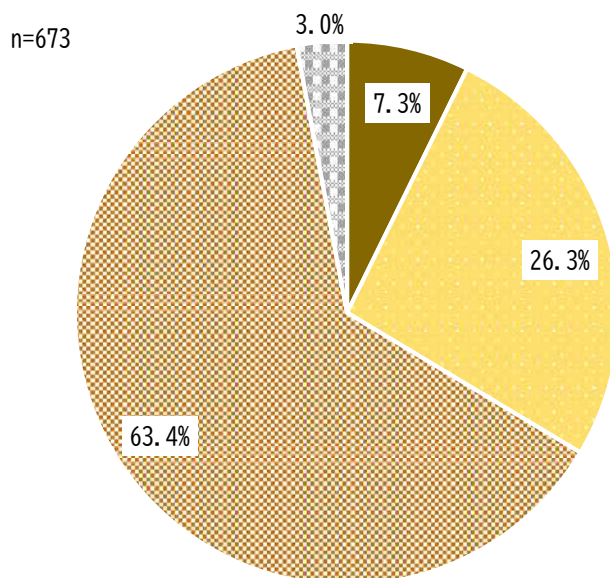
本調査では、「メジャースポーツ（野球、サッカー、バスケットボール、バレーボール等）の初心者向けスポーツ教室」（25.9%）と回答した割合が最も多く、次いで「ニュースポーツの体験会」（20.4%）、「アスリートによる講演会（教室含む）」（19.8%）となりました。



4. スポーツを支える活動について

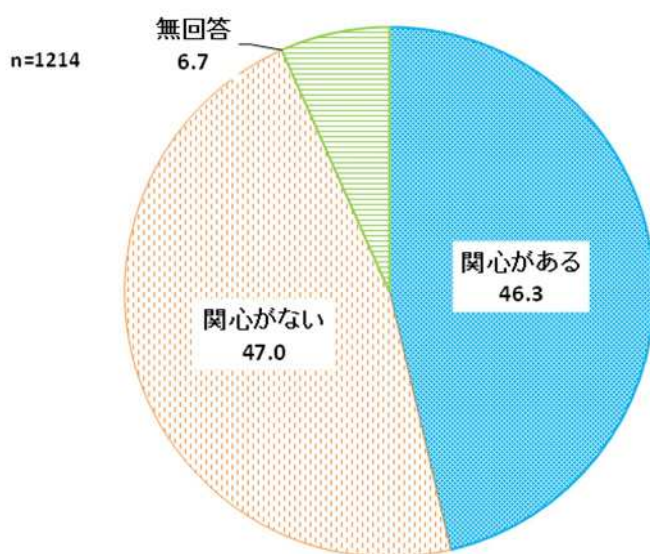
問 18 あなたは、スポーツや運動の指導・審判、スポーツイベントのボランティア等のスポーツを支えるボランティアに関心や参加経験がありますか。

本調査の回答割合について、「関心があり、参加したことがある」が7.3%、「関心はあるが、参加したことがない」が26.3%、「関心はない（参加したことがない）」が63.4%となりました。



- 関心があり、参加したことがある
- 関心はあるが、参加したことがない
- ※ 関心はない（参加したことがない）
- ※ 無回答

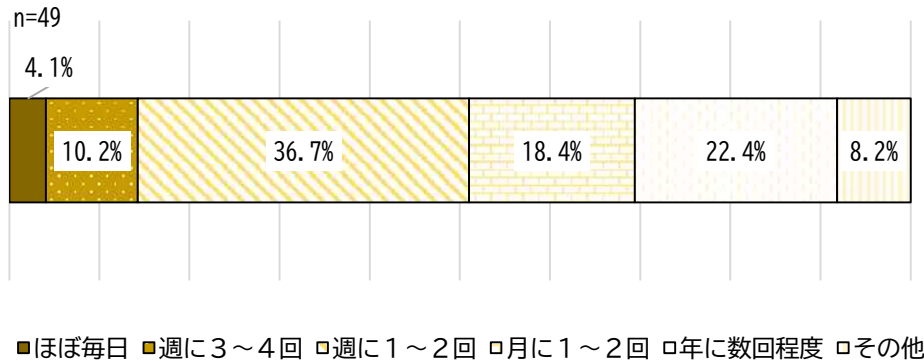
【参考】前回調査における「あなたは、ボランティア活動に関心がありますか。（○は1つ）」という設問に対して、「関心がある」と回答した割合が46.3%、「関心がない」と回答した割合が「47.0%」となりました。



出典：平成27年荒川区民スポーツ意識調査

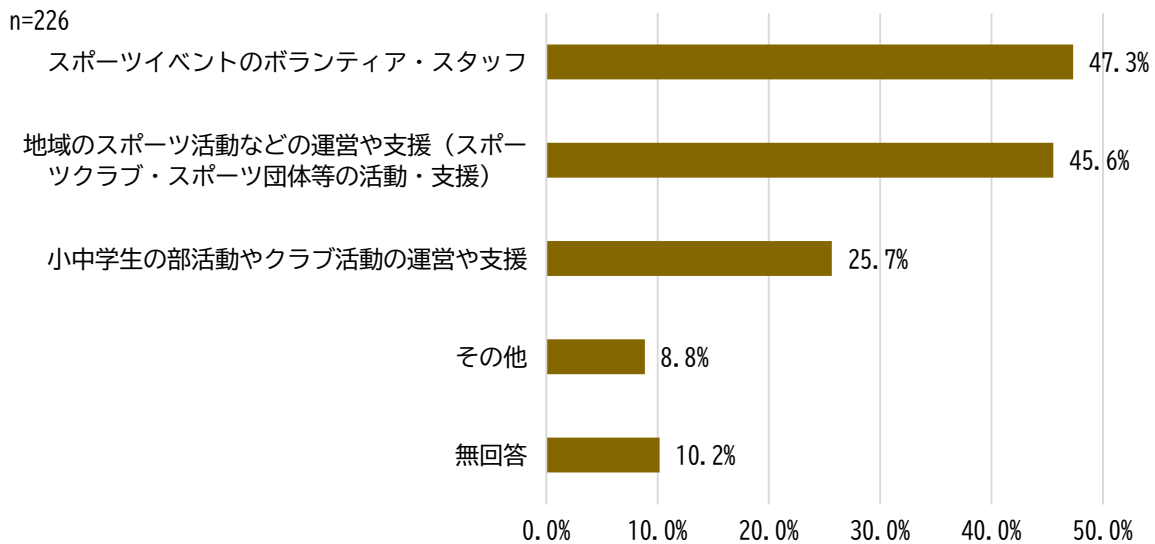
問19 【問18で「関心があり、参加したことがある」と回答した方にお聞きします。あなたが参加されたスポーツを支えるボランティア活動の頻度はどの程度になりますか。

本調査では「週に1～2回」(36.7%)と回答した割合が最も多く、次いで「年に数回程度」(22.4%)、「月に1～2回」(18.4%)となりました。



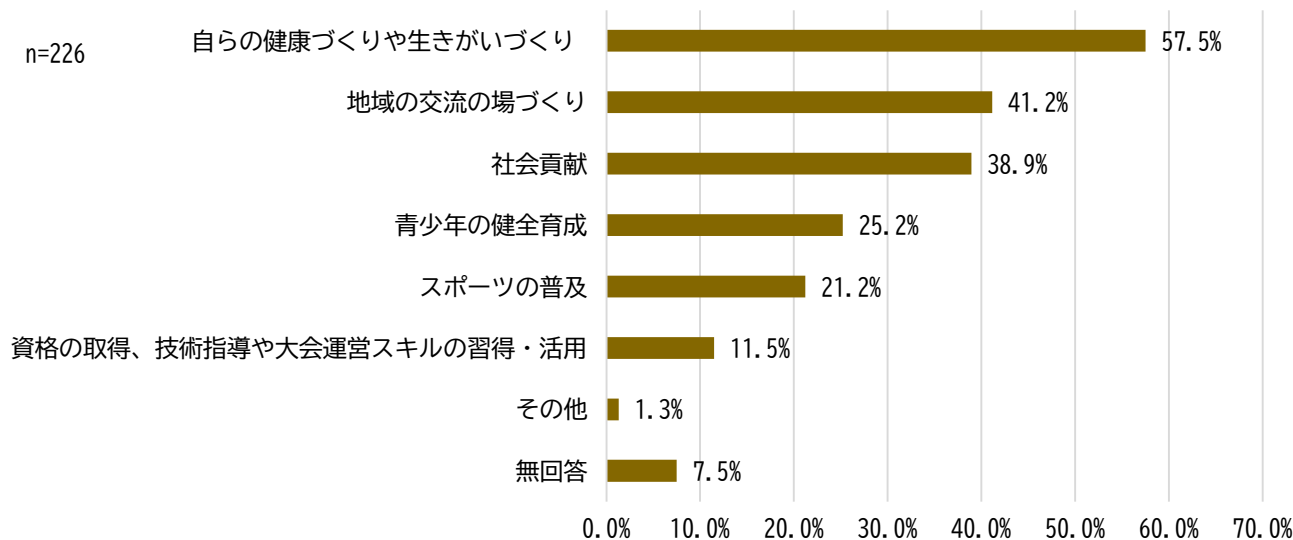
問20 【問18で「関心があり、参加したことがある」、「関心はあるが、参加したことがない」のいずれかに回答した方にお聞きします。あなたは、どのようなスポーツを支える活動に参加していますか、また、参加してみたいと思いますか。(〇はいくつでも)

本調査では、「スポーツイベントのボランティアスタッフ」(47.3%)と回答した割合が最も多く、次いで「地域のスポーツ活動などの運営や支援(スポーツクラブ・スポーツ団体等の活動・支援)」(45.6%)、「小中学生の部活動やクラブ活動の運営や支援」(25.7%)となりました。



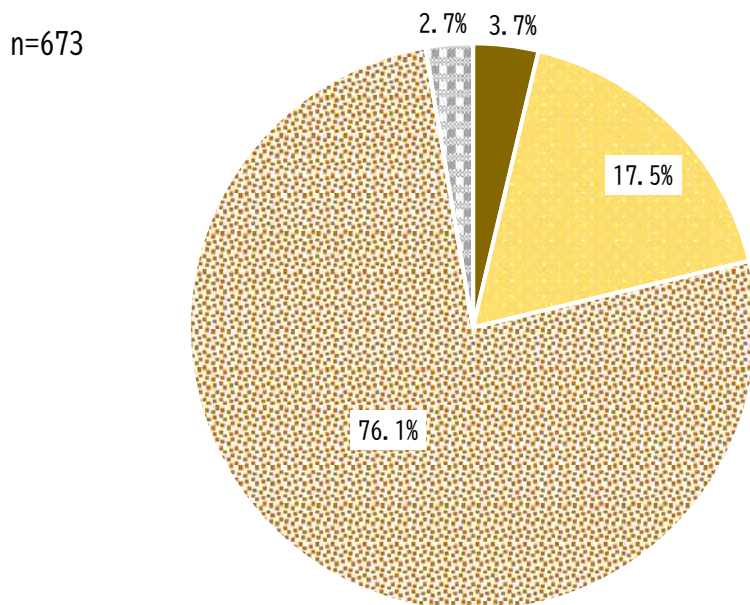
問 21 【問 18 で「関心があり、参加したことがある」、「関心はあるが、参加したことがない」のいずれかに回答した方にお聞きします。あなたは、どのような目的でスポーツを支える活動に参加していますか、また、参加してみたいと思いますか。(〇はいくつでも)

本調査では、「自らの健康づくりや生きがいづくり」(57.5%)と回答した割合が最も多く、次いで「地域の交流の場づくり」(41.2%)、「社会貢献」(38.9%)となりました。



問 22 あなたは、「スポーツ推進委員」を知っていますか。(〇は1つ)

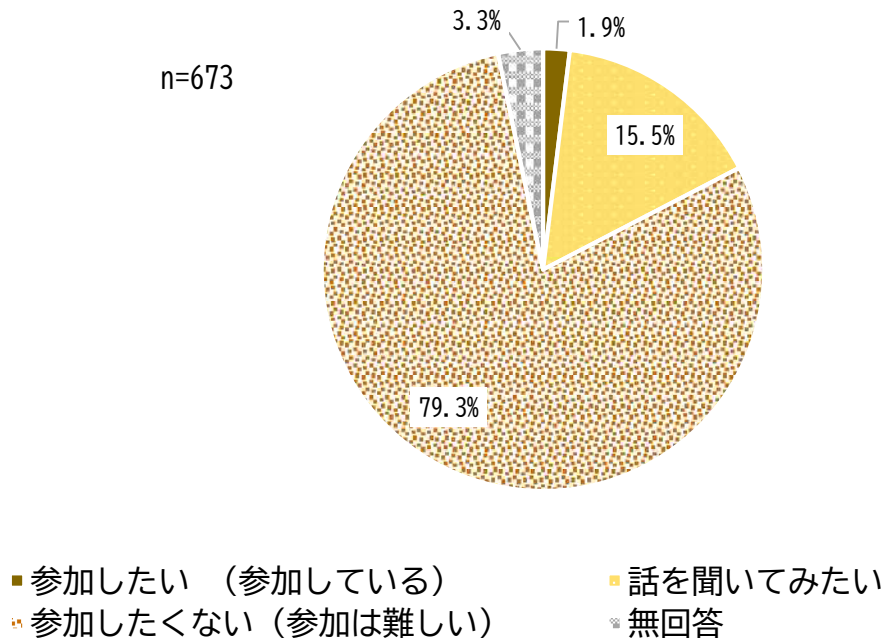
本調査の回答割合について、「活動内容について知っている」が3.7%、「名前は聞いたことがある」が17.5%、「知らない」が76.1%となりました。



■ 活動内容について知っている ■ 名前は聞いたことがある ▨ 知らない □ 無回答

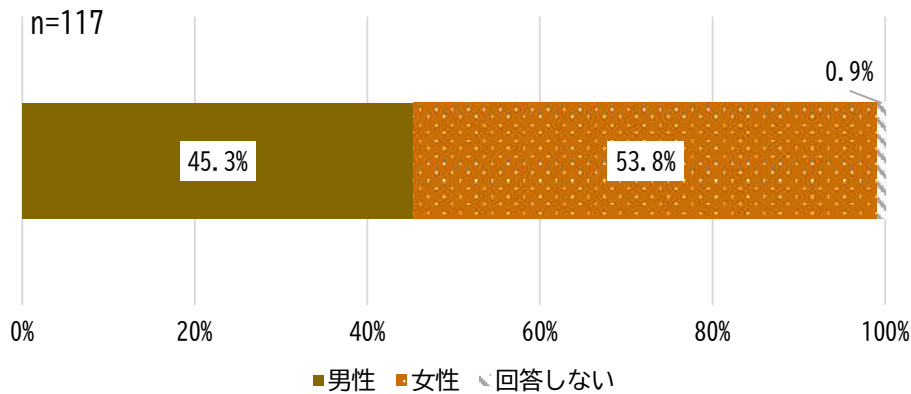
問 23 あなたは、地域のスポーツ活動の担い手として、「スポーツ推進委員」に参加したいと思いますか。(〇は1つ)

本調査の回答割合については、「参加したい(参加している)」が1.9%、「話を聞いてみたい」が15.5%、「参加したくない」が79.3%となりました。

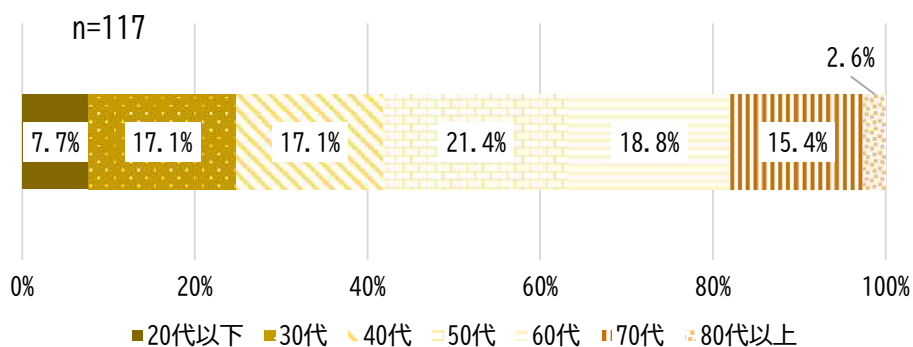


問 23 で「参加したい(参加している)」、「話を聞いてみたい」のいずれかを回答した方の属性は次のようになりました。

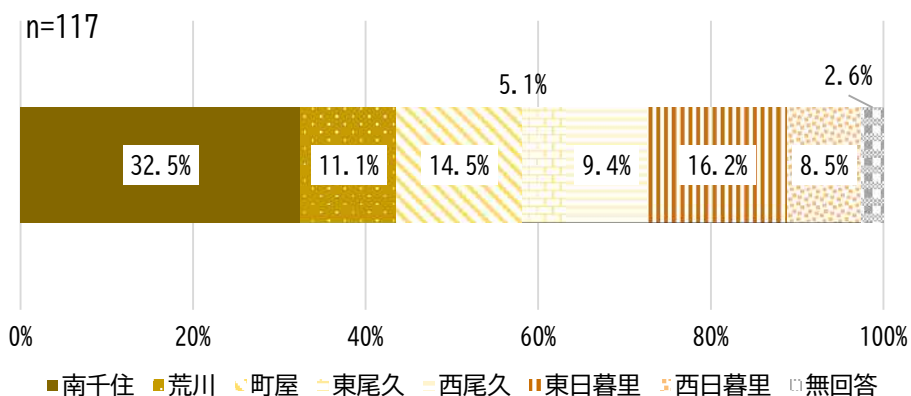
男女別の割合は、男性が45.3%、女性が53.8%、「回答しない」が0.9%となりました。



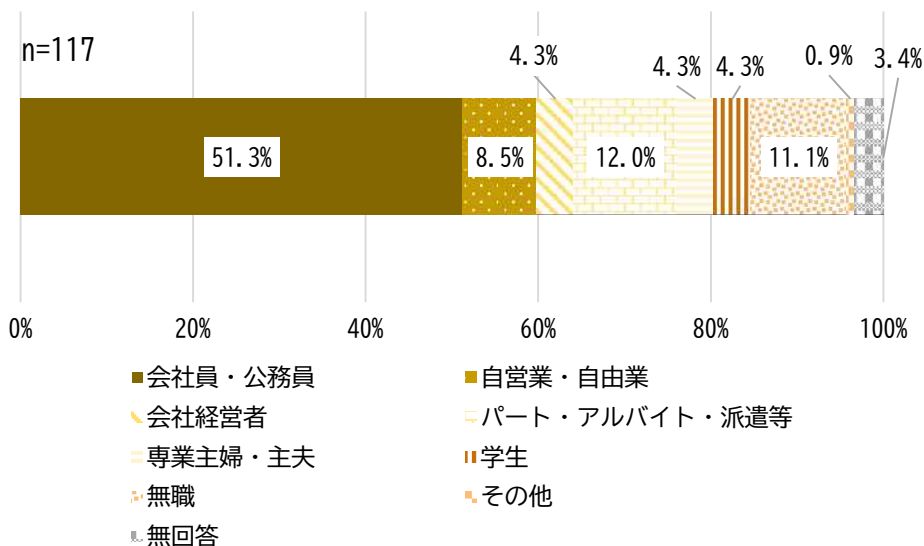
年齢別の割合は、50代(21.4%)が最も多く、次いで、60代(18.8%)、30代と40代(17.1%)となりました。



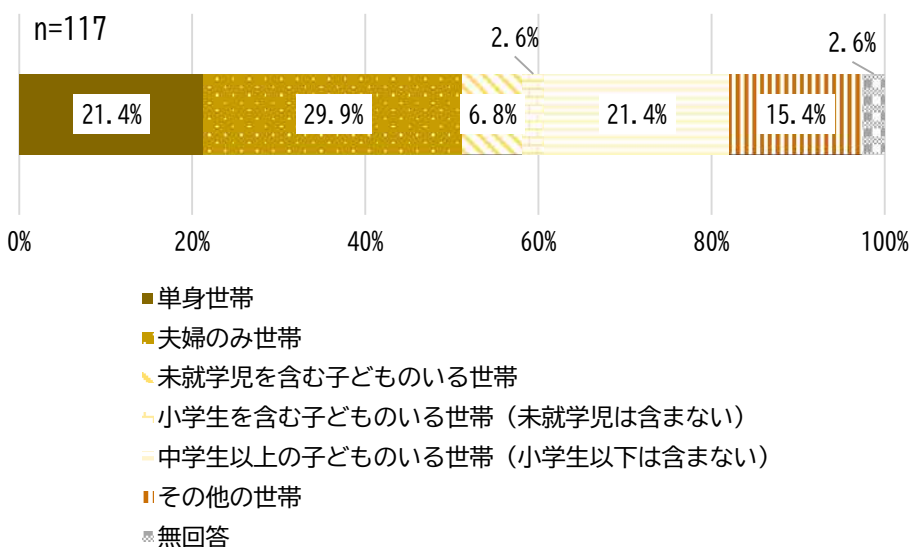
居住地域別の割合は、南千住（32.5%）が最も多く、次いで、東日暮里（16.2%）、町屋（14.5%）となりました。



職業別の割合は、「会社員・公務員」（51.3%）が最も多く、次いで「パート・アルバイト・派遣等」（12.0%）、「無職」（11.1%）となりました。

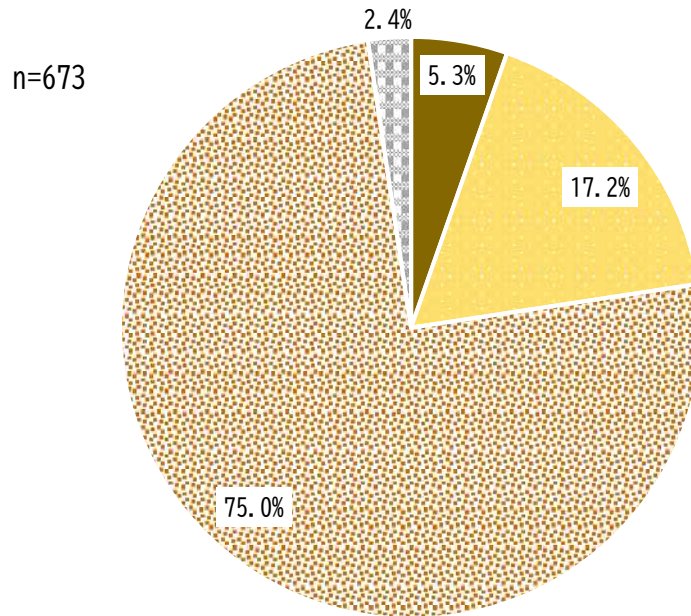


世帯構成別の割合は、「夫婦のみ世帯」（29.9%）が最も多く、次いで「単身世帯」と「中学生以上の子どものいる世帯（小学生以下は含まない）」（21.4%）、「その他の世帯」（15.4%）となりました。



問 24 あなたは、「荒川区体育協会」を知っていますか。(○は1つ)

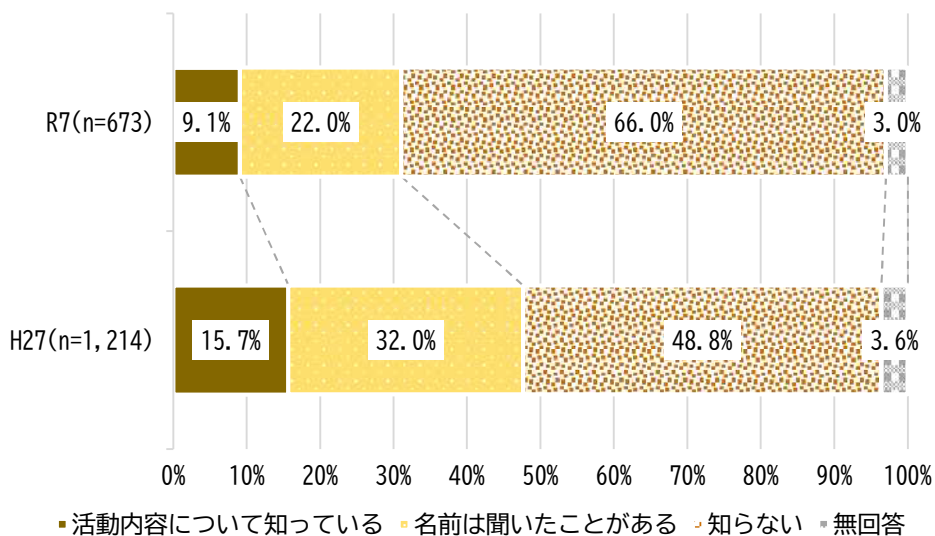
本調査での回答割合は、「活動内容について知っている」が5.3%、「名前は聞いたことがある」が17.2%、「知らない」が75.0%となりました。



- 活動内容について知っている
- 名前は聞いたことがある
- 知らない
- 無回答

問 25 あなたは、「地域スポーツクラブ」を知っていますか。(○は1つ)

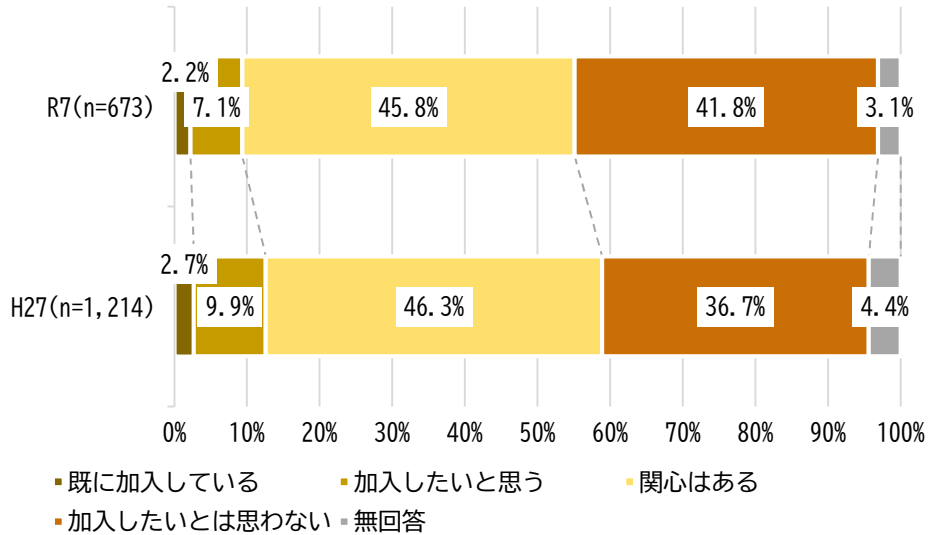
本調査での「活動内容について知っている」の回答割合は9.1%となり、前回調査(15.7%)と比べ6.6ポイント減りました。また、本調査での「名前は聞いたことがある」の回答割合は22.0%となり、前回調査(32.0%)と比べ、10.0ポイント減りました。さらに、本調査での「知らない」の回答割合は66.0%となり、前回調査(48.8%)と比べ、17.2ポイント増えました。



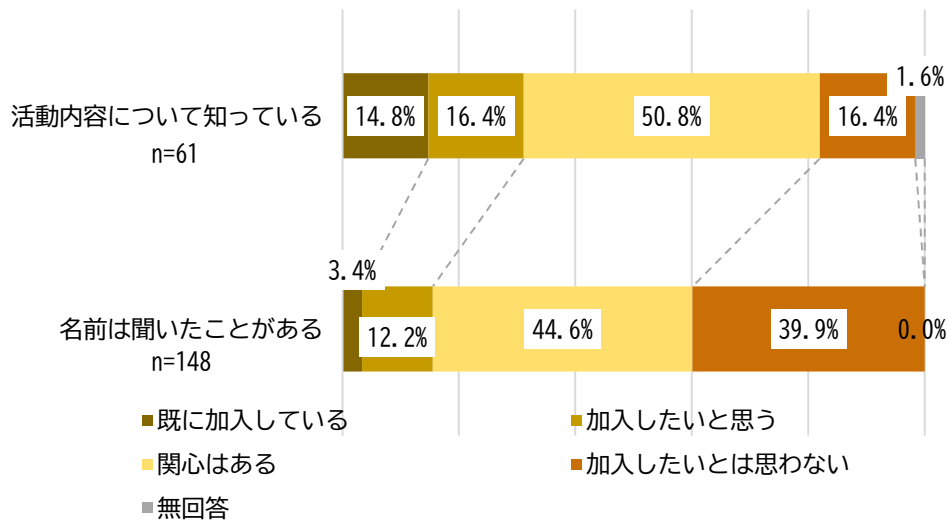
- 活動内容について知っている
- 名前は聞いたことがある
- 知らない
- 無回答

問 26 あなたは、「地域スポーツクラブ」が身近にあれば、加入したいと思いますか。(〇は1つ)

本調査での「既に参加している」の回答割合は2.2%となり、前回調査(2.7%)と比べ0.5ポイント減り、「参加したいと思う」の回答割合は7.1%で、前回調査(9.9%)と比べ、2.8ポイント減りました。また、本調査での「関心はある」の回答割合は45.8%となり、前回調査(46.3%)と比べ、0.5ポイント減りました。さらに、本調査での「参加したいと思わない」の回答割合は41.8%となり、前回調査(36.7%)と比べ、5.1ポイント増えました。



【地域スポーツクラブを知っている人の加入への関心状況】

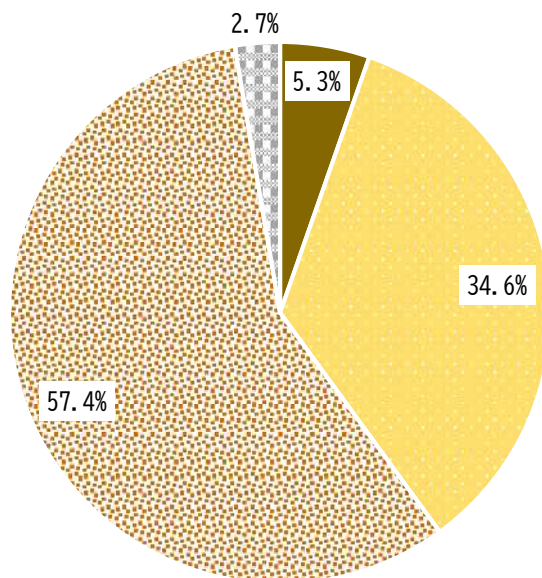


5. パラスポーツについて

問 27 あなたはパラスポーツに関心や参加経験がありますか。参加には応援や観覧も含みます。(〇は1つ)

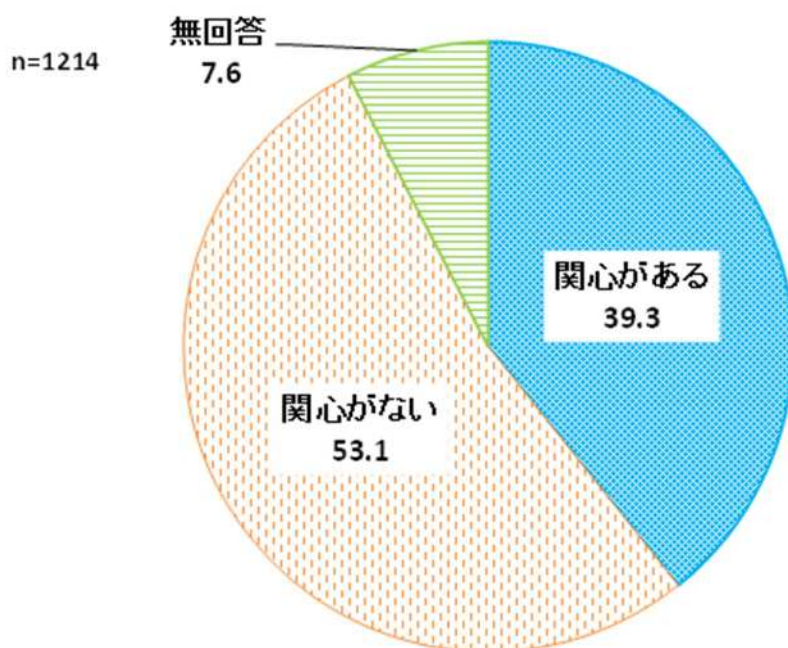
本調査での回答者の割合については、「関心があり、参加したことがある」が5.3%、「関心はあるが、参加したことがない」が34.6%、「関心はない(参加したことがない)」が57.4%となりました。

n=673



- 関心があり、参加したことがある
- 関心はあるが、参加したことがない
- 関心はない(参加したことがない)
- ※ 無回答

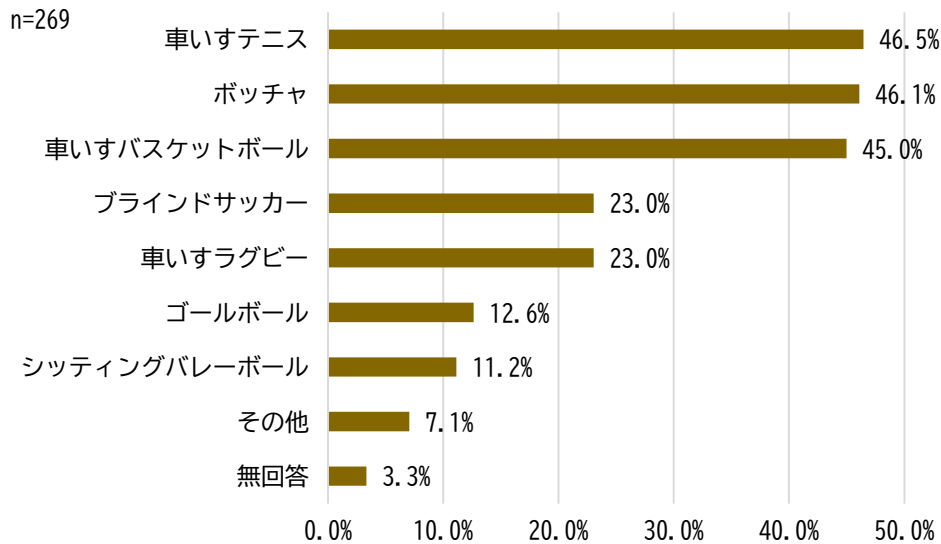
【参考】前回調査における「あなたは、障がい者スポーツに関心がありますか。〇は1つ」という設問に対して、「関心がある」が39.3%、「関心がない」が53.1%となりました。



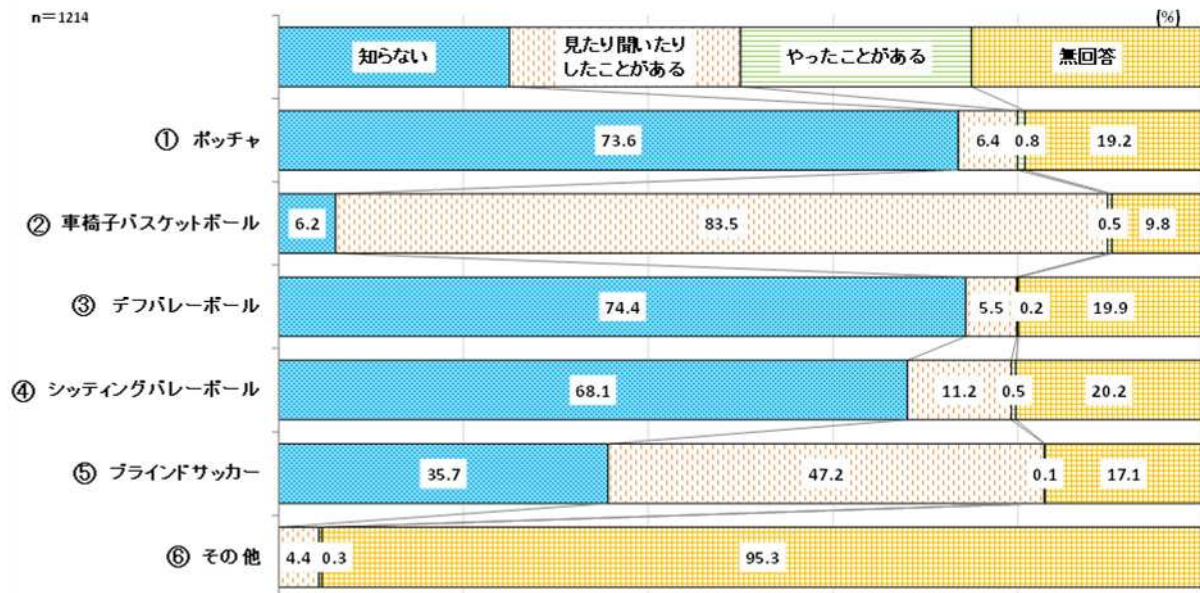
出典：平成27年荒川区民スポーツ意識調査

問 28 【問 27 で「関心があり、参加したことがある」、「関心はあるが、参加したことがない」のいずれかに回答した方にお聞きします。】
 関心のあるパラスポーツの種目を教えてください。(〇はいくつでも)

本調査での回答割合は、「車いすテニス」(46.5%) が最も多く、次いで「ボッチャ」(46.1%)、車いすバスケットボール(45.0%) となりました。



【参考】前回調査における「あなたは、障がい者スポーツを知っていますか。知らない、見たり聞いたりしたことがある、やったことがある、いずれかを①～⑥までそれぞれについてお答えください。」という設問に対する回答は次のとおりでした。

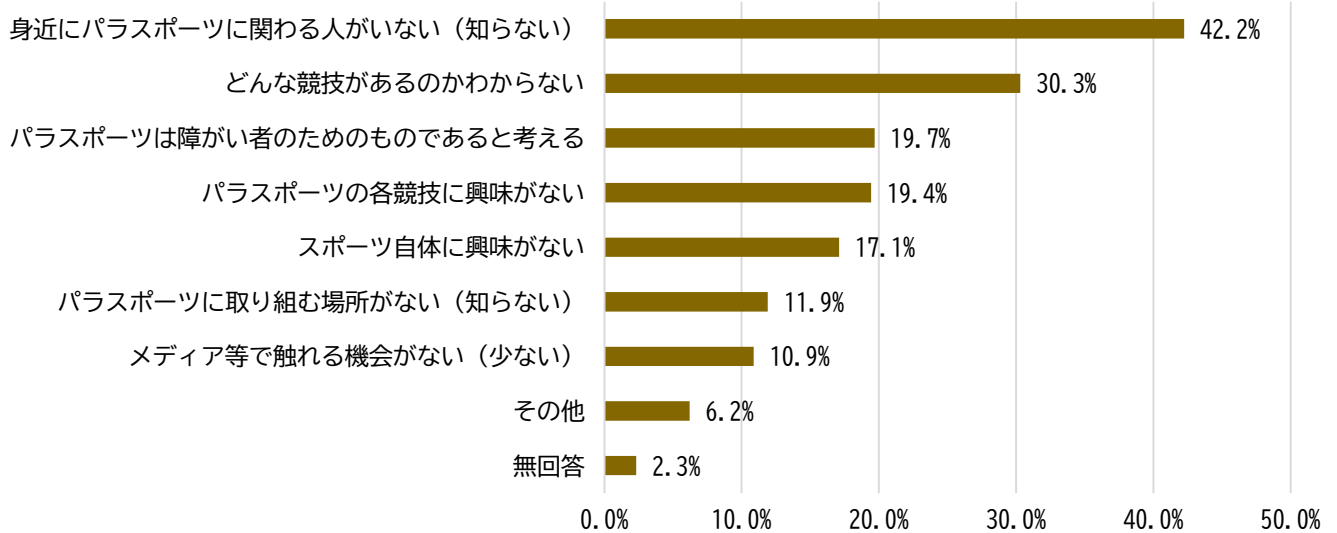


出典：平成27年荒川区民スポーツ意識調査

問 29 【問 27 で「関心はない（参加したことがない）」に回答した方にお聞きします。
パラスポーツに関心がない理由を教えてください。（〇はいくつでも）

本調査の回答割合は、「身近にパラスポーツに関わる人がいない（知らない）」（42.2%）が最も多く、次いで「どんな競技があるのかわからない」（30.3%）、「パラスポーツは障がい者のためのものであると考える」（19.7%）となりました。

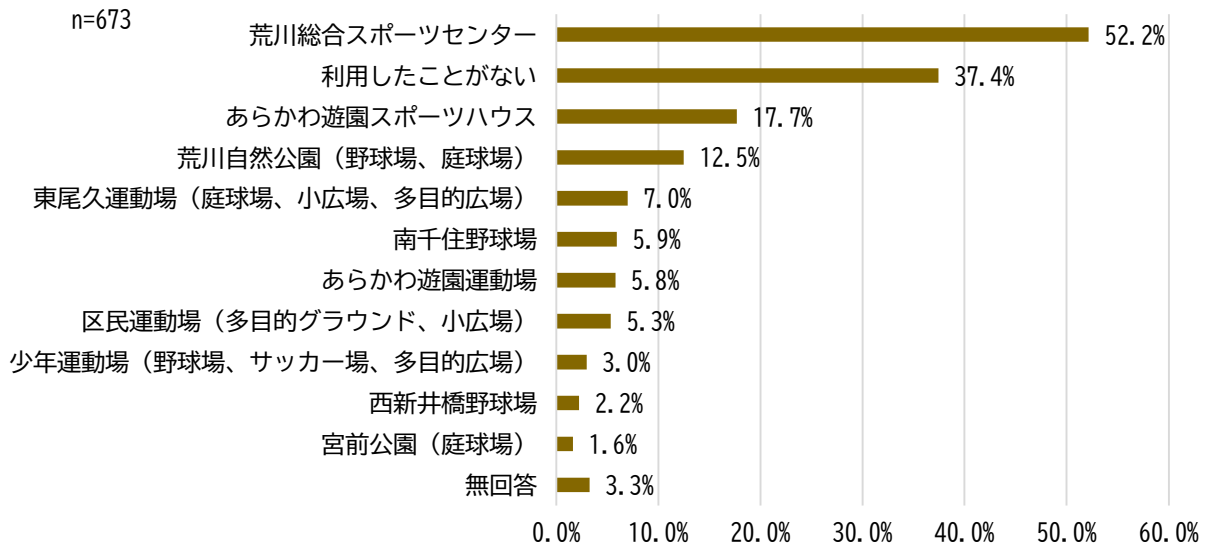
n=386



6. 区立スポーツ施設について

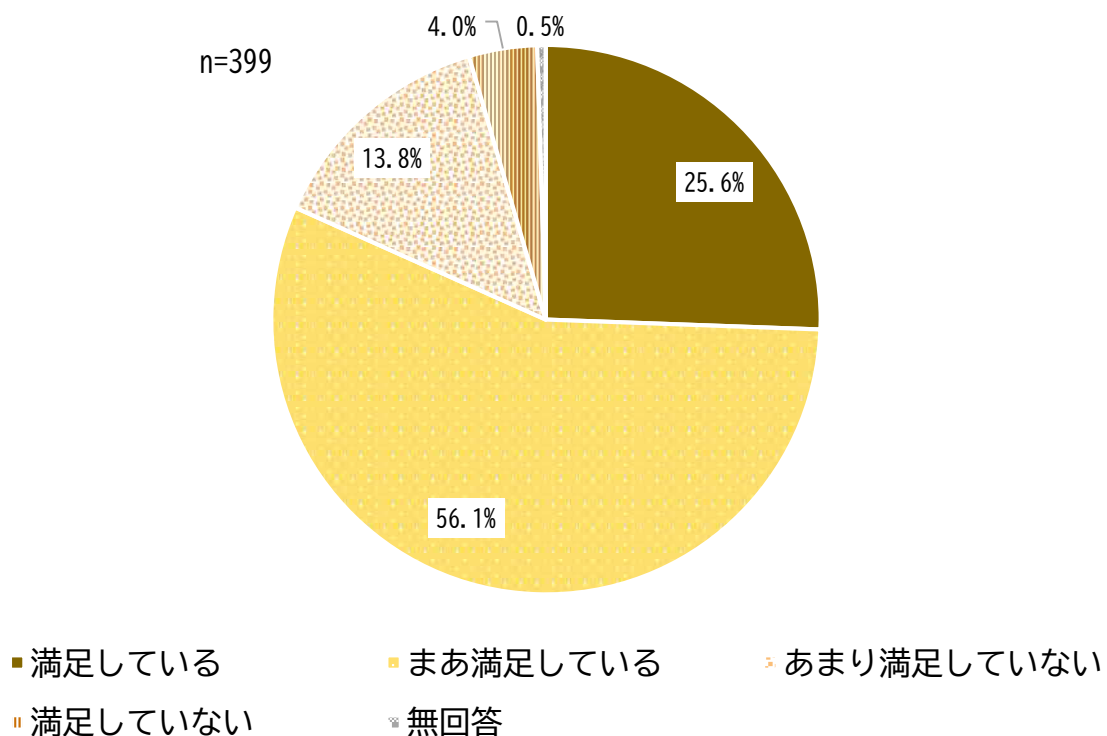
問 30 あなたは、以下の区立スポーツ施設を利用したことがありますか。(○はいくつでも)

本調査の回答割合は、「利用したことがない」と回答した方以外のなかでは、「荒川総合スポーツセンター」(52.2%) が最も多く、次いで「あらかわ遊園スポーツハウス」(17.7%)、「荒川自然公園(野球場、庭球場)」(12.5%) となりました。



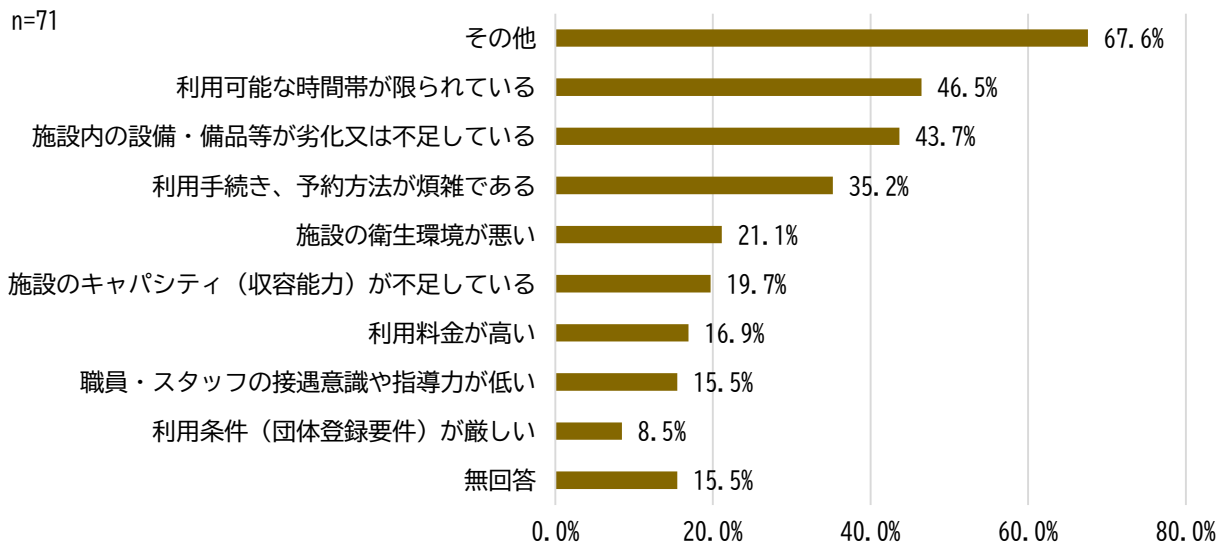
問 31 【問 30 で「荒川総合スポーツセンター」～「宮前公園(庭球場)」に回答した方にお聞きします。】利用したスポーツ施設(問 30 で回答したスポーツ施設)について満足していますか。(○は1つ)

本調査の回答割合は、「満足している」「まあ満足している」の合計“満足している”は81.7%、「あまり満足していない」「満足していない」の合計“満足していない”は17.8%となりました。



問 32 【問 31 で「あまり満足していない」、「満足していない」のいずれかに回答した方にお聞きします。】区立スポーツ施設で、どのような点に不満がありますか。(〇はいくつでも)

本調査の回答割合は、「その他」(67.6%)が最も多く、次いで「利用可能な時間帯が限られている」(46.5%)、「施設内の設備・備品等が劣化又は不足している」(43.7%)となりました。

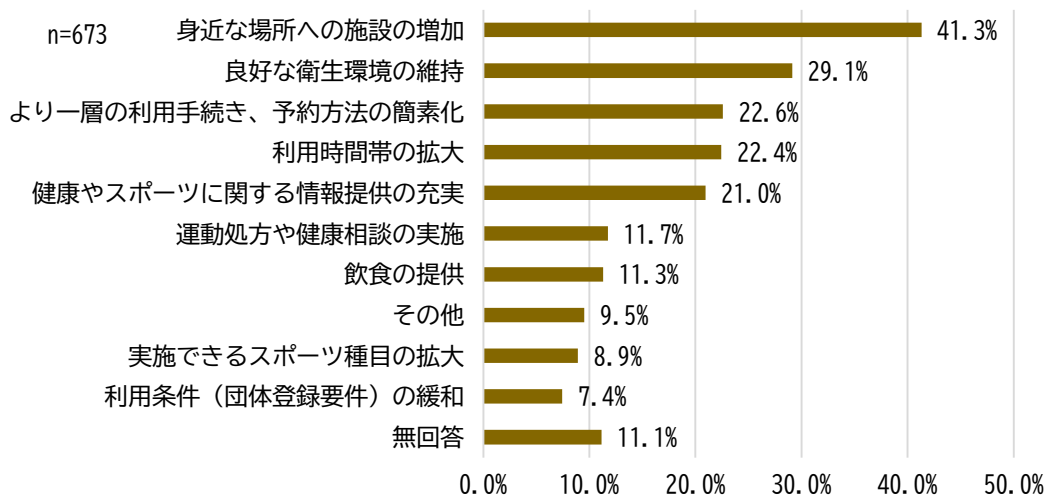


「その他」と回答した方は主に次のような意見を記述していました。

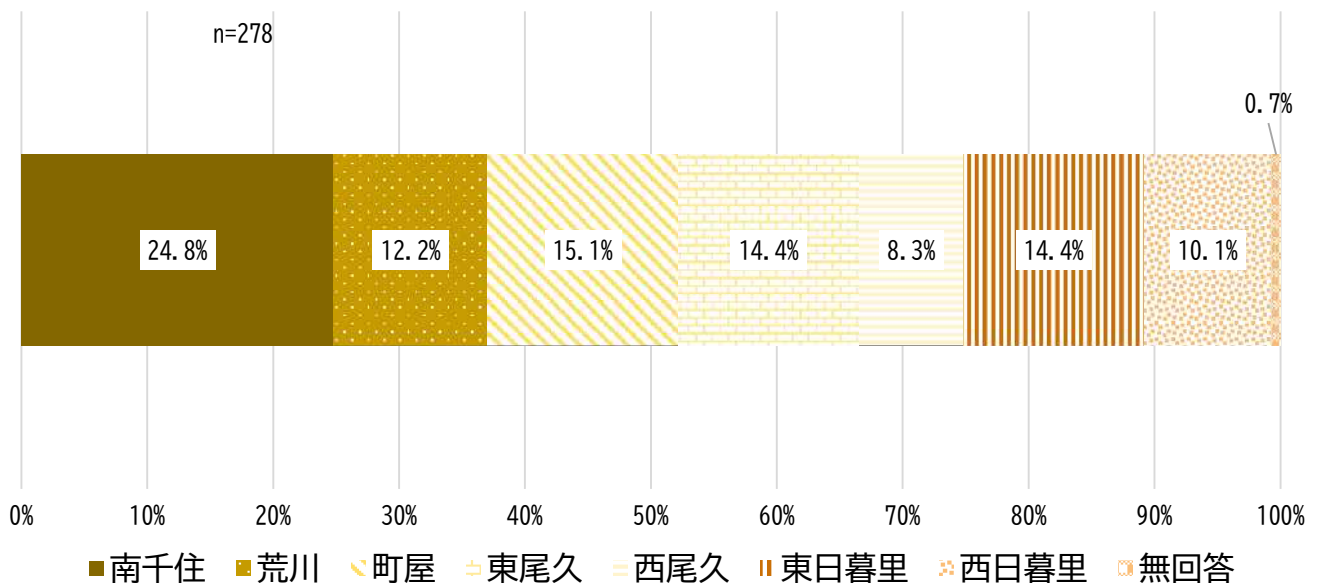
- ・施設へのアクセスが悪い。
- ・施設の存在自体を知らなかった。
- ・日本語が分からない。
- ・乳幼児の居場所がない。
- ・近隣区の施設のほうが良いのでそちらを使用している。
- ・ジムを使いたいけどどの機材が体のどの部位に効くのかを書いていて欲しい。簡単なトレーニング順番とかあったら良い。

問 33 あなたは、今後区立スポーツ施設に対して、望むことはありますか。(〇はいくつでも)

本調査の回答割合は、「身近な場所への施設の増加」(41.3%)が最も多く、次いで「良好な衛生環境の維持」(29.1%)、「より一層の利用手続き、予約方法の簡素化」(22.6%)となりました。



「身近な場所への施設の増加」と回答した方の居住場所の割合は、南千住(24.8%)が最も多く、次いで町屋(15.1%)、東尾久と東日暮里(いずれも14.4%)となりました。



問 34 問 33 で「実施できるスポーツ種目の拡大」と回答した方にお聞きします。拡大を希望する具体的なスポーツ種目があれば、記入してください（自由記述）。

【球技やチームスポーツ】

テニス、フットサル、ラグビー、卓球、ゴルフ、3on3 のバスケ、ゴルフ練習、スカッシュ、ゲートボール

【ロープを使うスポーツ】

縄跳び(自前で)

【体操・ダンス・トレーニング、走る、歩く、泳ぐ】

ヨガ、アルゼンチンタンゴ、社交ダンス、バレエ、古典舞踊、高齢でもできる筋トレ、ピラティス、高齢者用ジム（バランスボールを使って）、ふまねっと、年齢問わず参加できるもの（ダンスなど）、フラダンス、有酸素運動、水泳、プールによるアクアビクスや水泳（どなたでも健康維持ができるから）、マシンピラティス

【武道】

剣道、柔道、太極拳、合気道

【野外・アウトドアスポーツ】

釣り、パラグライダー、パラセーリング

【車輪のあるスポーツ】

サイクリング

【アーバンスポーツ】

ボルダリング

【パラスポーツ】

パラスポーツの体験会、ボッチャ

【ニュースポーツ】

モルック

【その他】

輪投げ、簡単に取り組める運動、主婦が参加できる身体作り

【施設設備の充実に関するご意見】

ランニング用のトラック、ジョギングコース、バッティングセンター、壁打ちできるところがほしい、バスケットボールゴールがあるバスケットコートがほしい、マシンの充実

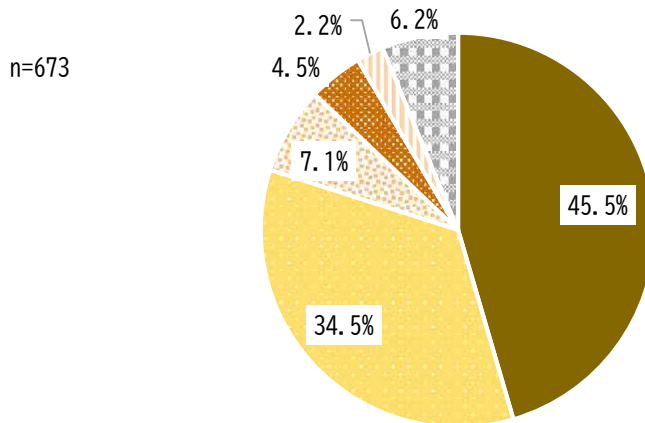
【その他ご意見】

近くのふれあい館に行って見たいと思いますが月の発行しているカレンダーを見る時はすでにいっぱい
の状態です。では次の年度変わりにと思い待っているとほぼいっぱいの状態でいつ申し込みをするのかわかりません。老人センターの様に 1 年間入った人は交代するとか半年で次の人が入れるようにすると
かしてほしいものです。

7. 区立スポーツ水泳授業での活用について

問 35 荒川区において、老朽化した学校施設の建替え時に合わせて、区立スポーツ施設のプールで、一部の時間帯を学校の水泳授業で活用することについてどのようにお考えですか。(〇は1つ)

本調査では、「子ども達のために活用すべきである」「子ども達のために活用すべきであるが、一般利用への配慮が必要である」の割合の合計、“子ども達のために活用すべきである”は80.0%となりました。



- 子ども達のために活用すべきである
- 子ども達のために活用すべきであるが、一般利用への配慮が必要である
- 一般利用も考慮し、必要最小限の活用であればやむを得ない
- 水泳授業は学校内で行うべきである
- その他
- 無回答

8. あなたご自身について

問 36 あなたの性別について教えてください。(○は1つ)

選択肢	件数	割合
男性	284	42.2%
女性	367	54.5%
回答しない	9	1.3%
その他	0	0.0%
無回答	13	1.9%
計	673	100.0%

問 37 あなたの年齢を教えてください。(○は1つ)

選択肢	件数	割合
24歳以下	27	4.0%
25～29歳	27	4.0%
30～34歳	35	5.2%
35～39歳	44	6.5%
40～44歳	58	8.6%
45～49歳	72	10.7%
50～54歳	62	9.2%
55～59歳	54	8.0%
60～64歳	56	8.3%
65～69歳	38	5.6%
70～74歳	48	7.1%
75～79歳	69	10.3%
80歳以上	72	10.7%
無回答	11	1.6%
計	673	100.0%

問 38 あなたの住んでいる地域を教えてください。(○は1つ)

選択肢	件数	割合
南千住	164	24.4%
荒川	95	14.1%
町屋	88	13.1%
東尾久	94	14.0%
西尾久	68	10.1%
東日暮里	86	12.8%
西日暮里	67	10.0%
無回答	11	1.6%
計	673	100.0%

問 39 あなたの職業を教えてください。(○は1つ)

選択肢	件数	割合
会社員・公務員	265	39.4%
自営業・自由業	47	7.0%
会社経営者	20	3.0%
パート・アルバイト・派遣等	88	13.1%
専業主婦・主夫	70	10.4%
学生	24	3.6%
無職	135	20.1%
その他	11	1.6%
無回答	13	1.9%
計	673	100.0%

問 40 あなたの世帯について教えてください。(○は1つ)

選択肢	件数	割合
単身世帯	141	21.0%
夫婦のみ世帯	174	25.9%
未就学児を含む子どものいる世帯	59	8.8%
小学生を含む子どものいる世帯(未就学児は含まない)	42	6.2%
中学生以上の子どものいる世帯(小学生以下は含まない)	140	20.8%
その他の世帯	100	14.9%
無回答	17	2.5%
計	673	100.0%

問 41 スポーツや運動をする際に、あなた一人にかかる費用として、一月いくらまでであれば支出してもよいと思いますか。(〇は1つ)

選択肢	件数	割合
1,000 円未満	102	15.2%
1,000 円～3,000 円未満	189	28.1%
3,000 円～5,000 円未満	154	22.9%
5,000 円～1 万円未満	135	20.1%
1 万円～3 万円未満	56	8.3%
3 万円以上	13	1.9%
無回答	24	3.6%
計	673	100.0%

Ⅱ 荒川区民スポーツ意識調査（障がい者）

<調査の概要>

1 調査の目的

区民のスポーツや運動に関する意識、スポーツ活動の実態、区スポーツ施策に関する意見や要望を伺い、令和7年度に策定する「荒川区スポーツ推進プラン」の参考資料とすることを目的としています。

2 調査対象

区内在住の18歳以上から、1,000名を無作為抽出

3 調査期間

令和7年7月28日～令和7年8月15日

4 調査方法

郵送による配布・回収もしくはWEBによる回答

5 回収状況

配布数	回収数	回収率
1,000件	302件	30.2%

6 調査結果の表示方法

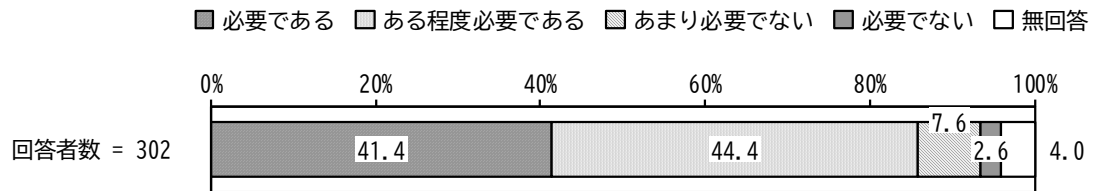
- ・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。

<調査結果>

1 スポーツに対する考え方について

問1 あなたは、幸福で豊かな生活を送るうえで、スポーツ活動（実施だけでなく、観戦、支援、スポーツイベント参加・開催を含むスポーツ活動全般）をどのようにお考えですか。
（○は1つ）

「必要である」「ある程度必要である」を合わせた“必要である”の割合が85.8%、「あまり必要でない」「必要でない」を合わせた“必要でない”の割合が10.2%となりました。

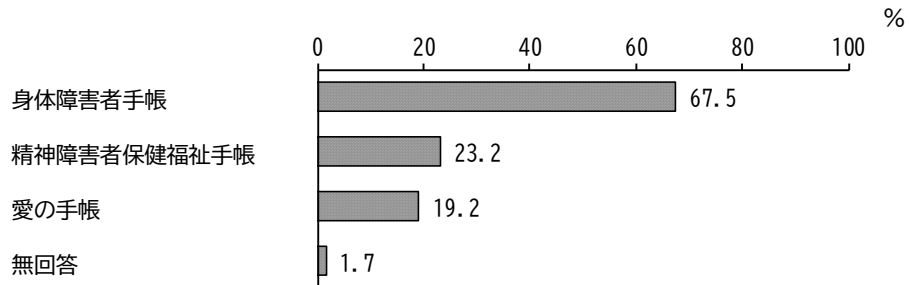


2 障がいの状況について

問2 あなたがお持ちの手帳はどれですか。(○はいくつでも)

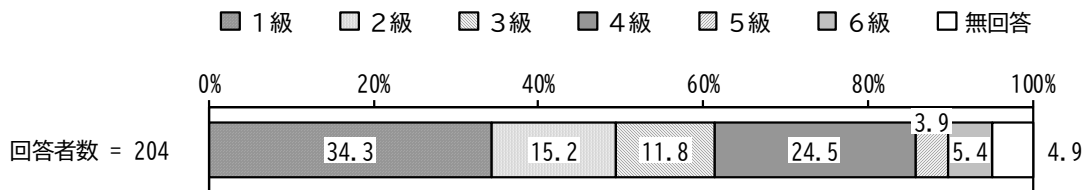
「身体障害者手帳」の割合が 67.5%、「精神障害者保健福祉手帳」の割合が 23.2%、「愛の手帳」の割合が 19.2%となりました。

回答者数 = 302



問3 【問2で「身体障害者手帳」に回答した方にお聞きします。】 お持ちの「身体障害者手帳」の等級を教えてください。(○は1つ)

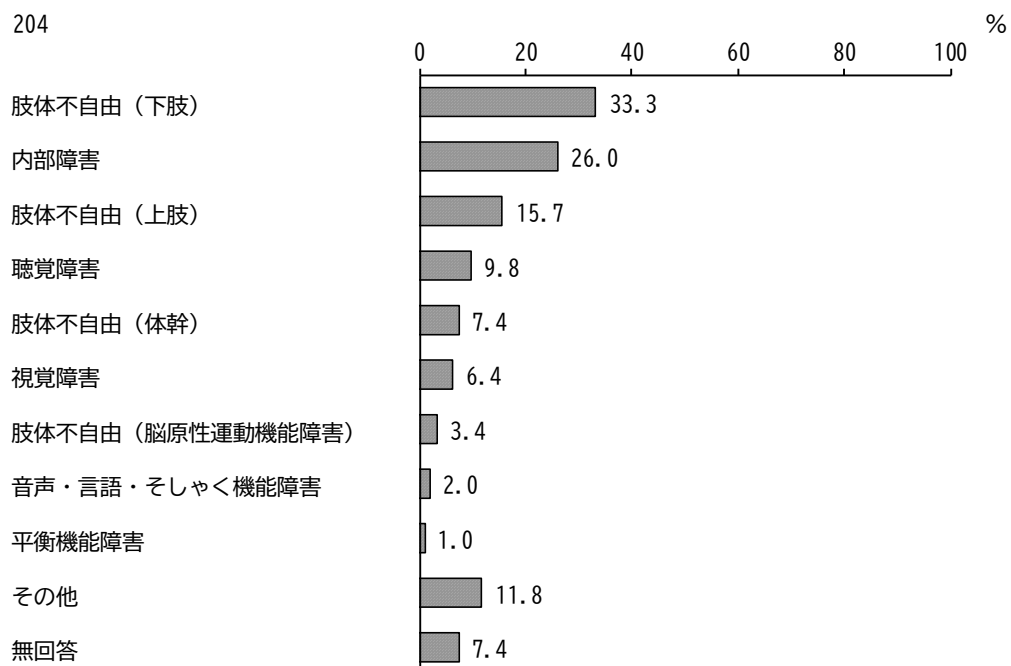
「1級」の割合が 34.3%と最も高く、次いで「4級」の割合が 24.5%、「2級」の割合が 15.2%となりました。



問3-1 【身体障害者手帳をお持ちの方にお聞きします】 障がいの種類を教えてください。(○はいくつでも)

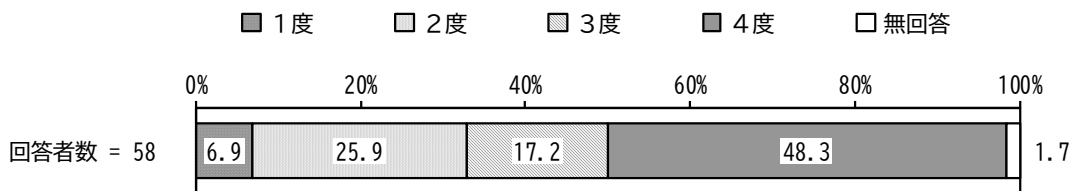
「肢体不自由（下肢）」の割合が 33.3%と最も高く、次いで「内部障害」の割合が 26.0%、「肢体不自由（上肢）」の割合が 15.7%となりました。

回答者数 = 204



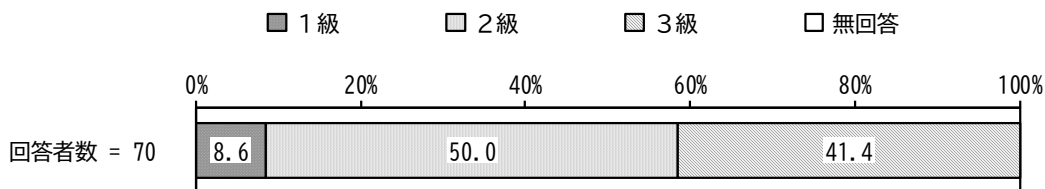
問4 【問2で「愛の手帳」に回答した方にお聞きします。
お持ちの「愛の手帳」の等級を教えてください。(○は1つ)

「4度」の割合が48.3%と最も高く、次いで「2度」の割合が25.9%、「3度」の割合が17.2%となりました。



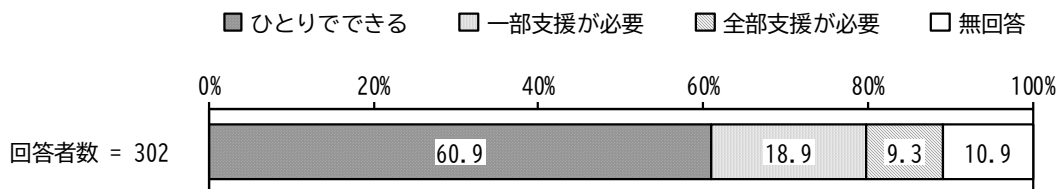
問5 【問2で「精神障害者保健福祉手帳」に回答した方にお聞きします。
お持ちの「精神障害者保健福祉手帳」の等級を教えてください。(○は1つ)

「1級」の割合が8.6%、「2級」の割合が50.0%、「3級」の割合が41.4%となりました。



問6 移動や外出を行う際の状況について、お伺いします。
建物に入るまでや建物の中の移動をどのように行っているか教えてください。
(○は1つ)

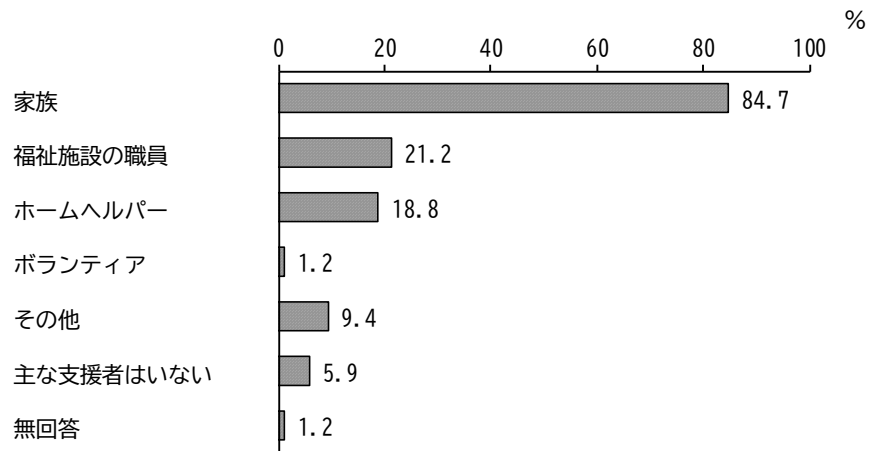
「ひとりでできる」の割合が60.9%、「一部支援が必要」の割合が18.9%、「全部支援が必要」の割合が9.3%となりました。



問7 【問6で「一部支援が必要」「全部支援が必要」に回答した方にお聞きします。】
移動や外出を行う際の、主な支援者を教えてください。(〇はいくつでも)

「家族」の割合が84.7%と最も高く、次いで「福祉施設の職員」の割合が21.2%、「ホームヘルパー」の割合が18.8%となりました。

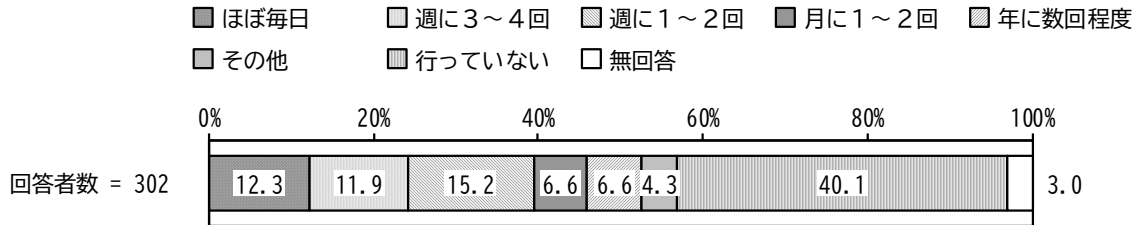
回答者数 = 85



3 スポーツの実施状況について

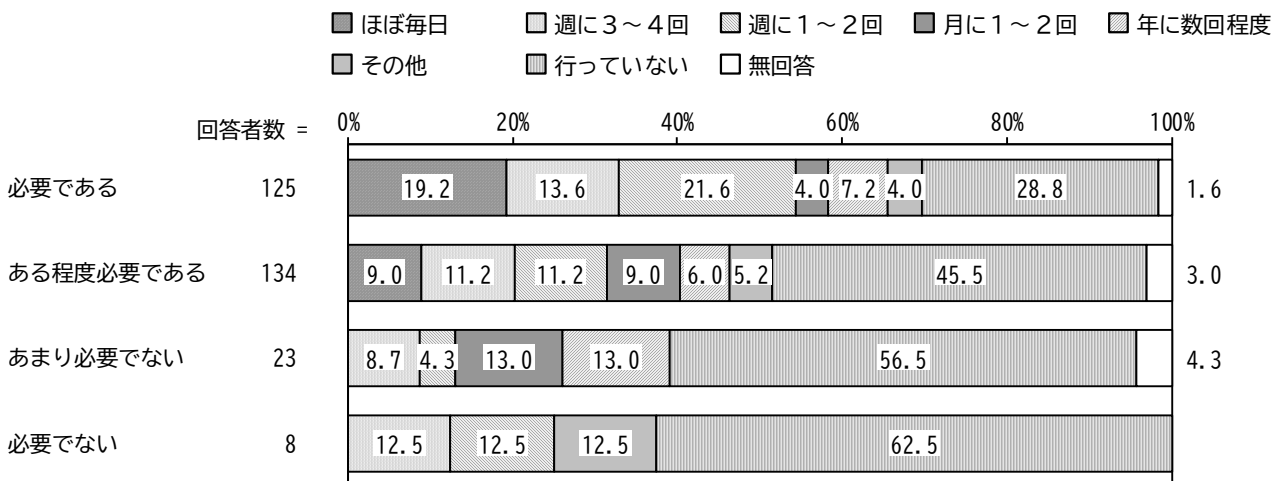
問8 あなたは、日ごろ、スポーツや運動をどのくらい行っていますか。(○は1つ)

「週に1～2回」の割合が15.2%と最も高く、次いで「ほぼ毎日」の割合が12.3%、「週に3～4回」の割合が11.9%となりました。



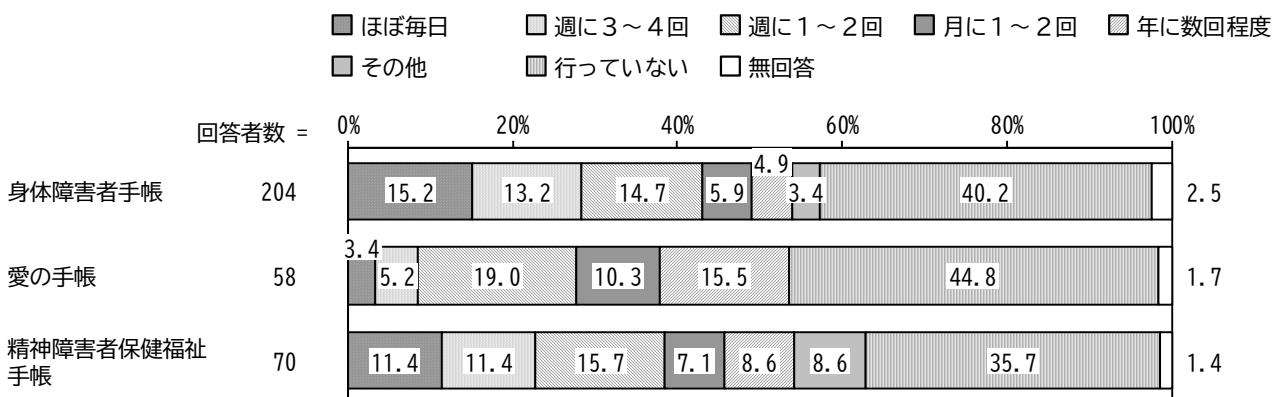
【スポーツに対する意識別】

スポーツに対する意識別にみると、『あまり必要でない』から『必要である』までスポーツに対する意識が高いほど“週1回以上”の割合が高くなりました。また、『あまり必要でない』で「週に1～2回」の割合が低くなりました。



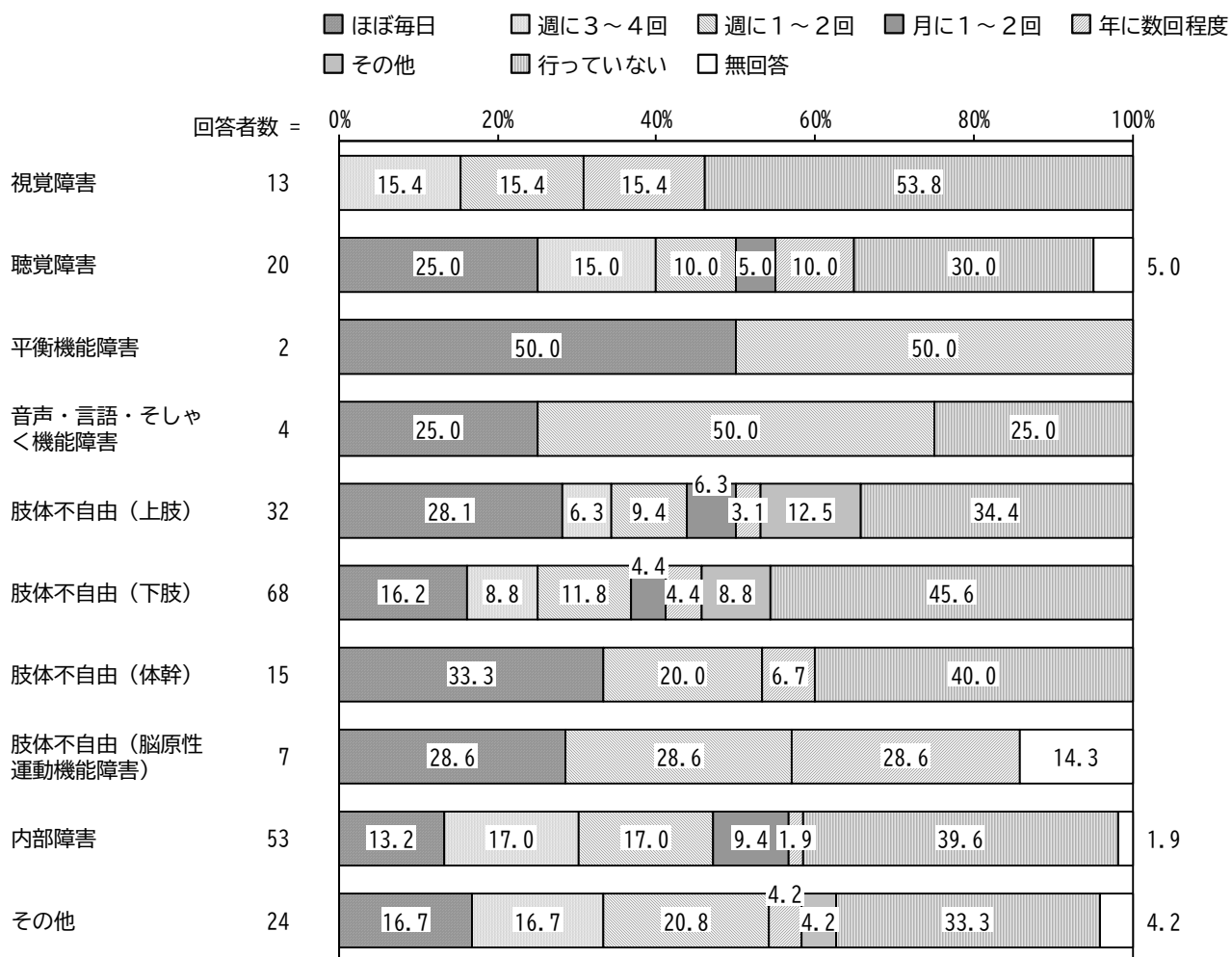
【手帳別】

手帳別にみると、愛の手帳で“週1回以上”の割合が低くなりました。



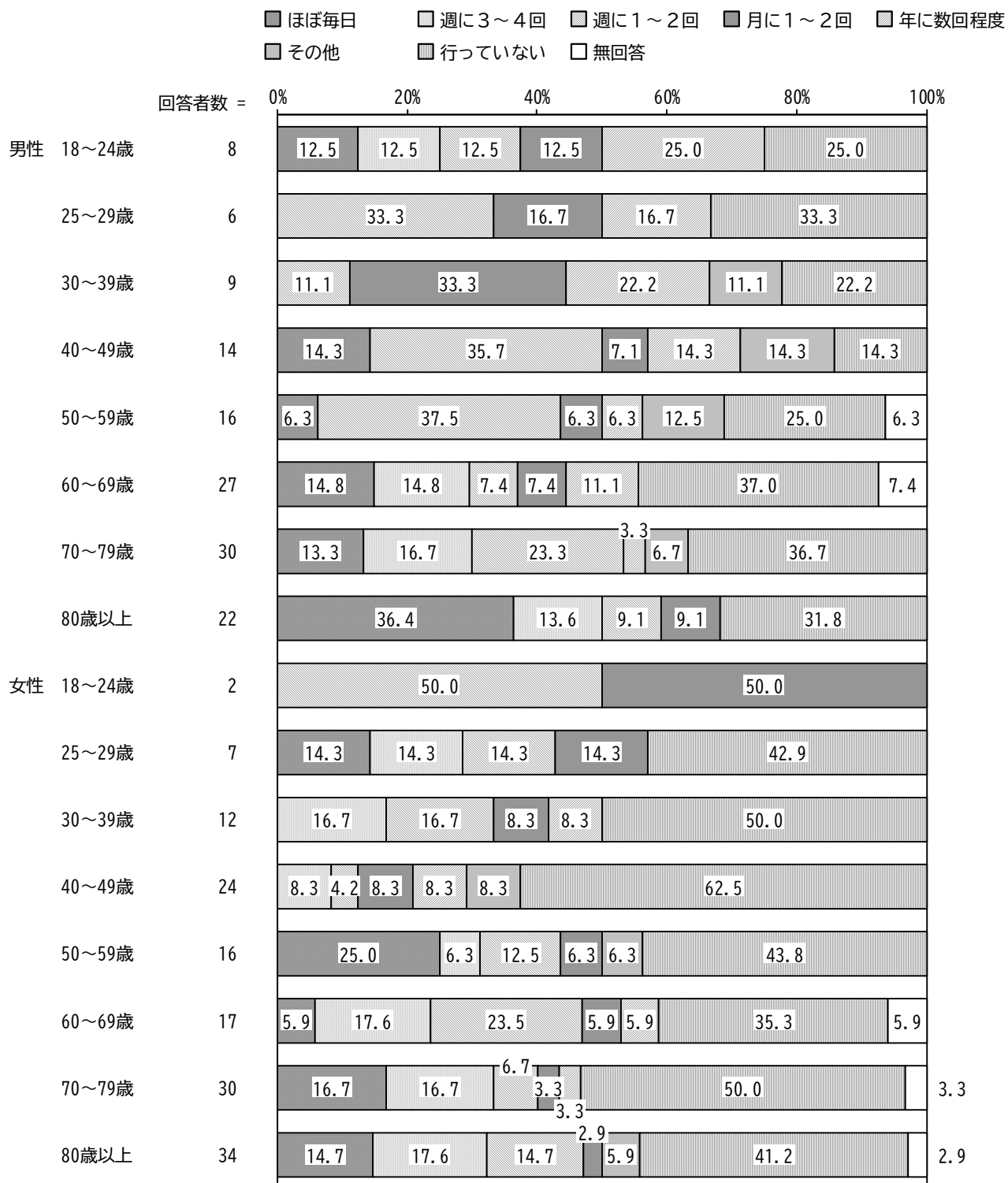
【障がい種別】

障がい種別にみると、肢体不自由（体幹）で“週1回以上”の割合が高くなりました。



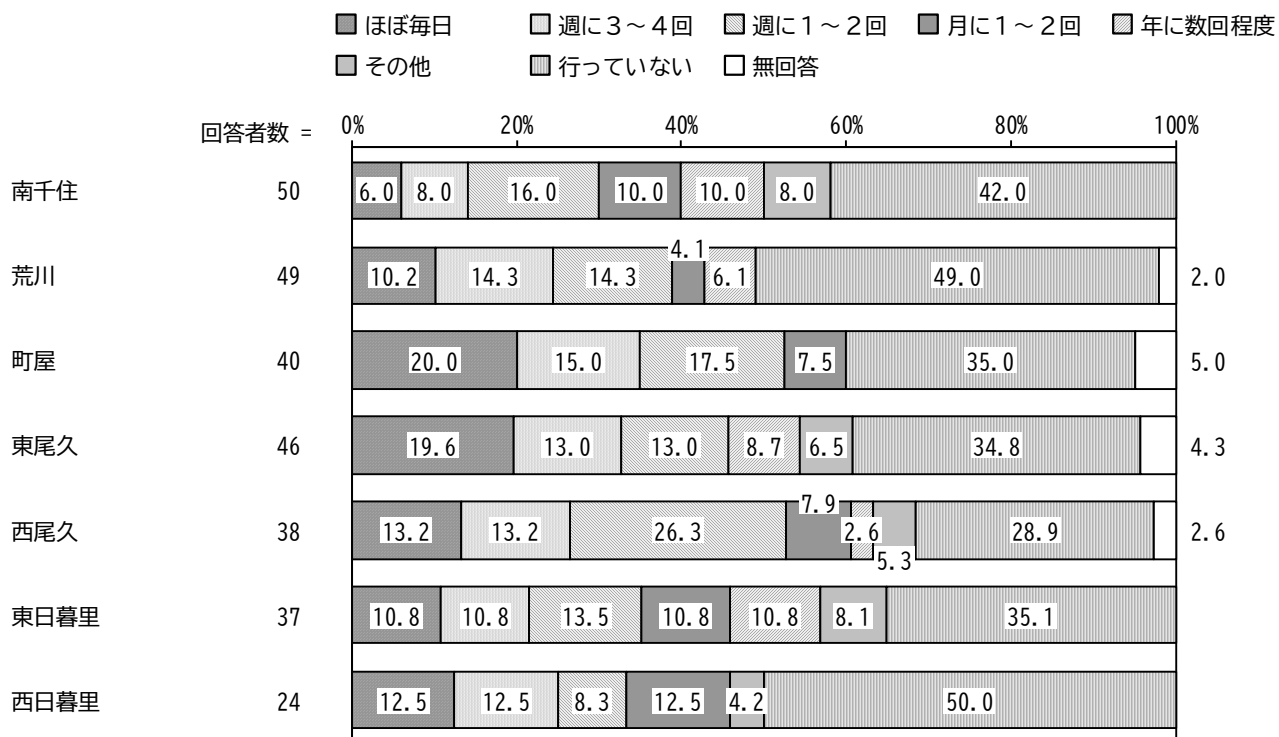
【性・年齢別】

性・年齢別にみると、女性では40～49歳から18～24歳まで年齢が下がるほど“週1回以上”の割合が高くなりました。また、男性80歳以上で「ほぼ毎日」の割合が高くなりました。



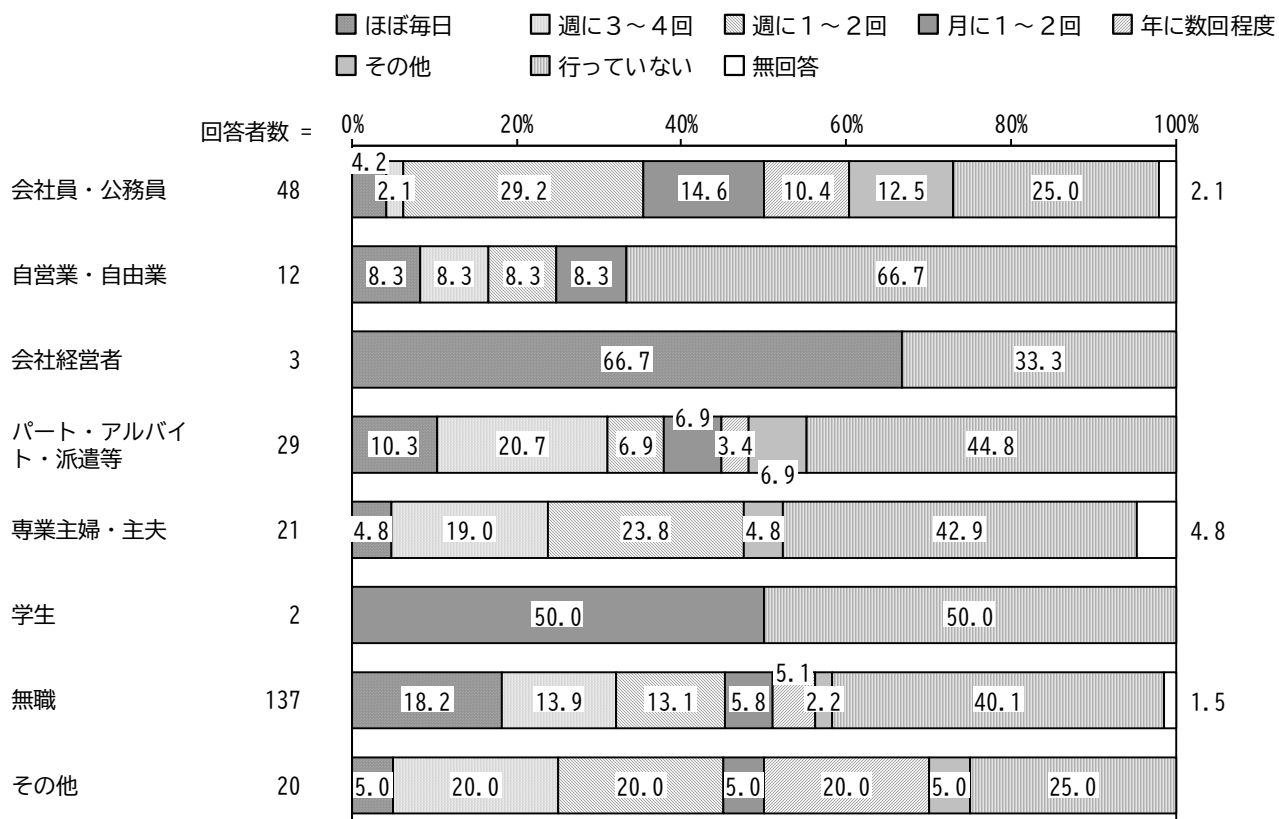
【居住地域別】

居住地域別にみると、町屋、西尾久で“週1回以上”の割合が高くなりました。



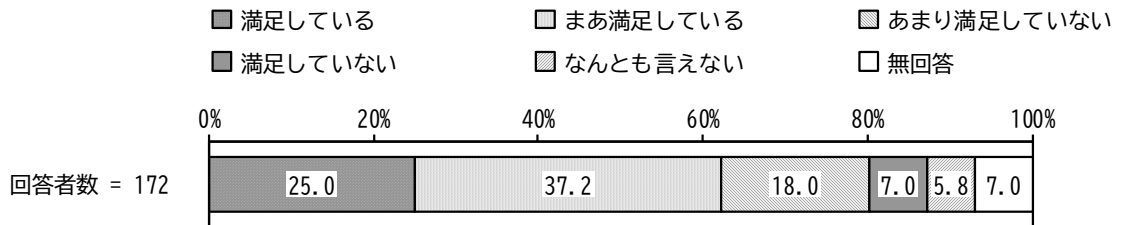
【職業別】

職業別にみると、自営業・自由業で“週1回以上”の割合が低くなりました。



問9 【問8で「ほぼ毎日」～「その他」のいずれかに回答した方にお聞きします。】
 あなたは、スポーツや運動を実施する頻度（問8で回答した頻度）について、満足していますか。（○は1つ）

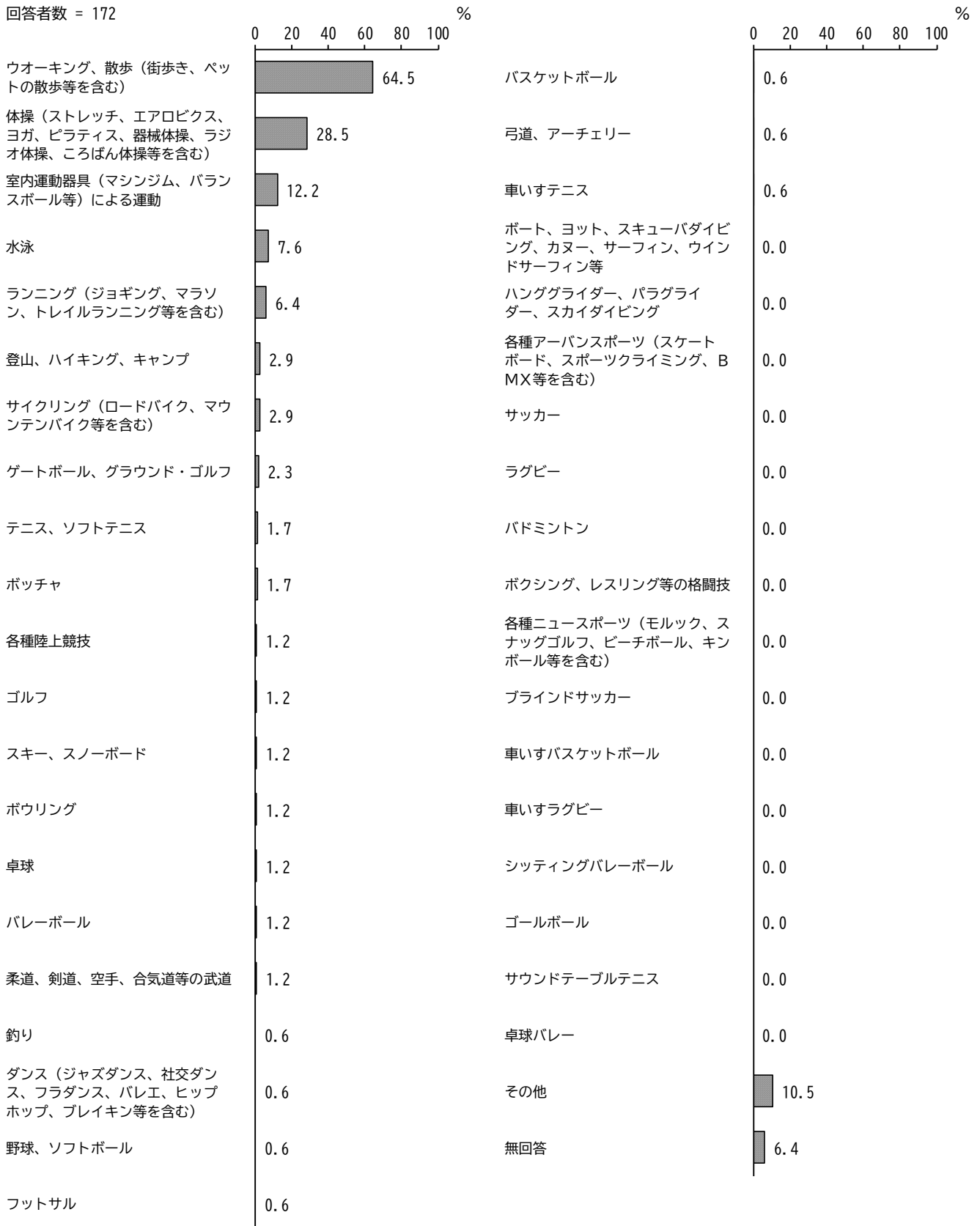
「満足している」「まあ満足している」を合わせた“満足している”の割合が62.2%、「あまり満足していない」「満足していない」を合わせた“満足していない”の割合が25.0%となりました。



問10 【問8で「ほぼ毎日」～「その他」のいずれかに回答した方にお聞きします。】
主にどのような運動を行っていますか。(〇は3つまで)

「ウォーキング、散歩（街歩き、ペットの散歩等を含む）」の割合が64.5%と最も高く、次いで「体操（ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、ころばん体操等を含む）」の割合が28.5%、「室内運動器具（マシンジム、バランスボール等）による運動」の割合が12.2%となりました。

回答者数 = 172



【スポーツに対する意識別】

スポーツに対する意識別にみると、全体の割合に対して、『必要である』から『あまり必要でない』までスポーツに対する意識が低いほど「体操（ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、こらばん体操等を含む）」「柔道、剣道、空手、合気道等の武道」の割合が高くなりました。また、『必要である』で「室内運動器具（マシンジム、バランスボール等）による運動」の割合が高くなりました。

単位：%

区分	回答者数(件)	ウォーキング、散歩(街歩き、ベットの散歩等を含む)	ランニング(ジョギング、マラソン、トレイルランニング等を含む)	各種陸上競技	体操(ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、こらばん体操等を含む)	室内運動器具(マシンジム、バランスボール等)による運動	水泳	ボート、ヨット、スキューバダイビング、カヌー、サーフィン、ウインドサーフィン等	ゴルフ	スキー、スノーボード	登山、ハイキング、キャンプ	ハンググライダー、パラグライダー、スカイダイビング	釣り	ボウリング
全体	172	64.5	6.4	1.2	28.5	12.2	7.6	0.0	1.2	1.2	2.9	0.0	0.6	1.2
必要である	87	64.4	9.2	1.1	27.6	16.1	9.2	0.0	1.1	1.1	3.4	0.0	0.0	0.0
ある程度必要である	69	65.2	4.3	1.4	30.4	5.8	7.2	0.0	1.4	0.0	2.9	0.0	1.4	1.4
あまり必要でない	9	55.6	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
必要でない	3	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3

区分	ゲートボール、グラウンド・ゴルフ	サイクリング(ロードバイク、マウンテンバイク等を含む)	ダンス(ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、ヒップホップ、ブレイキン等を含む)	各種アーバンスポーツ(スケートボード、スノーボード、クライミング、BMX等を含む)	野球、ソフトボール	サッカー	フットサル	ラグビー	テニス、ソフトテニス	卓球	バレーボール	バスケットボール	バドミントン	柔道、剣道、空手、合気道等の武道
全体	2.3	2.9	0.6	0.0	0.6	0.0	0.6	0.0	1.7	1.2	1.2	0.6	0.0	1.2
必要である	3.4	1.1	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	2.3	2.3	1.1	0.0	0.0	0.0
ある程度必要である	0.0	5.8	1.4	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0	1.4
あまり必要でない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1
必要でない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0

(次ページへ続く)

単位：%

区分	弓道、アーチェリー	技 ボクシング、レスリング等の格闘	各種 ナックゴルフ、ビーチボール、キンボール等を含む	各種 ユニースポーツ(モルック、スナックゴルフ、ビーチボール、キンボール等を含む)	ボッチャ	ブラインドサッカー	車いすテニス	車いすバスケットボール	車いすラグビー	シッティングバレーボール	ゴルフボール	サウンドテーブルテニス	卓球バレー	その他	無回答
全体	0.6	0.0	0.0	1.7	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.5	6.4
必要である	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0	1.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.3	8.0
ある程度必要である	1.4	0.0	0.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.1	5.8
あまり必要でない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0
必要でない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0

(前ページの表 続き)

【手帳別】

手帳別にみると、全体の割合に対して、愛の手帳で「ウォーキング、散歩（街歩き、ペットの散歩等を含む）」「水泳」「スキー、スノーボード」「ボウリング」「サイクリング（ロードバイク、マウンテンバイク等を含む）」「ボッチャ」の割合が高くなりました。

単位：%

区分	回答者数(件)	ウォーキング、散歩(街歩き、ペットの散歩等を含む)	ランニング(ジョギング、マラソン、トレイルランニング等を含む)	各種陸上競技	体操(ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操(こころばん体操等を含む))	室内運動器具(マシンジム、バランスボール等)による運動	水泳	ボート、ヨット、スキューバダイビング、カヌー、サーフィン、ウインドサーフィン等	ゴルフ	スキー、スノーボード	登山、ハイキング、キャンプ	ハンググライダー、パラグライダー、スカイダイビング	釣り	ボウリング
全体	172	64.5	6.4	1.2	28.5	12.2	7.6	0.0	1.2	1.2	2.9	0.0	0.6	1.2
身体障害者手帳	117	60.7	6.0	0.9	32.5	12.8	5.1	0.0	1.7	0.0	1.7	0.0	0.9	0.0
愛の手帳	31	74.2	6.5	0.0	12.9	6.5	19.4	0.0	0.0	6.5	0.0	0.0	0.0	6.5
精神障害者保健福祉手帳	44	68.2	6.8	2.3	27.3	11.4	4.5	0.0	2.3	0.0	6.8	0.0	0.0	0.0

区分	ゲートボール、グラウンド・ゴルフ	サイクリング(ロードバイク、マウンテンバイク等を含む)	ダンス(ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、ヒップホップ、ブレイキン等を含む)	各種アーバンスポーツ(スケートボード、スノーックライミング、BMX等を含む)	野球、ソフトボール	サッカー	フットサル	ラグビー	テニス、ソフトテニス	卓球	バレーボール	バスケットボール	バドミントン	柔道、剣道、空手、合気道等の武道
全体	2.3	2.9	0.6	0.0	0.6	0.0	0.6	0.0	1.7	1.2	1.2	0.6	0.0	1.2
身体障害者手帳	3.4	2.6	0.9	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	2.6	1.7	0.0	0.9	0.0	0.9
愛の手帳	3.2	6.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
精神障害者保健福祉手帳	0.0	2.3	0.0	0.0	0.0	0.0	2.3	0.0	2.3	0.0	4.5	0.0	0.0	2.3

区分	弓道、アーチェリー	ボクシング、レスリング等の格闘技	各種ユーススポーツ(モルック、スナックゴルフ、ビーチボール、キンボール等を含む)	ボッチャ	ブラインドサッカー	車いすテニス	車いすバスケットボール	車いすラグビー	シッティングバレーボール	ゴールボール	サウンドテーブルテニス	卓球バレー	その他	無回答
全体	0.6	0.0	0.0	1.7	0.0	0.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.5	6.4
身体障害者手帳	0.9	0.0	0.0	1.7	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.3	6.8
愛の手帳	0.0	0.0	0.0	9.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.9	0.0
精神障害者保健福祉手帳	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.1	9.1

【障がい種別】

障がい種別にみると、全体の割合に対して、聴覚障害で「ウォーキング、散歩（街歩き、ペットの散歩等を含む）」「室内運動器具（マシンジム、バランスボール等）による運動」「水泳」、肢体不自由（上肢）で「体操（ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、ころばん体操等を含む）」の割合が高くなりました。

単位：%

区分	回答者数（件）	ウォーキング、散歩（街歩き、ペットの散歩等を含む）	ランニング（ジョギング、マラソン、トレイルランニング等を含む）	各種陸上競技	体操（ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、ころばん体操等を含む）	室内運動器具（マシンジム、バランスボール等）による運動	水泳	ボート、ヨット、スキューバダイビング、カヌー、サーフィン、ウインドサーフィン等	ゴルフ	スキー、スノーボード	登山、ハイキング、キャンプ	ハングライダー、パラグライダー、スカイダイビング	釣り	ボウリング
全体	117	60.7	6.0	0.9	32.5	12.8	5.1	0.0	1.7	0.0	1.7	0.0	0.9	0.0
視覚障害	6	33.3	16.7	0.0	16.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
聴覚障害	13	76.9	0.0	0.0	23.1	23.1	15.4	0.0	0.0	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0
平衡機能障害	2	50.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
音声・言語・そしゃく機能障害	3	33.3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
肢体不自由（上肢）	21	42.9	0.0	0.0	57.1	19.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0
肢体不自由（下肢）	37	48.6	0.0	0.0	37.8	16.2	8.1	0.0	0.0	0.0	2.7	0.0	2.7	0.0
肢体不自由（体幹）	9	55.6	11.1	11.1	77.8	44.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
肢体不自由（脳原性運動機能障害）	6	16.7	0.0	0.0	50.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
内部障害	31	67.7	9.7	0.0	41.9	3.2	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	15	60.0	6.7	0.0	20.0	6.7	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

（次ページへ続く）

区分	ゲートボール、グラウンド・ゴルフ	サイクリング(ロードバイク、マウンテンバイク等を含む)	ダンス(ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、ヒップホップ、ブレイキン等を含む)	MX等を含む)	各種アーバンスポーツ(スケートボード、スノーボード、クライミング、BMX等を含む)	野球、ソフトボール	サッカー	フットサル	ラグビー	テニス、ソフトテニス	卓球	バレーボール	バスケットボール	バドミントン	柔道、剣道、空手、合気道等の武道
全体	3.4	2.6	0.9	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	1.7	0.0	0.9	0.0	0.9
視覚障害	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0
聴覚障害	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平衡機能障害	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
音声・言語・そしゃく機能障害	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
肢体不自由(上肢)	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
肢体不自由(下肢)	5.4	2.7	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
肢体不自由(体幹)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
肢体不自由(脳原性運動機能障害)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
内部障害	6.5	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	6.7	0.0	0.0	6.7	0.0	6.7

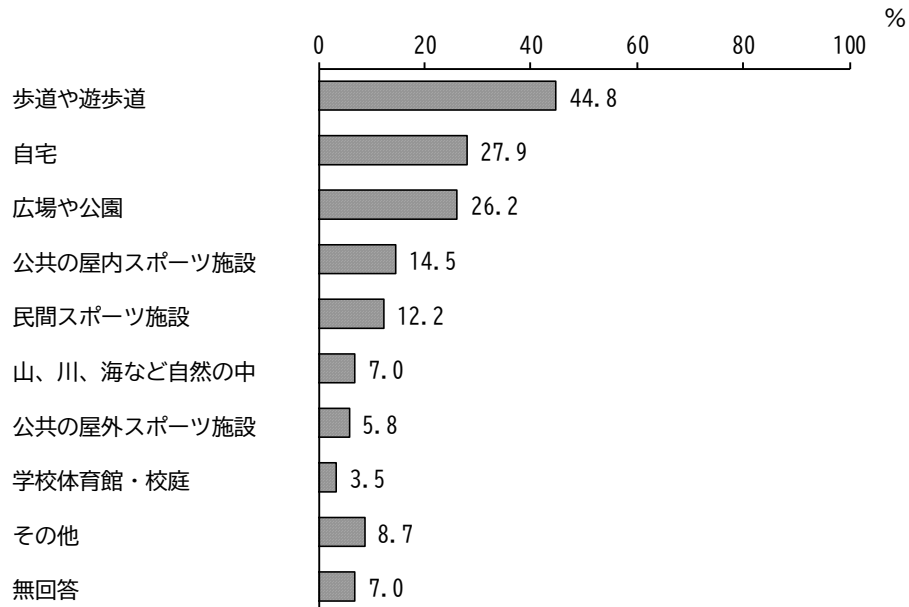
区分	弓道、アーチェリー	ボクシング、レスリング等の格闘技	各種ユニークスポーツ(モルック、スナックゴルフ、ビーチボール、キンボール等を含む)	ポッチャ	ブラインドサッカー	車いすテニス	車いすバスケットボール	車いすラグビー	シッティングバレーボール	ゴールボール	サウンドテーブルテニス	卓球バレー	その他	無回答
全体	0.9	0.0	0.0	1.7	0.0	0.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.3	6.8
視覚障害	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	16.7
聴覚障害	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
平衡機能障害	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
音声・言語・そしゃく機能障害	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0
肢体不自由(上肢)	0.0	0.0	0.0	4.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9.5	14.3
肢体不自由(下肢)	0.0	0.0	0.0	2.7	0.0	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.8	13.5
肢体不自由(体幹)	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0
肢体不自由(脳原性運動機能障害)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	16.7
内部障害	0.0	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.9	0.0
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.3	6.7

(前ページの表 続き)

問11 【問8で「ほぼ毎日」～「その他」のいずれかに回答した方にお聞きします。】
 スポーツや運動（問10で回答したスポーツや運動）を行った場所はどこですか。
 （〇は3つまで）

「歩道や遊歩道」の割合が44.8%と最も高く、次いで「自宅」の割合が27.9%、「広場や公園」の割合が26.2%となりました。

回答者数 = 172



【スポーツに対する意識別】

スポーツに対する意識別にみると、全体の割合に対して、スポーツに対する意識が高いほど「民間スポーツ施設」「公共の屋内スポーツ施設」の割合が高い傾向にあり、「山、川、海など自然の中」の割合が低い傾向にあり、『ある程度必要である』から『必要でない』までスポーツに対する意識が低いほど「自宅」の割合が高く、「歩道や遊歩道」の割合が低くなりました。また、『必要である』で「公共の屋外スポーツ施設」の割合が高く、『ある程度必要である』で「歩道や遊歩道」の割合が高くなりました。

単位：%

区分	回答者数 (件)	歩道や遊歩道	広場や公園	民間スポーツ施設	公共の屋内スポーツ施設	公共の屋外スポーツ施設	学校体育館・校庭	自宅	山、川、海など自然の中	その他	無回答
全体	172	44.8	26.2	12.2	14.5	5.8	3.5	27.9	7.0	8.7	7.0
必要である	87	42.5	26.4	13.8	16.1	9.2	3.4	27.6	5.7	10.3	8.0
ある程度必要である	69	47.8	24.6	11.6	13.0	1.4	4.3	26.1	7.2	4.3	7.2
あまり必要でない	9	44.4	44.4	11.1	11.1	0.0	0.0	33.3	11.1	22.2	0.0
必要でない	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	33.3	33.3	0.0

【手帳別】

手帳別にみると、全体の割合に対して、愛の手帳で「公共の屋内スポーツ施設」、精神障害者保健福祉手帳で「歩道や遊歩道」「自宅」「山、川、海など自然の中」の割合が高くなりました。

単位：％

区分	回答者数 (件)	歩道や遊歩道	広場や公園	民間スポーツ施設	公共の屋内スポーツ施設	公共の屋外スポーツ施設	学校体育館・校庭	自宅	山、川、海など自然の中	その他	無回答
全体	172	44.8	26.2	12.2	14.5	5.8	3.5	27.9	7.0	8.7	7.0
身体障害者手帳	117	40.2	27.4	12.0	15.4	6.8	3.4	26.5	5.1	9.4	6.0
愛の手帳	31	41.9	25.8	9.7	19.4	9.7	3.2	12.9	6.5	9.7	9.7
精神障害者保健福祉手帳	44	47.7	18.2	11.4	11.4	0.0	4.5	38.6	11.4	4.5	13.6

【障がい種別】

障がい種別にみると、全体の割合に対して、聴覚障害で「歩道や遊歩道」「広場や公園」「民間スポーツ施設」、肢体不自由（下肢）で「広場や公園」、内部障害で「歩道や遊歩道」「自宅」「公共の屋内スポーツ施設」の割合が高くなりました。

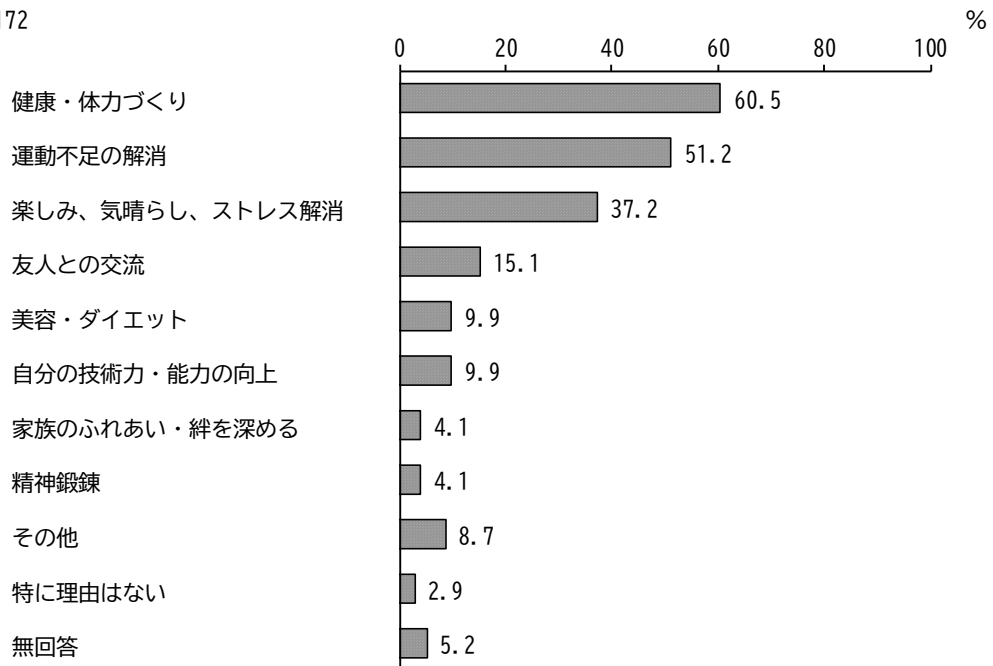
単位：％

区分	回答者数 (件)	歩道や遊歩道	広場や公園	民間スポーツ施設	公共の屋内スポーツ施設	公共の屋外スポーツ施設	学校体育館・校庭	自宅	山、川、海など自然の中	その他	無回答
全体	117	40.2	27.4	12.0	15.4	6.8	3.4	26.5	5.1	9.4	6.0
視覚障害	6	16.7	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	16.7	16.7
聴覚障害	13	76.9	38.5	30.8	15.4	0.0	0.0	15.4	7.7	0.0	0.0
平衡機能障害	2	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	50.0	0.0
音声・言語・そしゃく機能障害	3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	33.3	0.0
肢体不自由（上肢）	21	19.0	28.6	9.5	9.5	0.0	0.0	23.8	0.0	14.3	14.3
肢体不自由（下肢）	37	24.3	32.4	8.1	13.5	5.4	2.7	18.9	5.4	10.8	8.1
肢体不自由（体幹）	9	33.3	11.1	11.1	33.3	11.1	0.0	33.3	0.0	11.1	0.0
肢体不自由（脳原性運動機能障害）	6	0.0	33.3	16.7	16.7	0.0	16.7	33.3	0.0	33.3	0.0
内部障害	31	45.2	25.8	9.7	25.8	9.7	3.2	35.5	3.2	16.1	3.2
その他	15	20.0	33.3	6.7	0.0	6.7	6.7	46.7	6.7	13.3	13.3

問12 【問8で「ほぼ毎日」～「その他」のいずれかに回答した方にお聞きします。】
 スポーツや運動を行ったのはどのような理由からですか。(〇はいくつでも)

「健康・体力づくり」の割合が60.5%と最も高く、次いで「運動不足の解消」の割合が51.2%、「楽しみ、気晴らし、ストレス解消」の割合が37.2%となりました。

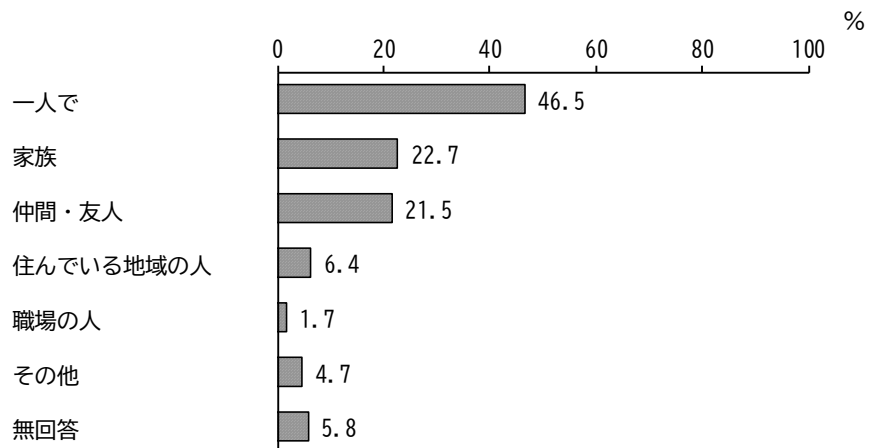
回答者数 = 172



問13 【問8で「ほぼ毎日」～「その他」のいずれかに回答した方にお聞きします。】
 スポーツや運動を、誰と行いましたか。(〇はいくつでも)

「一人で」の割合が46.5%と最も高く、次いで「家族」の割合が22.7%、「仲間・友人」の割合が21.5%となりました。

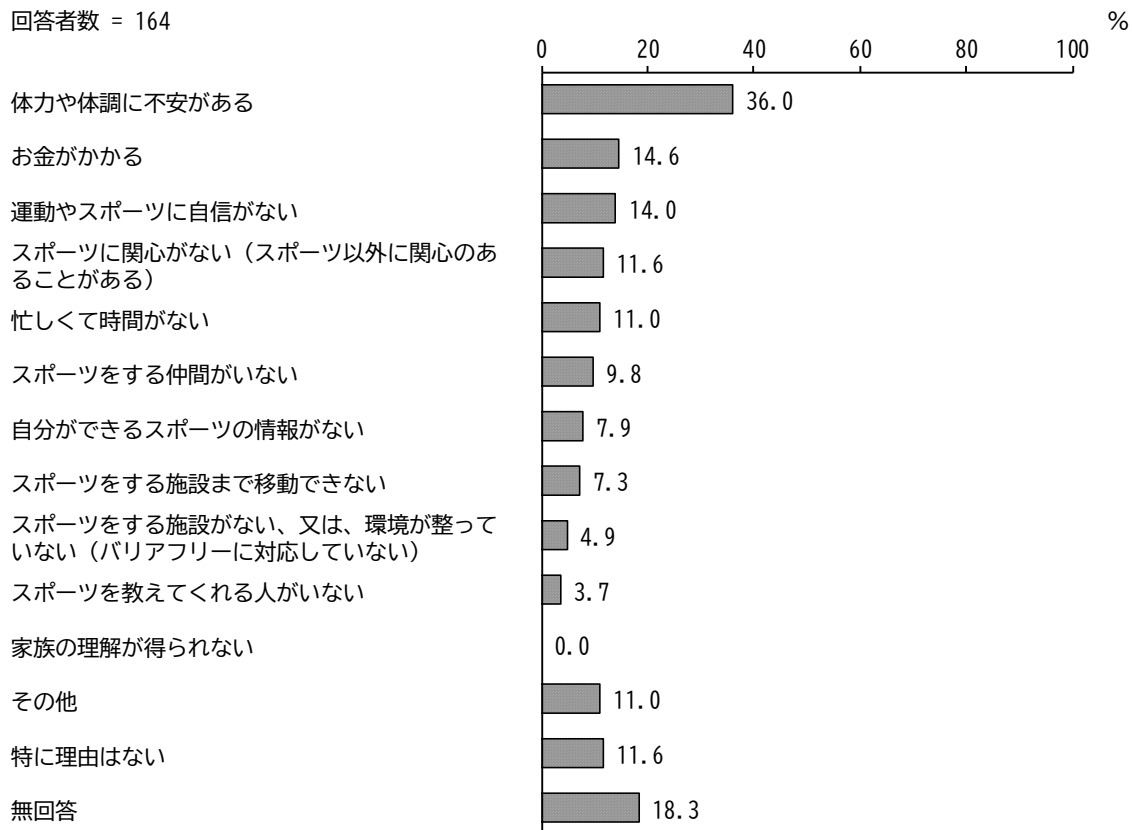
回答者数 = 172



問14 【問8で「行っていない」に回答した方及び問9で「あまり満足していない」または「満足していない」に回答した方にお聞きします。】
 スポーツや運動を行わない、もしくは実施の頻度に満足できていないのはどのような理由からですか。(〇はいくつでも)

無回答者を除くと、「体力や体調に不安がある」の割合が 36.0%と最も高く、次いで「お金がかかる」の割合が 14.6%、「運動やスポーツに自信がない」の割合が 14.0%となりました。

回答者数 = 164

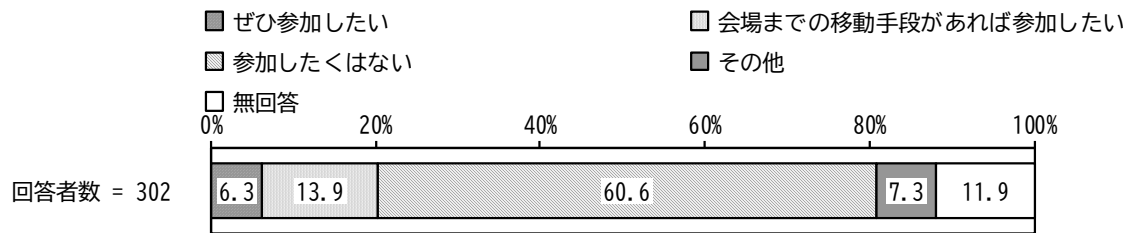


【「その他」の回答】

- ・ 障害のため。
- ・ 寝たきりのため動けない。
- ・ バイトでほぼ毎日 23,000~24,000 歩歩いているため。
- ・ 面倒だから。
- ・ 年齢と体力で無理なため。
- ・ 仕事内容が運動になっているため。

問 15 パラスポーツを体験するための体力測定会や競技体験会があったら、参加したいですか。
(○は1つまで)

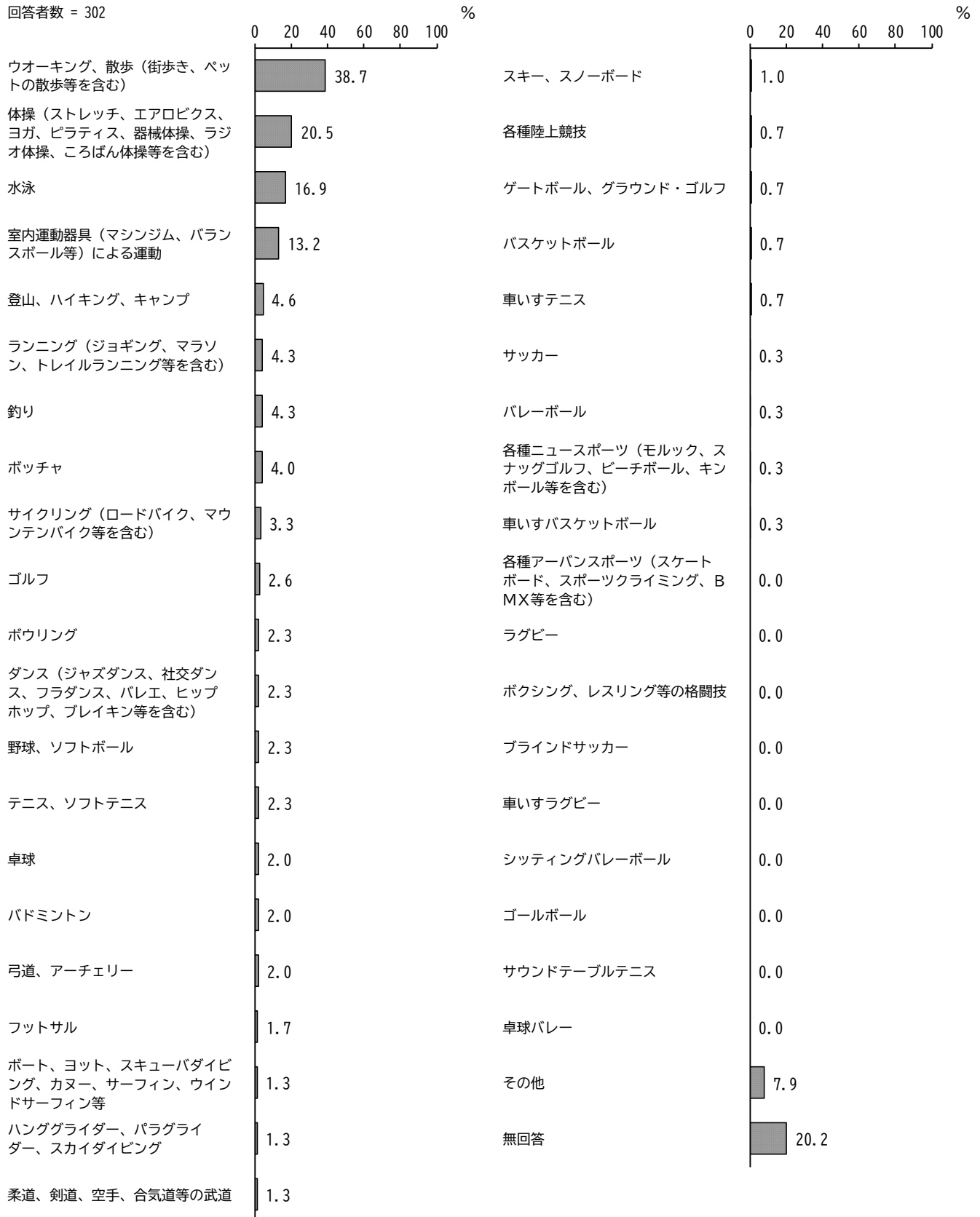
「ぜひ参加したい」の割合が 6.3%、「会場までの移動手段があれば参加したい」の割合が 13.9%、「参加したくはない」の割合が 60.6%となりました。



問 16 あなたが、今後行ってみたいスポーツや運動はありますか。(〇は3つまで)

「ウォーキング、散歩（街歩き、ペットの散歩等を含む）」の割合が 38.7%と最も高く、次いで「体操（ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、ころばん体操等を含む）」の割合が 20.5%、「水泳」の割合が 16.9%となりました。

回答者数 = 302



【スポーツに対する意識別】

スポーツに対する意識別にみると、全体の割合に対して、スポーツに対する意識が高いほど「体操（ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、ころばん体操等を含む）」「室内運動器具（マシンジム、バランスボール等）による運動」「水泳」の割合が高い傾向にあり、『ある程度必要である』から『必要でない』までスポーツに対する意識が低いほど「ハンググライダー、パラグライダー、スカイダイビング」の割合が高くなりました。

単位：%

区分	回答者数（件）	ウォーキング、散歩（街歩き、ベットの散歩等を含む）	ランニング（ジョギング、マラソン、トレイルランニング等を含む）	各種陸上競技	体操（ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、ころばん体操等を含む）	室内運動器具（マシンジム、バランスボール等）による運動	水泳	ボート、ヨット、スキューバダイビング、カヌー、サーフィン、ウインドサーフィン等	ゴルフ	スキー、スノーボード	登山、ハイキング、キャンプ	ハンググライダー、パラグライダー、スカイダイビング	釣り	ボウリング
全体	302	38.7	4.3	0.7	20.5	13.2	16.9	1.3	2.6	1.0	4.6	1.3	4.3	2.3
必要である	125	40.8	6.4	0.8	24.0	18.4	24.8	0.8	3.2	0.8	6.4	0.8	4.0	1.6
ある程度必要である	134	38.8	3.0	0.7	20.1	10.4	12.7	2.2	2.2	1.5	3.7	0.7	4.5	3.0
あまり必要でない	23	43.5	4.3	0.0	13.0	13.0	8.7	0.0	4.3	0.0	4.3	4.3	0.0	4.3
必要でない	8	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0

区分	ゲートボール、グラウンド・ゴルフ	サイクリング（ロードバイク、マウンテンバイク等を含む）	ダンス（ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、ヒップホップ、ブレイキン等を含む）	各種アーバンスポーツ（スケートボード、スノーボード、クライミング、BMX等を含む）	野球、ソフトボール	サッカー	フットサル	ラグビー	テニス、ソフトテニス	卓球	バレーボール	バスケットボール	バドミントン	柔道、剣道、空手、合気道等の武道
全体	0.7	3.3	2.3	0.0	2.3	0.3	1.7	0.0	2.3	2.0	0.3	0.7	2.0	1.3
必要である	0.8	4.0	1.6	0.0	3.2	0.0	0.8	0.0	3.2	1.6	0.0	0.0	1.6	1.6
ある程度必要である	0.0	2.2	3.7	0.0	2.2	0.7	3.0	0.0	2.2	3.0	0.7	1.5	2.2	0.7
あまり必要でない	0.0	8.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.3
必要でない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	0.0

（次ページへ続く）

単位：%

区分	弓道、アーチェリー	技 ボクシング、レスリング等の格闘	各種 ユース ナツグ ゴルフ ボール等 を含む	ボツチャ	ブラインドサッカー	車いすテニス	車いすバスケットボール	車いすラグビー	シッティングバレーボール	ゴルフボール	サウンドテーブルテニス	卓球バレー	その他	無回答
全体	2.0	0.0	0.3	4.0	0.0	0.7	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.9	20.2
必要である	2.4	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.2	16.8
ある程度必要である	1.5	0.0	0.7	4.5	0.0	1.5	0.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.2	18.7
あまり必要でない	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	17.4	21.7
必要でない	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	12.5	37.5

(前ページの表 続き)

【手帳別】

手帳別にみると、全体の割合に対して、精神障害者保健福祉手帳で「水泳」、愛の手帳で「ボウリング」「ボッチャ」の割合が高くなりました。

単位：％

区分	回答者数(件)	ウォーキング、散歩(街歩き、パットの散歩等を含む)	ランニング(ジョギング、マラソン、トレイルランニング等を含む)	各種陸上競技	体操(ストレッツ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操(ころばん体操等を含む))	室内運動器具(マシンジム、バランスボール等)による運動	水泳	ボート、ヨット、スキューバダイビング、カヌー、サーフィン、ウインドサーフィン等	ゴルフ	スキー、スノーボード	登山、ハイキング、キャンプ	ハングライダー、パラグライダー、スカイダイビング	釣り	ボウリング
全体	302	38.7	4.3	0.7	20.5	13.2	16.9	1.3	2.6	1.0	4.6	1.3	4.3	2.3
身体障害者手帳	204	36.3	3.4	0.0	22.1	14.2	16.7	1.0	3.4	1.0	5.4	0.5	4.9	1.5
愛の手帳	58	34.5	5.2	0.0	13.8	12.1	13.8	0.0	0.0	0.0	1.7	0.0	5.2	8.6
精神障害者保健福祉手帳	70	41.4	7.1	2.9	24.3	14.3	24.3	2.9	2.9	1.4	2.9	4.3	2.9	0.0

区分	ゲートボール、グラウンド・ゴルフ	サイクリング(ロードバイク、マウンテンバイク等を含む)	ダンス(ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、ヒップホップ、ブレイキン等を含む)	各種アーバンスポーツ(スケートボード、スノーックライミング、BMX等を含む)	野球、ソフトボール	サッカー	フットサル	ラグビー	テニス、ソフトテニス	卓球	バレーボール	バスケットボール	バドミントン	柔道、剣道、空手、合気道等の武道
全体	0.7	3.3	2.3	0.0	2.3	0.3	1.7	0.0	2.3	2.0	0.3	0.7	2.0	1.3
身体障害者手帳	1.0	2.9	2.0	0.0	2.0	0.5	1.5	0.0	1.5	1.0	0.0	0.5	1.0	0.5
愛の手帳	0.0	5.2	3.4	0.0	0.0	1.7	5.2	0.0	1.7	5.2	1.7	1.7	3.4	0.0
精神障害者保健福祉手帳	0.0	1.4	2.9	0.0	4.3	0.0	2.9	0.0	2.9	1.4	0.0	0.0	2.9	5.7

区分	弓道、アーチェリー	ボクシング、レスリング等の格闘技	各種ニュースポーツ(モルック、スナックゴルフ、ビーチボール、キンボール等を含む)	ボッチャ	ブラインドサッカー	車いすテニス	車いすバスケットボール	車いすラグビー	シッティングバレーボール	ゴールボール	サウンドテーブルテニス	卓球バレー	その他	無回答
全体	2.0	0.0	0.3	4.0	0.0	0.7	0.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	7.9	20.2
身体障害者手帳	1.0	0.0	0.5	3.9	0.0	1.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.9	22.1
愛の手帳	1.7	0.0	0.0	10.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.6	20.7
精神障害者保健福祉手帳	1.4	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	8.6	17.1

【障がい種別】

障がい種別にみると、全体の割合に対して、視覚障害、肢体不自由（体幹）で「体操（ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、ころばん体操等を含む）」、肢体不自由（上肢）、肢体不自由（体幹）で「室内運動器具（マシンジム、バランスボール等）による運動」、肢体不自由（上肢）で「水泳」、視覚障害で「ダンス（ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、ヒップホップ、ブレイキン等を含む）」「ボッチャ」の割合が高くなりました。

単位：%

区分	回答者数（件）	ウォーキング、散歩（街歩き、ペットの散歩等を含む）	ランニング（ジョギング、マラソン、トレイルランニング等を含む）	各種陸上競技	体操（ストレッチ、エアロビクス、ヨガ、ピラティス、器械体操、ラジオ体操、ころばん体操等を含む）	室内運動器具（マシンジム、バランスボール等）による運動	水泳	ボート、ヨット、スキューバダイビング、カヌー、サーフィン、ウインドサーフィン等	ゴルフ	スキー、スノーボード	登山、ハイキング、キャンプ	ハンググライダー、パラグライダー、スカイダイビング	釣り	ボウリング
全体	204	36.3	3.4	0.0	22.1	14.2	16.7	1.0	3.4	1.0	5.4	0.5	4.9	1.5
視覚障害	13	38.5	0.0	0.0	38.5	23.1	0.0	0.0	7.7	0.0	7.7	0.0	0.0	0.0
聴覚障害	20	45.0	5.0	0.0	25.0	10.0	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	0.0
平衡機能障害	2	100.0	0.0	0.0	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
音声・言語・そしゃく機能障害	4	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
肢体不自由（上肢）	32	31.3	3.1	0.0	18.8	25.0	37.5	0.0	0.0	3.1	6.3	0.0	6.3	0.0
肢体不自由（下肢）	68	27.9	0.0	0.0	17.6	19.1	32.4	1.5	2.9	0.0	4.4	0.0	4.4	2.9
肢体不自由（体幹）	15	20.0	0.0	0.0	40.0	26.7	33.3	6.7	6.7	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0
肢体不自由（脳原性運動機能障害）	7	42.9	0.0	0.0	42.9	28.6	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
内部障害	53	34.0	5.7	0.0	24.5	9.4	9.4	0.0	3.8	1.9	9.4	0.0	7.5	1.9
その他	24	62.5	8.3	0.0	12.5	8.3	8.3	0.0	4.2	0.0	4.2	4.2	4.2	0.0

(次ページへ続く)

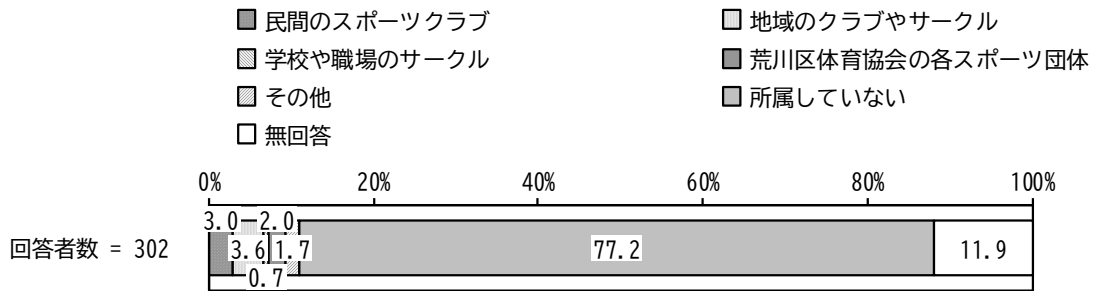
区分	ゲートボール、グラウンド・ゴルフ	サイクリング(ロードバイク、マウンテンバイク等を含む)	ダンス(ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、ヒップホップ、ブレイキン等を含む)	MX等を含む)	各種アーバンスポーツ(スケートボード、スノーボード、クライミング、BMX等を含む)	野球、ソフトボール	サッカー	フットサル	ラグビー	テニス、ソフトテニス	卓球	バレーボール	バスケットボール	バドミントン	柔道、剣道、空手、合気道等の武道
全体	1.0	2.9	2.0	0.0	2.0	0.5	1.5	0.0	1.5	1.0	0.0	0.5	1.0	0.5	
視覚障害	0.0	0.0	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
聴覚障害	0.0	5.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
平衡機能障害	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
音声・言語・そしゃく機能障害	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
肢体不自由(上肢)	3.1	3.1	3.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	6.3	0.0	0.0	3.1	0.0	
肢体不自由(下肢)	0.0	2.9	1.5	0.0	1.5	0.0	0.0	1.5	1.5	1.5	0.0	0.0	1.5	0.0	
肢体不自由(体幹)	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
肢体不自由(脳原性運動機能障害)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	14.3	
内部障害	1.9	1.9	1.9	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
その他	0.0	4.2	0.0	0.0	4.2	0.0	4.2	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0	

区分	弓道、アーチェリー	ボクシング、レスリング等の格闘技	各種ユニークスポーツ(モルック、スナックゴルフ、ビーチボール、キンボール等を含む)	ポッチャ	ブラインドサッカー	車いすテニス	車いすバスケットボール	車いすラグビー	シッティングバレーボール	ゴールボール	サウンドテーブルテニス	卓球バレー	その他	無回答
全体	1.0	0.0	0.5	3.9	0.0	1.0	0.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.9	22.1
視覚障害	0.0	0.0	0.0	15.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.4	15.4
聴覚障害	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	5.0	35.0
平衡機能障害	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
音声・言語・そしゃく機能障害	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0
肢体不自由(上肢)	0.0	0.0	3.1	12.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.1	12.5
肢体不自由(下肢)	1.5	0.0	1.5	7.4	0.0	2.9	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.4	25.0
肢体不自由(体幹)	0.0	0.0	0.0	13.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.7	20.0
肢体不自由(脳原性運動機能障害)	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
内部障害	1.9	0.0	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.2	22.6
その他	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.2	20.8

(前ページの表 続き)

問 17 あなたは、現在スポーツや運動のクラブやサークルなどに所属していますか。
 (複数所属している方は活動頻度の多いクラブ・サークルを1つ選択してください)

所属している回答者の中では、「地域のクラブやサークル」の割合が3.6%と最も高くなりました。

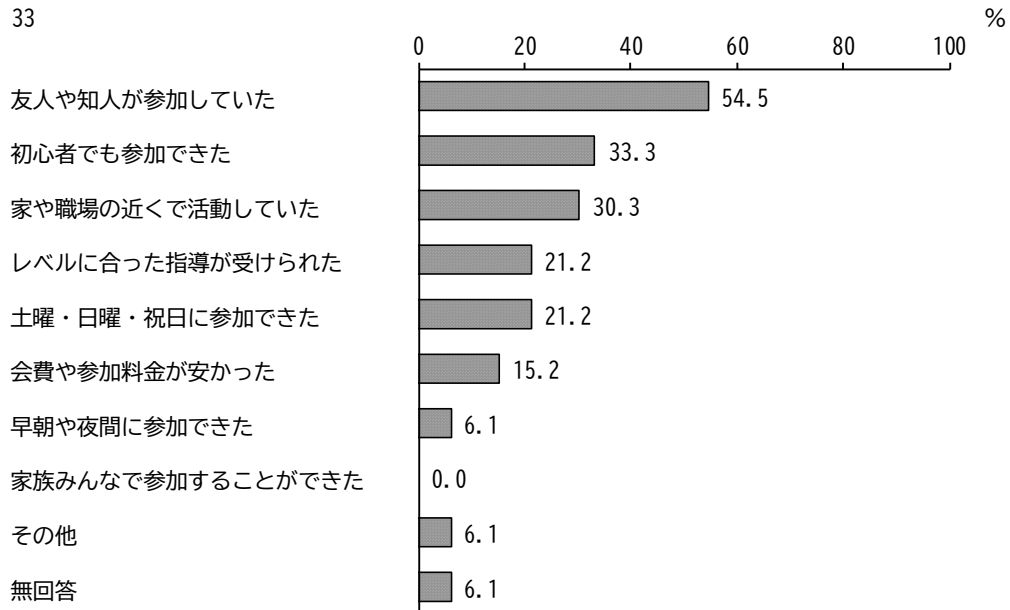


問 18 【問 17 で「民間のスポーツクラブ」～「その他」のいずれかに回答した方にお聞きします。】

スポーツや運動のクラブやサークル（問 17 で回答したクラブやサークル）に所属したきっかけは何ですか。（〇はいくつでも）

「友人や知人が参加していた」の割合が 54.5%と最も高く、次いで「初心者でも参加できた」の割合が 33.3%、「家や職場の近くで活動していた」の割合が 30.3%となりました。

回答者数 = 33



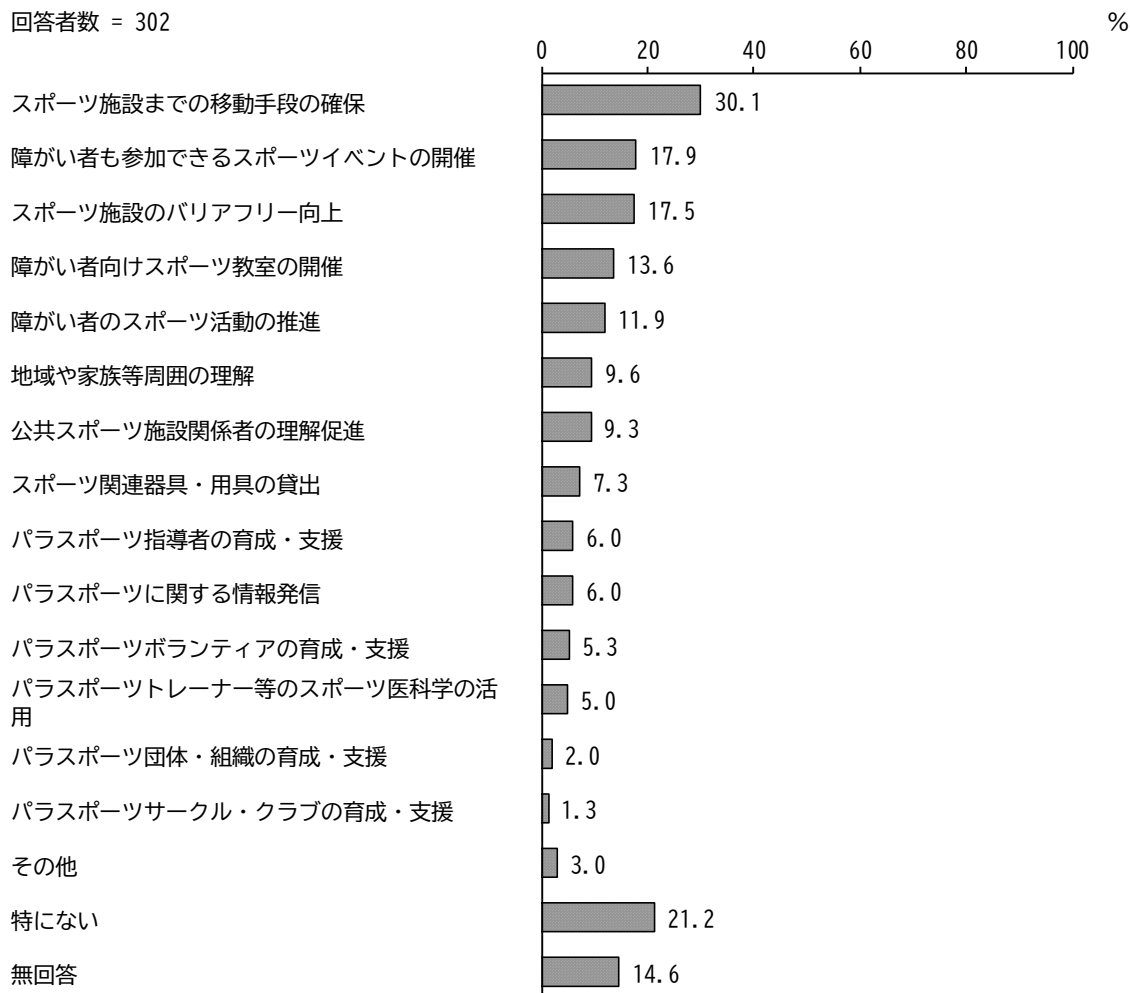
【「その他」の回答】

- ・ 20 年程前にヨガ教室に参加。経験があったのでスムーズに再度参加できた。
- ・ 若い頃より登山が趣味。

問 19 あなたは、障がい者のスポーツ活動がより活性化するには何が重要だと考えますか。(○は3つまで)

「特にない」という回答者以外で、「スポーツ施設までの移動手段の確保」の割合が 30.1%と最も高く、次いで「障がい者も参加できるスポーツイベントの開催」の割合が 17.9%、「スポーツ施設のバリアフリー向上」の割合が 17.5%となりました。

回答者数 = 302



【「その他」の回答】

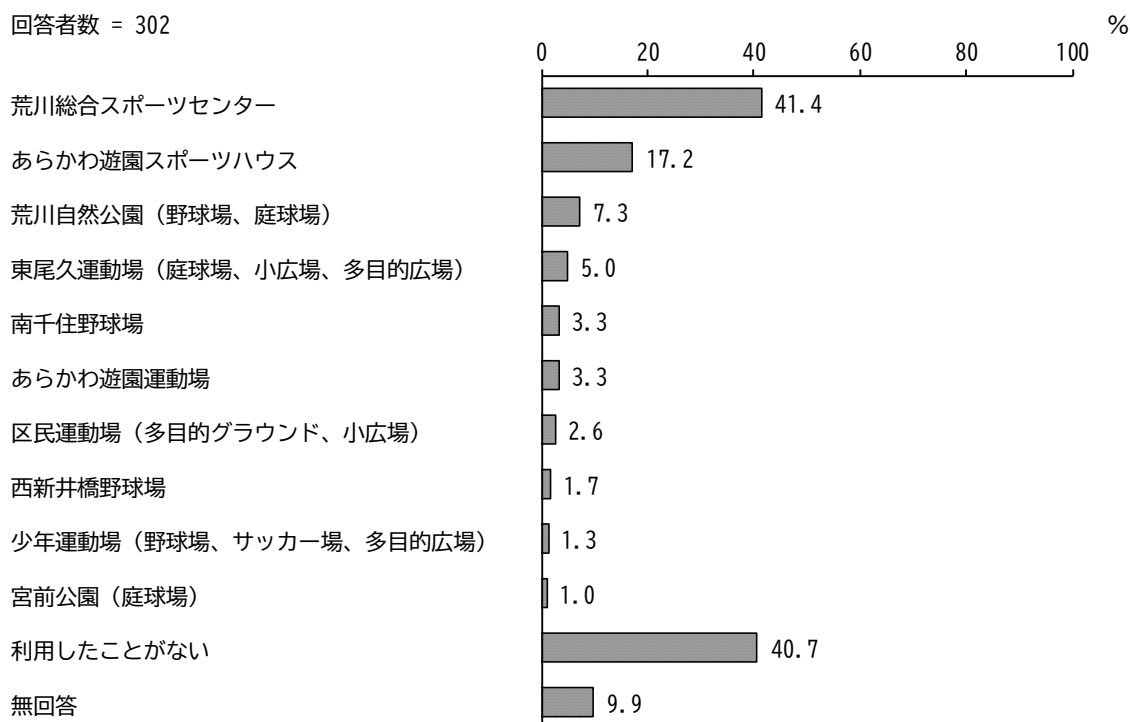
- ・ 他人と一緒に行動することができないため、1人でできる軽いスポーツならやってみたい。
- ・ 企業の理解
- ・ 障害者スポーツ（精神障害）への理解
- ・ 内部障害があると、受け入れてくれる施設がない。
- ・ 出来る範囲で、家でやりたい。
- ・ 特別支援学校を卒業すると運動の機会がなくなる。卒業前に何らか運動を継続するシステムが必要だと思う。
- ・ 使いやすいキレイな女性専用のトイレ。
- ・ スポーツ施設の提供
- ・ 経済的な支援

4 区立スポーツ施設について

問 20 あなたは、以下の区立スポーツ施設を利用したことがありますか。(○はいくつでも)

施設を利用したことがある回答者の中では、「荒川総合スポーツセンター」の割合が41.4%と最も高く、次いで「あらかわ遊園スポーツハウス」の割合が17.2%となりました。

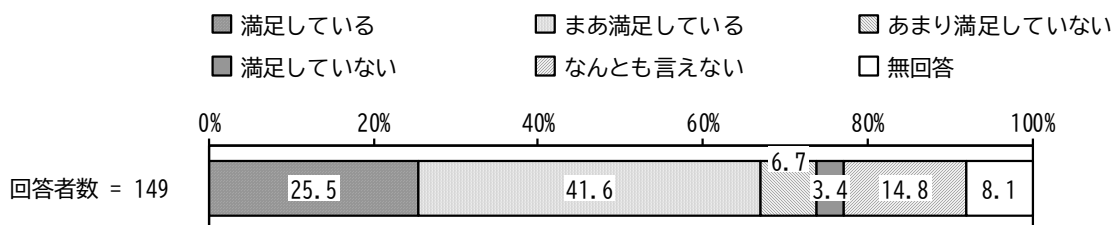
回答者数 = 302



問 21 【問 20 で「荒川総合スポーツセンター」～「宮前公園 (庭球場)」のいずれかに回答した方にお聞きします。】

利用しているスポーツ施設 (問 20 で回答したスポーツ施設) について、満足していますか。(○は1つ)

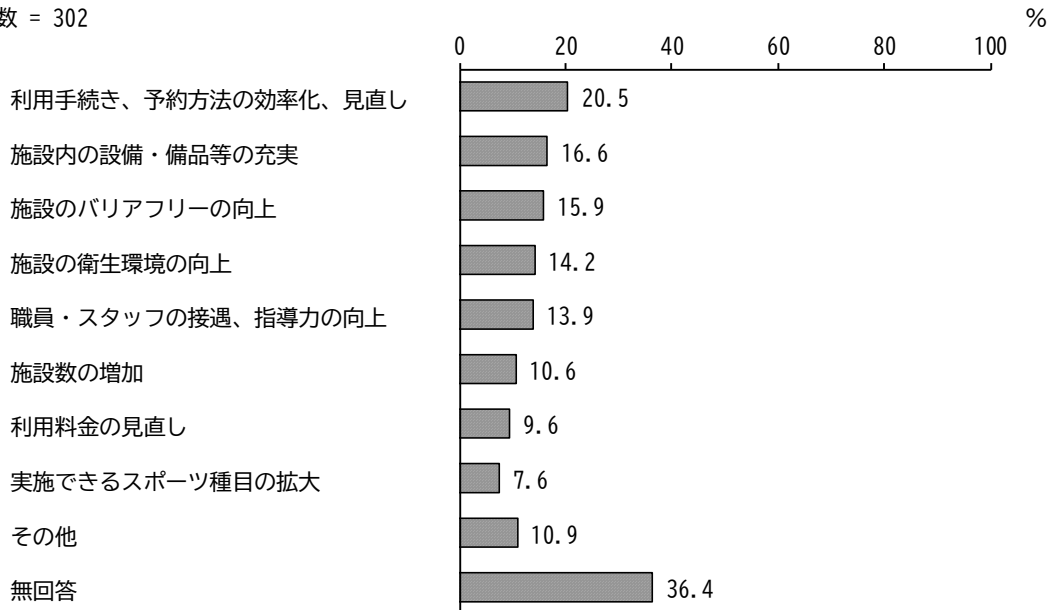
「満足している」「まあ満足している」を合わせた“満足している”の割合が67.1%、「あまり満足していない」「満足していない」を合わせた“満足していない”の割合が10.1%となりました。



問 22 あなたは、区立スポーツ施設について、望むことはありますか。(〇はいくつでも)

「利用手続き、予約方法の効率化、見直し」の割合が 20.5%と最も高く、次いで「施設内の設備・備品等の充実」の割合が 16.6%、「施設のバリアフリーの向上」の割合が 15.9%となりました。

回答者数 = 302



問 23 あなたが、区立スポーツ施設を利用する上で、最も困っていること、最も改善して欲しいと思うことを教えてください。(自由記述)

区立スポーツ施設に関する意見として、85人から意見が寄せられました。

カテゴリ名	件数
施設数の増加	9
施設までの移動手段の確保	9
職員・スタッフの接遇、指導力の向上	8
施設内の設備・備品等の充実	5
利用手続き、予約方法の効率化、見直し	4
施設の衛生環境の向上	4
障がいのある方へ向けた情報発信	4
利用料金の見直し	2
施設のバリアフリーの向上	2
その他	10

※特になし、わからないを除いているため、件数の合計と意見をいただいた方の数は一致しません。

5 あなたご自身について

問 24 あなたの性別について教えてください。(○は1つ)

単位：%

区分	回答者数 (件)	男性	女性	回答しない	その他	無回答
全 体	302	43.7	47.4	1.3	0.0	7.6

問 25 あなたの年齢を教えてください。(○は1つ)

単位：%

区分	回答者数 (件)	24歳以下	25 ～ 29歳	30 ～ 34歳	35 ～ 39歳	40 ～ 44歳	45 ～ 49歳	50 ～ 54歳	55 ～ 59歳	60 ～ 64歳	65 ～ 69歳	70 ～ 74歳	75 ～ 79歳	80歳以上	無回答
全 体	302	3.3	4.3	3.0	4.0	7.6	5.0	6.6	5.3	6.3	8.6	7.3	12.9	19.5	6.3

問 26 あなたの住んでいる地域を教えてください。(○は1つ)

単位：%

区分	回答者数 (件)	南千住	荒川	町屋	東尾久	西尾久	東日暮里	西日暮里	無回答
全 体	302	16.6	16.2	13.2	15.2	12.6	12.3	7.9	6.0

問 27 あなたの職業を教えてください。(○は1つ)

単位：%

区分	回答者数(件)	会社員・公務員	自営業・自由業	会社経営者	パート・アルバイト・派遣等	専業主婦・主夫	学生	無職	その他	無回答
全 体	302	15.9	4.0	1.0	9.6	7.0	0.7	45.4	6.6	9.9

問 28 あなたの世帯について教えてください。(○は1つ)

単位：%

区分	回答者数(件)	単身世帯	夫婦のみ世帯	未就学児を含む子ども もいる世帯	小学生を含む子ども のいる世帯(未就学児 は含まない)	中学生以上の子ども のいる世帯(小学生以 下は含まない)	その他の世帯	無回答
全 体	302	24.5	22.5	0.3	1.3	10.9	31.5	8.9

問 29 スポーツや運動をする際に、あなた一人にかかる費用として、一月いくらまでであれば支出してもよいと思いますか。(○は1つ)

単位：%

区分	回答者数(件)	1,000円未満	1,000円～3,000円未満	3,000円～5,000円未満	5,000円～1万円未満	1万円～3万円未満	3万円以上	無回答
全 体	302	24.2	27.8	14.6	13.9	3.0	0.3	16.2

Ⅲ 荒川区民スポーツ意識調査（小学生・中学生・高校生）

<調査の概要>

1 調査の目的

区民のスポーツや運動に関する意識、スポーツ活動の実態、区スポーツ施策に関する意見や要望を伺い、令和7年度に策定する「荒川区スポーツ推進プラン」の参考資料とすることを目的としています。

2 調査対象

区内在住あるいは在学中の区立の小学校、中学校、および区内の高等学校の学生

3 調査期間

令和7年8月29日～令和7年9月15日

4 調査方法

WEBによる回答

5 回答状況

回答者数の合計は118件でした。

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。また、クロス集計において回答者数が1桁の場合は、コメントを差し控えています。

<調査結果>

1. あなたご自身について

問1 あなたの学年を教えてください（1つ選んでください）。

選択肢	件数	割合
小学校低学年（1年生・2年生）	3	2.5%
小学校中学年（3年生・4年生）	9	7.6%
小学校高学年（5年生・6年生）	55	46.6%
中学1年生	10	8.5%
中学2年生	8	6.8%
中学3年生	5	4.2%
高校1年生	9	7.6%
高校2年生	5	4.2%
高校3年生	12	10.2%
無回答	2	1.7%
合計	118	100.0%

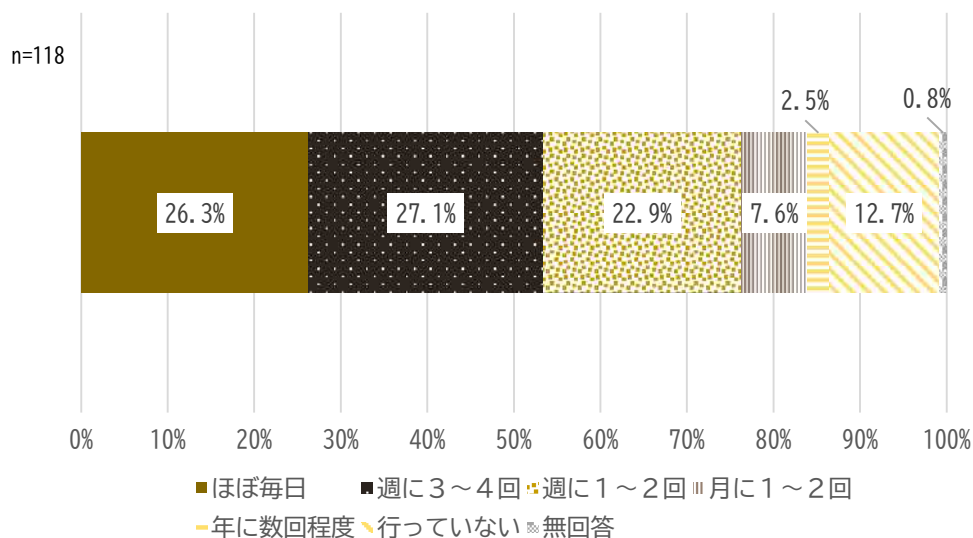
問2 あなたの住んでいる地域を教えてください。（1つ選んでください）。

選択肢	件数	割合
南千住	21	17.8%
荒川	21	17.8%
町屋	9	7.6%
東尾久	6	5.1%
西尾久	3	2.5%
東日暮里	17	14.4%
西日暮里	24	20.3%
荒川区外	15	12.7%
無回答	2	1.7%
合計	118	100.0%

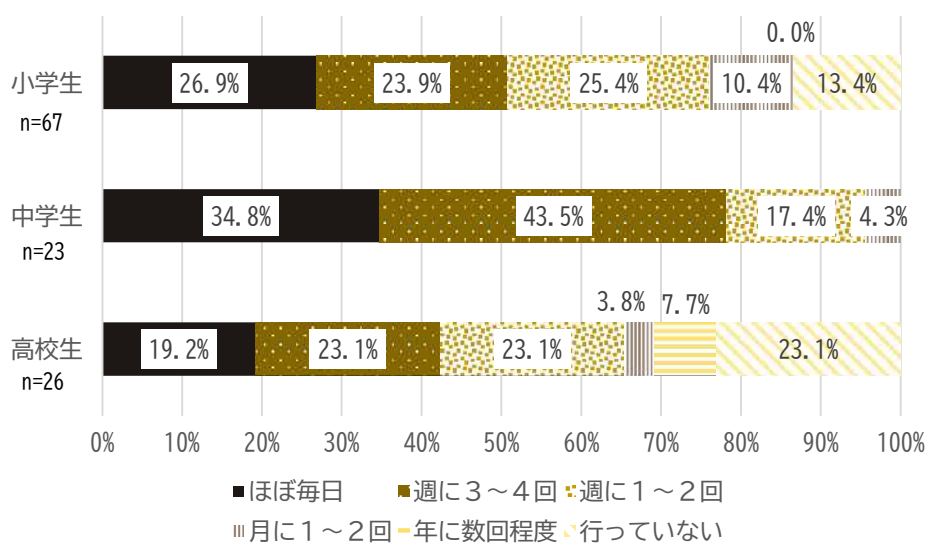
2. スポーツの実施状況について

問3 あなたは、学校の体育の授業以外で、スポーツをどのくらい行っていますか（1つ選んでください）。

本調査では「ほぼ毎日」「週に3～4回」「週に1～2回」「月に1～2回」「年に数回程度」を合わせた“行っている”の割合が86.5%であり、「行っていない」の割合は12.7%でした。



本調査における中学生の回答者は、学校の体育の授業以外で、スポーツを月に1回以上実施しているという回答が100%占めており、「年に数回程度」、「行っていない」という回答者はいませんでした。



問4 【問3で「ほぼ毎日」「週に3～4回」「週に1～2回」「月に1～2回」「年に数回程度」のいずれかに回答した方にお聞きします。】どのようなスポーツを行っていますか。(いくつでも選ぶことができます)

問8 問8. あなたが今後やってみたいスポーツはありますか(いくつでも選ぶことができます)。

ここでは、問4と問8の結果を併記します。5ページの表から、問4において、「行っているスポーツ」の中で回答割合が最も高かったのは「おにごっこ、かくれんぼ、カンけり、鉄棒、ぶらんこ」(24.3%)、次いで「サッカー、フットサル」、「水泳」(いずれも17.5%)、「バドミントン」(16.5%)となりました。

問8において、「やりたいスポーツ」の中で回答割合が最も高かったのは、「卓球」(22.9%)、次いで「釣り」(20.3%)、「ボウリング」(17.8%)となりました。

6ページの表から、問4の「実施しているスポーツ」について、小学生の回答割合が最も多かったのは「おにごっこ、かくれんぼ、カンけり、鉄棒、ぶらんこ」(37.9%)、次いで「水泳」(29.3%)、「サッカー、フットサル」(20.7%)となりました。

中学生の回答割合が最も多かったのは「バドミントン」(26.1%)、次いで「筋力トレーニング」(21.7%)、「サッカー、フットサル」(13.0%)となりました。

高校生の回答割合が最も多かったのは「バドミントン」(25.0%)、次いで「サッカー、フットサル」、「テニス、ソフトテニス」、「バスケットボール(3on3を含む)」、「柔道、空手、テコンドー、合気道」、「自転車あそび」(いずれも15.0%)、「バレーボール」、「体操(軽い体操・ラジオ体操など)」(いずれも10.0%)となりました。

7ページの表から、問8の「今後やりたいスポーツ」について、小学生の回答割合で最も高かったのは、「卓球」(25.4%)、次いで「バドミントン」、「ボウリング」(いずれも22.4%)、「柔道、空手、テコンドー、合気道」、「釣り」(いずれも19.4%)となりました。

中学生の回答割合で最も高かったのは、「テニス、ソフトテニス」(34.8%)、次いで「バドミントン」、「eスポーツ」(いずれも26.1%)、「卓球」、「剣道、薙刀」(いずれも21.7%)となりました。

高校生の回答割合で最も高かったのは、「釣り」(26.9%)、次いで「卓球」(19.2%)、「バスケットボール(3on3を含む)」、「筋力トレーニング」、「剣道、薙刀」、「弓道、アーチェリー」、「キャンプ」、「おにごっこ、かくれんぼ、カンけり、鉄棒、ぶらんこ」、「eスポーツ」(いずれも15.4%)となりました。

選択肢	実施しているスポーツ (n=103)【問4】	やりたいスポーツ (n=118)【問8】
1. 野球、ソフトボール（キャッチボールを含む）	9.7%	11.9%
2. サッカー、フットサル	17.5%	11.9%
3. キックベースボール	1.0%	1.7%
4. テニス、ソフトテニス	5.8%	16.9%
5. ラグビー（タグラグビーを含む）	1.0%	5.9%
6. ゴルフ	1.0%	11.9%
7. バドミントン	16.5%	18.6%
8. 卓球	6.8%	22.9%
9. バスケットボール（3on3を含む）	8.7%	15.3%
10. バレーボール	4.9%	10.2%
11. ハンドボール	4.9%	7.6%
12. ドッジボール	13.6%	14.4%
13. ボウリング	1.9%	17.8%
14. ゲートボール	0.0%	3.4%
15. フライングディスク（フリスビー）	2.9%	5.9%
16. ロープを使うスポーツ（ダブルダッチ、つなひき、なわとび、長なわとび）	4.9%	4.2%
17. ダンス（エアロビックダンス、チアリーディング、ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、ヒップホップ、ブレイキンなどを含む）	11.7%	8.5%
18. 体操（軽い体操・ラジオ体操など）	10.7%	3.4%
19. 体操競技（器械体操、トランポリンを含む）	1.0%	5.9%
20. 新体操	1.0%	4.2%
21. 筋力トレーニング	13.6%	8.5%
22. 各種陸上競技（短距離走・中長距離走・幅跳び・高跳び・砲丸投げ・ジャバリックスローなど）	4.9%	5.1%
23. ウォーキングや散歩（バットの散歩などを含む）	13.6%	5.9%
24. 水泳	17.5%	15.3%
25. 柔道、空手、テコンドー、合気道	5.8%	16.9%
26. 剣道、薙刀	1.9%	16.1%
27. 弓道、アーチェリー	0.0%	13.6%
28. 相撲	1.9%	2.5%
29. 海水浴	1.0%	7.6%
30. カヌー	0.0%	4.2%
31. ボート	0.0%	5.1%
32. サーフィン、ボディボード	1.9%	3.4%
33. シュノーケリング、スクーバダイビング	0.0%	2.5%
34. キャンプ	1.0%	11.0%
35. 釣り	2.9%	20.3%
36. ハイキング、登山	2.9%	11.0%
37. ウォークラリー、オリエンテーリング	0.0%	1.7%
38. スキー、スノーボード、そり	3.9%	11.0%
39. スケート	1.0%	11.9%
40. 一輪車	0.0%	7.6%
41. インラインスケート、ローラースケート	0.0%	6.8%
42. スケートボード	0.0%	7.6%
43. キックボード	1.9%	5.1%
44. サイクリング	6.8%	6.8%
45. おにごっこ、かくれんぼ、カンけり、鉄棒、ぶらんこ	24.3%	12.7%
46. 木登り	4.9%	8.5%
47. ゴムとび	0.0%	3.4%
48. 自転車あそび	13.6%	5.1%
49. 竹馬	1.0%	6.8%
50. フィールドアスレチック	1.0%	5.9%
51. ボクシング、レスリングなどの格闘技	1.0%	3.4%
52. ボルダリング、リードクライミングなど	0.0%	5.9%
53. 各種ニュースポーツ（ポッチャ、モルック、スナッグゴルフ、ビーチボール、キンボール等を含む）	1.0%	4.2%
54. 各種パラスポーツ（ブラインドサッカー、車いすテニス、車いすバスケットボール、車いすラグビー、シッティングバレーボール、ゴールボール、サウンドテーブルテニス、卓球バレー等を含む）	0.0%	2.5%
55. eスポーツ	2.9%	16.9%
56. ドローン	1.0%	11.0%
57. その他	6.8%	0.0%
無回答	-	7.6%

※上の表は選択肢順に掲載しています。実施しているスポーツ（問4）とやりたいスポーツ（問8）の中でそれぞれ回答割合の数値が高いほど、網掛けの色が濃くなっています。

【学年別の実施しているスポーツ】

選択肢	小学生 (n=58)	中学生 (n=23)	高校生 (n=20)
1. 野球、ソフトボール (キャッチボールを含む)	13.8%	8.7%	0.0%
2. サッカー、フットサル	20.7%	13.0%	15.0%
3. キックベースボール	1.7%	0.0%	0.0%
4. テニス、ソフトテニス	1.7%	8.7%	15.0%
5. ラグビー (タグラグビーを含む)	0.0%	0.0%	5.0%
6. ゴルフ	1.7%	0.0%	0.0%
7. バドミントン	10.3%	26.1%	25.0%
8. 卓球	10.3%	0.0%	5.0%
9. バスケットボール (3on3を含む)	6.9%	8.7%	15.0%
10. バレーボール	3.4%	4.3%	10.0%
11. ハンドボール	8.6%	0.0%	0.0%
12. ドッジボール	20.7%	4.3%	5.0%
13. ボウリング	3.4%	0.0%	0.0%
14. ゲートボール	0.0%	0.0%	0.0%
15. フライングディスク (フリスビー)	3.4%	0.0%	5.0%
16. ロープを使うスポーツ (ダブルダッチ、つなひき、なわとび、長なわとび)	6.9%	4.3%	0.0%
17. ダンス (エアロビックダンス、チアリーディング、ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、ヒップホップ、ブレイキンなどを含む)	19.0%	4.3%	0.0%
18. 体操 (軽い体操・ラジオ体操など)	12.1%	8.7%	10.0%
19. 体操競技 (器械体操、トランポリンを含む)	1.7%	0.0%	0.0%
20. 新体操	1.7%	0.0%	0.0%
21. 筋力トレーニング	6.9%	21.7%	25.0%
22. 各種陸上競技 (短距離走・中長距離走・幅跳び・高跳び・砲丸投げ・ジャバリックスローなど)	3.4%	8.7%	5.0%
23. ウォーキングや散歩 (ペットの散歩などを含む)	17.2%	8.7%	10.0%
24. 水泳	29.3%	0.0%	5.0%
25. 柔道、空手、テコンドー、合気道	3.4%	4.3%	15.0%
26. 剣道、薙刀	3.4%	0.0%	0.0%
27. 弓道、アーチェリー	0.0%	0.0%	0.0%
28. 相撲	1.7%	0.0%	5.0%
29. 海水浴	1.7%	0.0%	0.0%
30. カヌー	0.0%	0.0%	0.0%
31. ボート	0.0%	0.0%	0.0%
32. サーフィン、ボディボード	1.7%	0.0%	5.0%
33. シュノーケリング、スクーバダイビング	0.0%	0.0%	0.0%
34. キャンプ	1.7%	0.0%	0.0%
35. 釣り	3.4%	0.0%	5.0%
36. ハイキング、登山	5.2%	0.0%	0.0%
37. ウォークラリー、オリエンテーリング	0.0%	0.0%	0.0%
38. スキー、スノーボード、そり	6.9%	0.0%	0.0%
39. スケート	0.0%	0.0%	5.0%
40. 一輪車	0.0%	0.0%	0.0%
41. インラインスケート、ローラースケート	0.0%	0.0%	0.0%
42. スケートボード	0.0%	0.0%	0.0%
43. キックボード	3.4%	0.0%	0.0%
44. サイクリング	8.6%	4.3%	5.0%
45. おにごっこ、かくれんぼ、カンけり、鉄棒、ぶらんこ	37.9%	8.7%	5.0%
46. 木登り	3.4%	8.7%	5.0%
47. ゴムとび	0.0%	0.0%	0.0%
48. 自転車あそび	15.5%	8.7%	15.0%
49. 竹馬	1.7%	0.0%	0.0%
50. フィールドアスレチック	1.7%	0.0%	0.0%
51. ボクシング、レスリングなどの格闘技	1.7%	0.0%	0.0%
52. ボルダリング、リードクライミングなど	0.0%	0.0%	0.0%
53. 各種ニュースポーツ (ポッチャ、モルック、スナッグゴルフ、ビーチボール、キンボール等を含む)	1.7%	0.0%	0.0%
54. 各種パラスポーツ (ブラインドサッカー、車いすテニス、車いすバスケットボール、車いすラグビー、シッティングバレーボール、ゴールボール、サウンドテーブルテニス、卓球バレー等を含む)	0.0%	0.0%	0.0%
55. eスポーツ	3.4%	4.3%	0.0%
56. ドローン	1.7%	0.0%	0.0%
57. その他	6.9%	8.7%	0.0%

※上の表は選択肢順に掲載しています。学年別でそれぞれ回答割合の数値が高いほど、網掛けの色が濃くなっています。

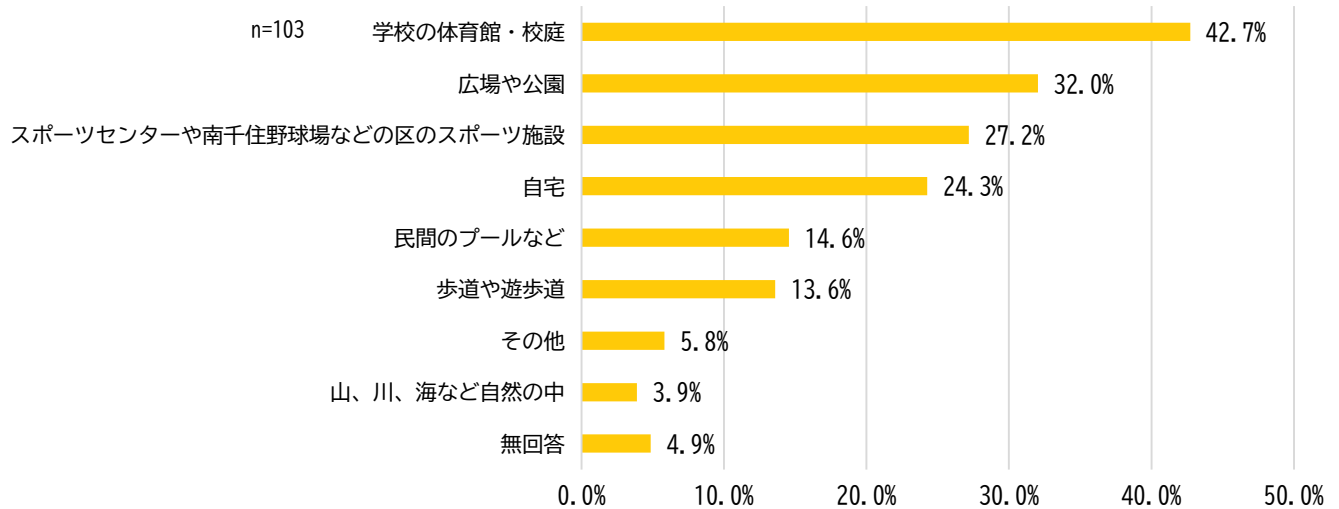
【学年別のやりたいスポーツ】

選択肢	小学生 (n=67)	中学生 (n=23)	高校生 (n=26)
1. 野球、ソフトボール（キャッチボールを含む）	11.9%	17.4%	7.7%
2. サッカー、フットサル	13.4%	8.7%	11.5%
3. キックベースボール	3.0%	0.0%	0.0%
4. テニス、ソフトテニス	14.9%	34.8%	7.7%
5. ラグビー（タグラグビーを含む）	7.5%	4.3%	3.8%
6. ゴルフ	16.4%	8.7%	3.8%
7. バドミントン	22.4%	26.1%	3.8%
8. 卓球	25.4%	21.7%	19.2%
9. バスケットボール（3on3を含む）	16.4%	13.0%	15.4%
10. バレーボール	11.9%	8.7%	7.7%
11. ハンドボール	9.0%	4.3%	7.7%
12. ドッジボール	17.9%	13.0%	7.7%
13. ボウリング	22.4%	13.0%	11.5%
14. ゲートボール	1.5%	4.3%	7.7%
15. フライングディスク（フリスビー）	4.5%	8.7%	7.7%
16. ロープを使うスポーツ（ダブルダッチ、つなひき、なわとび、長なわとび）	6.0%	0.0%	3.8%
17. ダンス（エアロビックダンス、チャリーディング、ジャズダンス、社交ダンス、フラダンス、バレエ、ヒップホップ、ブレイキンなどを含む）	11.9%	4.3%	3.8%
18. 体操（軽い体操・ラジオ体操など）	3.0%	0.0%	7.7%
19. 体操競技（器械体操、トランポリンを含む）	7.5%	4.3%	3.8%
20. 新体操	4.5%	8.7%	0.0%
21. 筋力トレーニング	3.0%	17.4%	15.4%
22. 各種陸上競技（短距離走・中長距離走・幅跳び・高跳び・砲丸投げ・ジャベリックスローなど）	6.0%	8.7%	0.0%
23. ウォーキングや散歩（パットの散歩などを含む）	4.5%	17.4%	0.0%
24. 水泳	16.4%	17.4%	11.5%
25. 柔道、空手、テコンドー、合気道	19.4%	17.4%	7.7%
26. 剣道、薙刀	13.4%	21.7%	15.4%
27. 弓道、アーチェリー	11.9%	13.0%	15.4%
28. 相撲	1.5%	4.3%	3.8%
29. 海水浴	6.0%	17.4%	3.8%
30. カヌー	3.0%	8.7%	3.8%
31. ボート	4.5%	13.0%	0.0%
32. サーフィン、ボディボード	1.5%	13.0%	0.0%
33. シュノーケリング、スクーバダイビング	0.0%	8.7%	3.8%
34. キャンプ	10.4%	8.7%	15.4%
35. 釣り	19.4%	13.0%	26.9%
36. ハイキング、登山	10.4%	17.4%	7.7%
37. ウォークラリー、オリエンテーリング	0.0%	13.0%	3.8%
38. スキー、スノーボード、そり	13.4%	8.7%	0.0%
39. スケート	11.9%	17.4%	7.7%
40. 一輪車	10.4%	8.7%	0.0%
41. インラインスケート、ローラースケート	6.0%	8.7%	7.7%
42. スケートボード	9.0%	8.7%	3.8%
43. キックボード	6.0%	8.7%	0.0%
44. サイクリング	3.0%	13.0%	7.7%
45. おにごっこ、かくれんぼ、カンけり、鉄棒、ぶらんこ	13.4%	13.0%	15.4%
46. 木登り	7.5%	8.7%	11.5%
47. ゴムとび	4.5%	4.3%	0.0%
48. 自転車あそび	6.0%	4.3%	3.8%
49. 竹馬	7.5%	4.3%	7.7%
50. フィールドアスレチック	9.0%	4.3%	0.0%
51. ボクシング、レスリングなどの格闘技	1.5%	8.7%	3.8%
52. ボルダリング、リードクライミングなど	4.5%	13.0%	3.8%
53. 各種ニュースポーツ（ポッチャ、モルック、スナッグゴルフ、ビーチボール、キンボール等を含む）	4.5%	8.7%	0.0%
54. 各種パラスポーツ（ブラインドサッカー、車いすテニス、車いすバスケットボール、車いすラグビー、シッティングバレーボール、ゴールボール、サウンドテーブルテニス、卓球バレー等を含む）	0.0%	13.0%	0.0%
55. eスポーツ	13.4%	26.1%	15.4%
56. ドローン	9.0%	17.4%	7.7%
57. その他	10.4%	0.0%	3.8%

※上の表は選択肢順に掲載しています。学年別でそれぞれ回答割合の数値が高いほど、網掛けの色が濃くなっています。

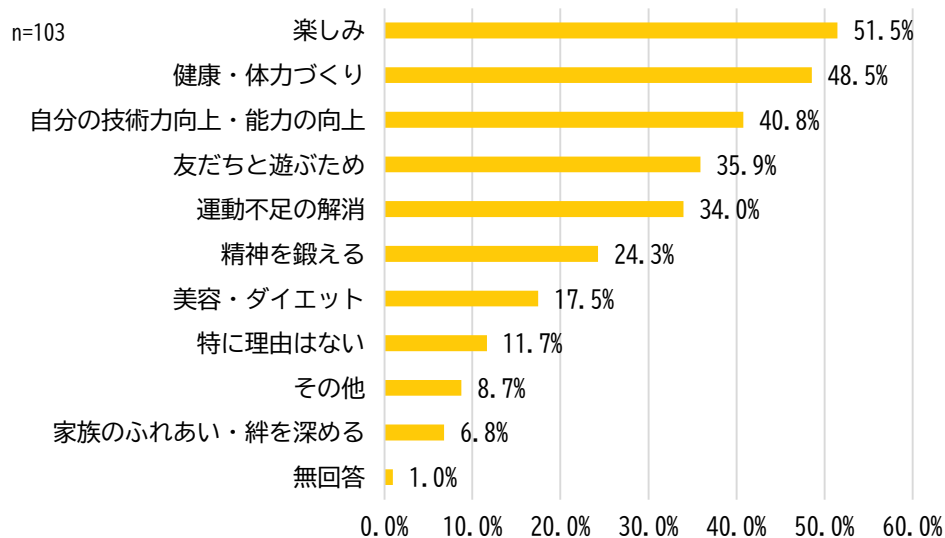
問5 【問3で「ほぼ毎日」「週に3～4回」「週に1～2回」「月に1～2回」「年に数回程度」のいずれかに回答した方にお聞きします。】問4で回答したスポーツを行った場所はどこですか（いくつでも選ぶことができます）。

本調査で最も回答割合が多かったのが、「学校の体育館・校庭」(42.7%)、次いで「広場や公園」(32.0%)、「スポーツセンターや南千住野球場などの区のスポーツ施設」(27.2%)となりました。



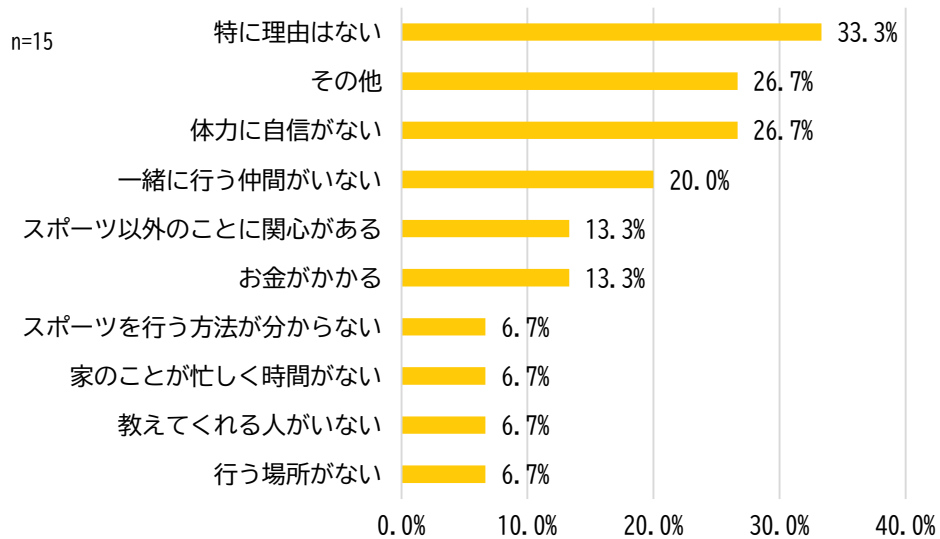
問6 【問2で「ほぼ毎日」「週に3～4回」「週に1～2回」「月に1～2回」「年に数回程度」のいずれかに回答した方にお聞きします。】問4で回答したスポーツを行うのはどのような理由からですか（いくつでも選ぶことができます）。

本調査で最も回答割合が多かったのが、「楽しみ」(51.5%)、次いで「健康・体力づくり」(48.5%)、「自分の技術力向上・能力の向上」(40.8%)となりました。



問7 【問3で「行っていない」に回答した方にお聞きします。スポーツを行わないのはどのような理由からですか（いくつでも選ぶことができます）。

本調査で最も回答割合が多かったのは、「特に理由はない」（33.3%）、次いで「その他」「体力に自信がない」（いずれも 26.7%）、「一緒に行く仲間がない」（20.0%）が多くなりました。

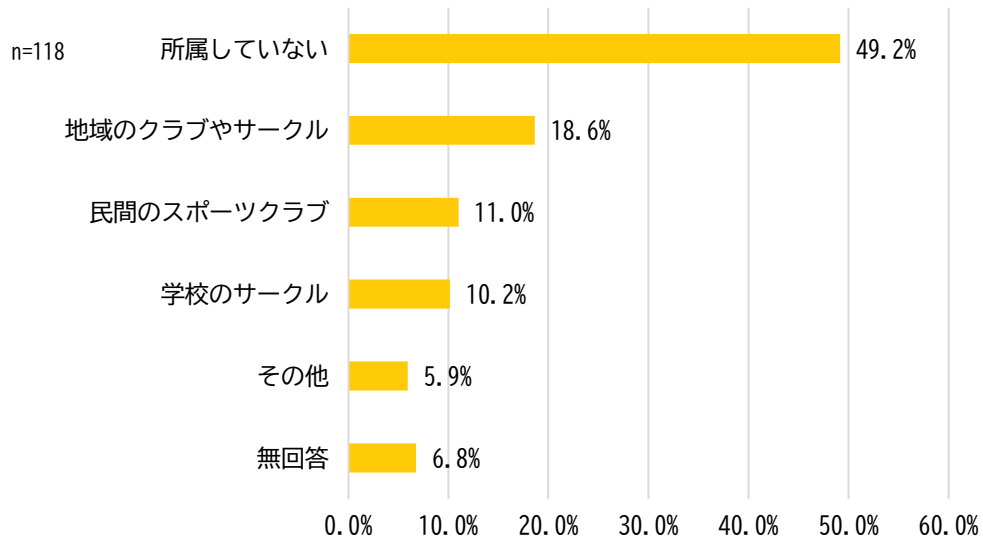


【「その他」の回答】

- ・「めんどくさい」
- ・「塾に行っているため。行きたいが、塾の宿題、時間がないから。」
- ・「受験があつて塾に通っているから。」
- ・「行く意味がない。」

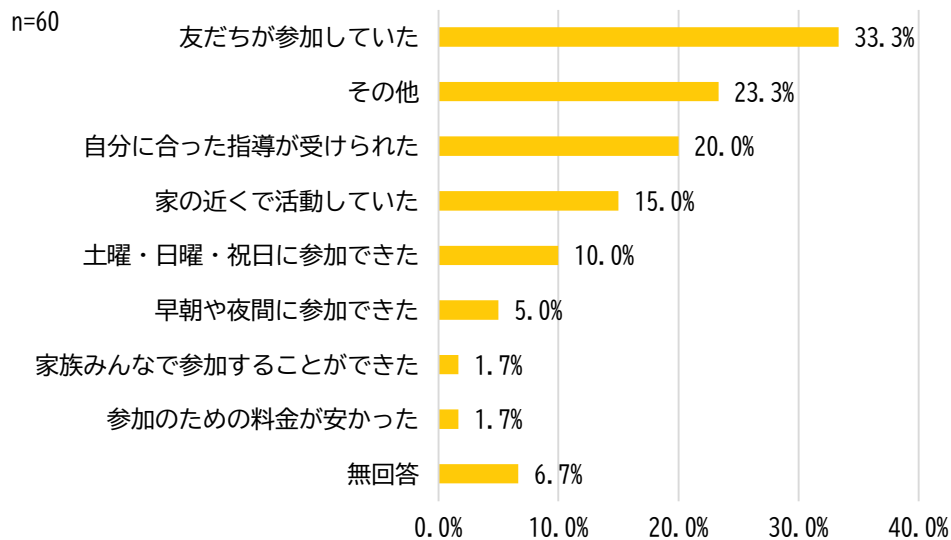
問9 あなたは、現在スポーツや運動のクラブやサークルなどに所属していますか。(〇はいくつでも)

本調査で、「所属していない」(49.2%)と回答した方以外のなかで、最も回答割合が多かったのは、「地域やクラブのサークル」(18.6%)、次いで「民間のスポーツクラブ」(11.0%)、「学校のサークル」(10.2%)が多くなりました。



問10 【問9で「民間のスポーツクラブ」、「地域のクラブやサークル」、「学校や職場サークル」、「その他」のいずれかに回答した方にお聞きします。】スポーツや運動のクラブやサークル(問9で回答したクラブやサークルに所属したきっかけは何ですか。(いくつでも選ぶことができます)

本調査の回答割合で最も多かったのは、「友だちが参加していた」(33.3%)で、次いで「その他」(23.3%)、「自分に合った指導が受けられた」(20.0%)になりました。



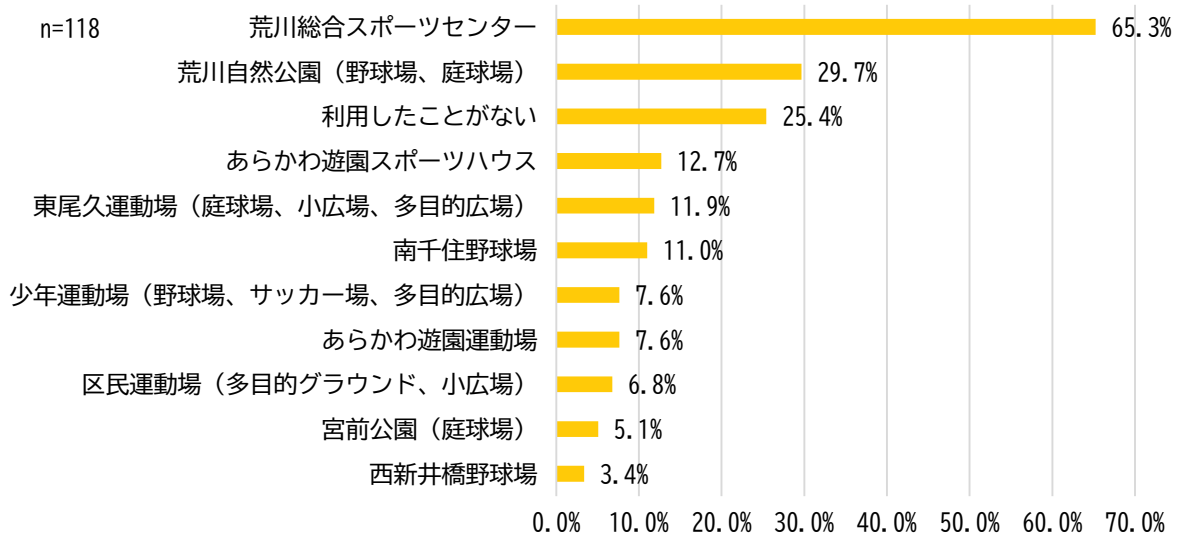
【「その他」の回答】

- ・「泳げるように、なりたいから。」
- ・「水泳を、やりたかったから。」
- ・「小学校の頃にやっていたから、続けました。」
- ・「やりたかったから」
- ・「水泳に興味があった」
- ・「泳げなかったため」
- ・「もともと学校の水泳が楽しかったから」
- ・「気に入った ホームページを見て」
- ・「仮入部が楽しかったから」
- ・「興味があった」
- ・「学校でみんな入ることが出来た」
- ・「幼い頃から習っていた」
- ・「たまたま見つけた」
- ・「兄弟がやっていた」
- ・「野球を見てみて面白いと思って近くの少年野球チームを探して、体験に行ってみて自分にあっていると
思ったチームを見つけて、入部してみた。」

3. 区のスポーツ施設について

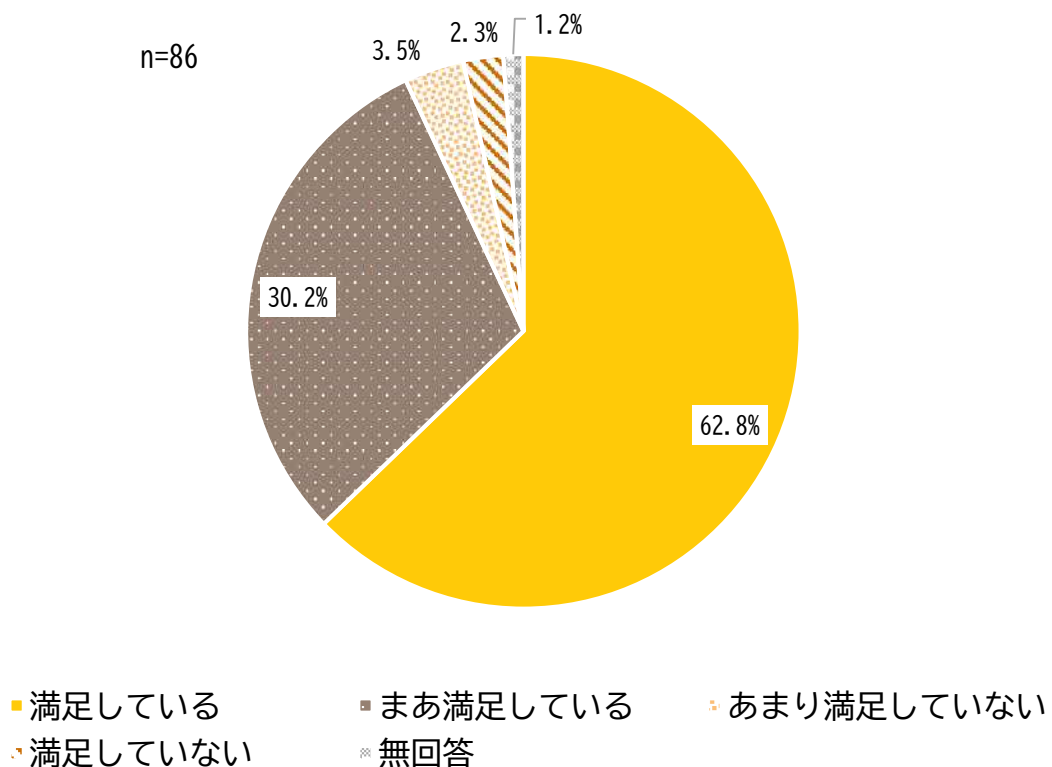
問11 あなたは、以下の区立スポーツ施設を利用したことがありますか（いくつでも選ぶことができます）。

本調査で、「利用したことがない」（25.4%）と回答した方以外のなかで、最も回答割合が多かったのは、「荒川総合スポーツセンター」（65.3%）、次いで「荒川自然公園（野球場、庭球場）」（29.7%）、「あらかわ遊園スポーツハウス」（12.7%）が多くなりました。



問12 【問11で「荒川総合スポーツセンター」～「宮前公園（庭球場）」に回答した方（「利用したことがない」と回答した方以外にお聞きします。】利用したスポーツ施設（問11で回答したスポーツ施設）について、満足していますか（1つ選んでください）。

本調査では「満足している」「まあ満足している」を合わせた“満足している”の割合が93.0%であり、「あまり満足していない」「満足していない」を合わせた“満足していない”の割合は5.8%でした。



問 13. 【問 12 で「あまり満足していない」、「満足していない」のいずれかに回答した方にお聞きします。】区立スポーツ施設で、どのような点に不満がありますか（いくつでも選ぶことができます）。

問 12 で「あまり満足していない」、「満足していない」のいずれかに回答した方は 5 件であり、そのうち、「利用料金が高い」、「施設内が混んでいる」が最も多く、いずれも 3 件となりました。次いで「職員・スタッフの教え方がうまくない」、「施設内の器具が少ない」がいずれも 2 件、「利用可能な時間帯が限られている」、「利用手続き、予約方法が難しい」がいずれも 1 件となりました。

【参考】

本調査で「利用料金が高い」と回答した方は 3 件で、うち高校生が 2 件、中学生が 1 件ありました。

問 14 あっという間に思えるスポーツ施設はありますか（いくつでも選ぶことができます）。

本調査で回答割合が最も多かったのは、「ボウリング場」（28.0%）、次いで「e スポーツができる施設」（23.7%）、「ドローンを飛ばすことができる施設」（19.5%）となりました。

選択肢	割合
ボウリング場	28.0%
eスポーツができる施設	23.7%
ドローンを飛ばすことができる施設	19.5%
クライミングのできる壁	17.8%
ダイビングプール	17.8%
スケートボード場	16.1%
壁打ちができる場所	16.1%
バッティングセンター	14.4%
アーチェリー場	13.6%
400mの陸上トラック&フィールド	11.9%
ボート場	10.2%
カヌー場	9.3%
ビーチスポーツ（ビーチバレー、ビーチテニス、ビーチサッカーなど）ができる施設	9.3%
その他	9.3%
ボクシングジム	6.8%
ラグビーあるいはアメリカンフットボールができる場所	5.1%
各種パラスポーツ専用の施設	5.1%
スカッシュルーム	1.7%
無回答	18.6%

n=118

問 14 において、小学生で最も回答割合が高いのは「ボウリング場」、「その他」（いずれも 26.9%）、次いで「スケートボード場」、「ドローンを飛ばすことができる施設」（いずれも 23.9%）、「ダイビングプール」、「壁打ちができる場所」（いずれも 22.4%）となりました。

中学生で最も回答割合が高いのは「e スポーツができる施設」、「ボウリング場」（いずれも 26.1%）、次いで「クライミングのできる壁」、「400m の陸上トラック & フィールド」、「アーチェリー場」（いずれも 21.7%）、「バッティングセンター」、「壁打ちができる場所」、「その他」（いずれも 17.4%）となりました。

高校生で最も回答割合が高いのは「e スポーツができる施設」（30.8%）、次いで「アーチェリー場」、「その他」（いずれも 15.4%）、「クライミングのできる壁」、「400m の陸上トラック & フィールド」、「ドローンを飛ばすことができる施設」、「壁打ちができる場所」、「ボウリング場」（いずれも 11.5%）となりました。

選択肢	小学生 (n=67)	中学生 (n=23)	高校生 (n=26)
1. スケートボード場	23.9%	4.3%	7.7%
2. クライミングのできる壁	19.4%	21.7%	11.5%
3. 400mの陸上トラック&フィールド	9.0%	21.7%	11.5%
4. eスポーツができる施設	19.4%	26.1%	30.8%
5. ドローンを飛ばすことができる施設	23.9%	13.0%	11.5%
6. カヌー場	10.4%	13.0%	3.8%
7. ボート場	10.4%	13.0%	7.7%
8. ビーチスポーツ（ビーチバレー、ビーチテニス、ビーチサッカーなど）ができる施設	9.0%	13.0%	7.7%
9. ダイビングプール	22.4%	17.4%	7.7%
10. ラグビーあるいはアメリカンフットボールができる場所	6.0%	0.0%	7.7%
11. バッティングセンター	16.4%	17.4%	7.7%
12. スカッシュルーム	4.5%	13.0%	3.8%
13. 壁打ちができる場所	22.4%	17.4%	11.5%
14. ボウリング場	26.9%	26.1%	11.5%
15. ボクシングジム	7.5%	4.3%	3.8%
16. 各種パラスポーツ専用の施設	7.5%	8.7%	3.8%
17. アーチェリー場	13.4%	21.7%	15.4%
その他	26.9%	17.4%	15.4%

※上の表は選択肢順に掲載しています。各学年において、回答割合の数値が高いほど、網掛けの色を濃くしています。

4. 自由意見

荒川区のスポーツに関して、ご意見がございましたら、自由に記入してください。

- ・「いつもご丁寧にありますありがとうございます」
- ・「まあまあ満足」
- ・「ベイ東京ラグビースクールに行く小学生の勧誘」
- ・「子どもでも気軽に遊べて休憩も取れるなんか東武動物公園みたいなかんじのしせつがあるといい」
- ・「とても良い」
- ・「南千住の方にイオンみたいな施設をつくってそこに体育館があったらいい」
- ・「バスケットゴールがある所を増やしてほしい」
- ・「尾久の原公園の芝と土の状態を良くして平らにしてほしいです」
- ・「荒川区はすてきなところだと思います。きっと各スポーツのできる子だけがやるところでなくもっと上達したいと思う人のできるところがあるだけで近くにあるスポーツになっていき出来たが増えると思います。」

IV 荒川区スポーツ推進プラン策定委員会設置要綱

荒川区スポーツ推進プラン策定委員会設置要綱

令和7年8月29日制定
(7荒地ス第1026号)
(副区長決定)

(設置)

第1条 スポーツ基本法(平成23年法律第78号)第10条第1項の規定に基づき、荒川区スポーツ推進プランの策定にあたり、多様な分野から広く専門的な意見を聴取し、必要な事項を検討するため、荒川区スポーツ推進プラン策定委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について検討する。

- (1) 荒川区におけるスポーツの施策に関すること
- (2) 荒川区スポーツ推進プランの策定に関すること
- (3) 前号に掲げるもののほか、荒川区スポーツ推進プラン策定に関して必要な事項に関すること

(構成)

第3条 委員会の委員は、次に掲げる者とする。

- (1) 学識経験者
- (2) 関係団体代表者等
- (3) 区職員
- (4) その他区長が必要と認める者

2 前項第3号に掲げる区職員は、別表に掲げる職にある者をもって充てる。

(委員長等)

第4条 委員会に委員長を置き、委員の互選により定める。

2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

3 委員会に副委員長を置き、委員長が指名した者とする。

4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるとき、又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(設置期間)

第5条 委員会の設置期間は、委員会が設置された日から荒川区スポーツ推進プランの策定日までとする。

(招集)

第6条 委員会は、委員長が招集する。

2 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者に委員会への出席を求めて、意見若しくは説明を聴き、又はこれらの者から必要な資料の提出を求めることができる。

(守秘義務)

第7条 委員は、委員会の内容その他委員会で知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も同様とする。

(庶務)

第8条 委員会の庶務は、地域文化スポーツ部スポーツ振興課において処理する。

(委任)

第9条 この要綱に定めるもののほか、荒川区スポーツ推進プランの策定にあたり、必要な事項は、地域文化スポーツ部長が別に定める。

附 則

この要綱は、第7条を除き、荒川区スポーツ推進プランの策定の日、その効力を失う。

別表 (第3条関係)

区 職 員	地域文化スポーツ部を担任する 副区長 地域文化スポーツ部長 産業経済部長 福祉部長 健康部長 教育部長
-------------	---

V 荒川区スポーツ推進プラン策定委員会委員名簿

	区分	団体名・役職名等	氏名
1	委員長	副区長	小林 直彦
2	副委員長	地域文化スポーツ部長	中野 猛
3	学識経験者	筑波大学体育系助教	成瀬 和弥
4		東京都立大学健康福祉学部准教授	信太 奈美
5	アスリート	バレーボールV3監督	松枝 寿明
6		卓球解説者	藤井 寛子
7	関係団体代表者等 区民代表	スポーツ協会会長	高田 忠則
8		スポーツ協会専務理事	瀧澤 裕子
9		スポーツ推進委員会会長	伊藤 康之
10		東京都障害者スポーツ指導員協議会荒川会長	神保 秀久
11	荒川区・教育委員会 委員	産業経済部長	小林 弘幸
12		福祉部長	堀 裕美子
13		健康部長	辻 佳織
14		教育部長	菊池 秀幸

VI 検討経過

回	開催日	内容
1	令和7年10月30日	◆第1回荒川区スポーツ推進プラン策定委員会 (1) 委員長選出 (2) スポーツ推進プラン策定の骨子(案)について
2	令和7年11月25日	◆第2回荒川区スポーツ推進プラン策定委員会 (1) 荒川区スポーツ推進プラン策定委員会(第1回)でいただいたご意見のプランへの反映案について (2) 荒川区スポーツ推進プラン素案について
3	令和8年 2月 3日	◆第3回荒川区スポーツ推進プラン策定委員会 (1) 荒川区スポーツ推進プラン(素案)に対するパブリックコメントの実施結果 (2) その他(意見交換)
4	令和8年 3月下旬 (予定)	◆第4回荒川区スポーツ推進プラン策定委員会 (1) 荒川区スポーツ推進プランの報告 (2) 今後のスポーツ施策実施体制について

荒川区スポーツ推進プラン
【令和8(2026)年度～令和12(2030)年度版】

令和8年4月発行／登録(07)0126号

発行 荒川区地域文化スポーツ部スポーツ振興課
〒116-8501 荒川区荒川2-2-3
電話 03(3802)3111(代) 内線 3371